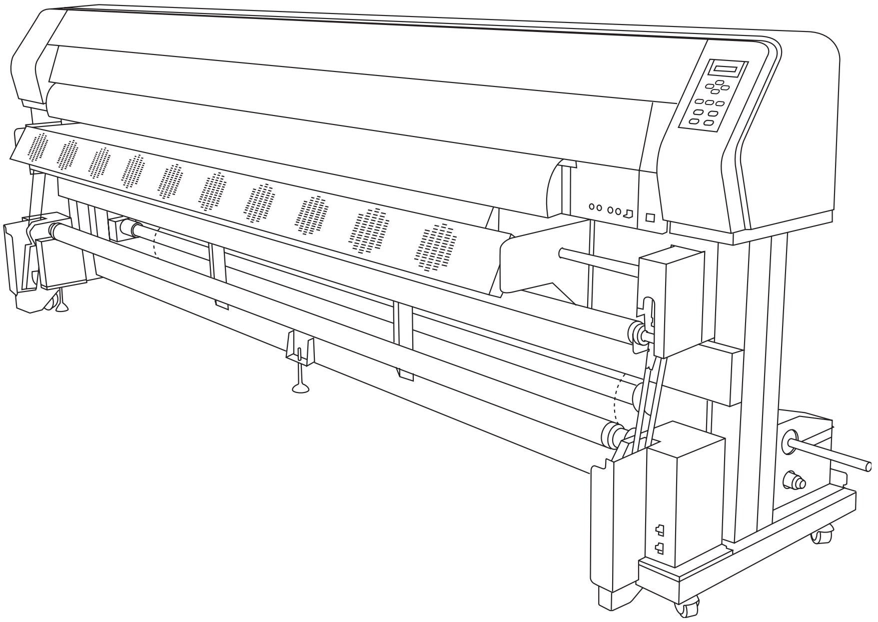
Mimaki

JV3-250SP

取扱説明書



株式会社ミマキエンジニアリング

D200802-19

はじめに

この度は、カラーインクジェットプリンター「JV3-250SP」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
「JV3-250SP」（以後本装置と称します）は、ソルベントインクで作図する高画質に対応したカラーインクジェットプリンターです。
４色（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）の各インクカートリッジを２個ずつ使用した４色モデル、６色（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、ライトシアン、ライトマゼンタ）の各インクカートリッジを使用した６色モデル、または８色（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、ライトシアン、ライトマゼンタ、特色２色）の各インクカートリッジを使用した８色モデルがあります。
本取扱説明書は、本装置の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明しています。
本書をよくお読みになり、本プリンターを安全に、かつ効果的にお使いいただけますようお願い申し上げます。
本書は、ファームウェア Ver.6.20 以降の機種に対応しています。
ファームウェアのバージョンは、電源をオンにした際に確認できます。
「電源をオンにする（P.2-3 参照)」を参照してください。

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。
また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
一例として、本製品を使用してメディア（ワーク）等の損失やメディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書が紛失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。

★　本書記載の名称は、一般に各社の商標または登録商標です。

電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置の接続に於いて、当社指定のケーブルを使用しない場合は、VCCI ルールの限度を超えることが考えられます。必ず、当社指定のケーブルを使用してください。

テレビ／ラジオの受信障害について

本書が解説する製品は、使用時に高周波が発生します。このため、本製品が不適切な条件下で設置または使用された場合、ラジオやテレビの受信障害が発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。
もしも、この製品がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われましたら、この製品の電源を切ることによりご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されればこの製品が原因と考えられます。
もし障害の原因なら、次の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

目次

はじめに i

電波障害自主規制 ii

- テレビ／ラジオの受信障害について ii

本書の読み方 vii

- マニュアルの種類と使い方 vii
- ディスプレイとキーの表記 vii
- 本文中のマーク表示について viii
- 本書の構成 ix

本装置のご紹介 x

安全にお使いいただくために xii

- マーク表示について xii
- 使用上の警告と注意 xiii
- 警告ラベルについて xvi

1 章　ご使用の前に

本装置の移動 1-2

- 設置場所について 1-2
- 設置場所の注意 1-2
- 本装置の移動 1-3

各部の名称とはたらき 1-4

- 装置前面 1-4
- 装置背面 1-6
- 操作パネル 1-8
- ヒーターパネル 1-9
- キャリッジ 1-10
- ヒーター 1-10
- キャッピングステーション 1-11
- ピンチローラーとフィードローラー 1-11
- メディアセンサー 1-12
- カッター刃とカットライン 1-12

インクの取り扱い上のご注意 1-13

メディアについて 1-14

- メディアの取り扱い注意 1-14
- 使用可能メディア 1-15
- 推奨メディアの種類 1-15

ヒーター電圧の設定 1-16

モードについて 1-17

２章　作業の流れ

作業の流れ 2-2
電源をオンにする 2-3
フロントカバーについて 2-5
インクステーションとヘッドの関係 2-6
ヘッドの高さを調整する 2-7
メディアをセットする 2-9
　乾燥ファンの角度を変える 2-9
　重いロールメディアをセットする 2-10
　巻き取り装置の使い方 2-14
　メディアキャリアの使い方 2-17
　軽いロールメディアをセットする 2-19
　２本のロールメディアをセットする 2-24
　ロックピンの操作方法 2-30
　トルクリミッタを調節する 2-31
　リーフメディアをセットする 2-32
ヒーターの温度を調整する 2-35
　ヒーターに異常がある場合 2-37
ノズル詰まりを確認／解消する 2-38
　テストパターンを作図する 2-38
　異常なパターンの場合は（クリーニング） 2-39
メディアの送り量を補正する [ﾒﾃﾞｨｱﾎｾｲ] 2-40
画像データを作図する 2-42
　作図を開始する 2-42
　作図を中止する 2-43
　より詳しい作図情報を表示する 2-44
　作図が終了したら[メディアカット] 2-45
[ﾆｱｴﾝﾄﾞ/ｲﾝｸｴﾝﾄﾞ]を表示したら 2-46
電源をオフにする 2-48

３章　日常のお手入れ

日常のお手入れ 3-2
　お手入れ上のご注意 3-2
　外装のお手入れ 3-3
　プラテンの清掃 3-3
　メディアセンサーの清掃 3-3
ワイパとキャップのクリーニング 3-4
ヘッドまわりのクリーニング 3-6
洗浄キットでクリーニングする 3-7
廃インクが溜まったら 3-12

4章　設定機能について

メニューの基本操作 4-2
作図条件をまとめて登録する（タイプ登録）........ 4-4
設定機能について 4-5
　　設定機能一覧 4-5
ヒーター適温設定について 4-12
乾燥ファンの動作を設定する 4-13
作図範囲について 4-14
作図原点を設定する 4-15
　　原点設定位置の目安 4-15
作図中にメディアの送り量を補正する 4-16

5章　メンテナンス機能

メンテナンスについて 5-2
　　メンテナンスモードの選択 5-2
　　設定機能一覧 5-3
ステーション内の清掃[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ｷｬﾘｯｼﾞｱｳﾄ] 5-4
ワイパ交換のメッセージを表示したら[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ﾜｲﾊﾟｺｳｶﾝ] 5-5
インク排出路の洗浄について[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ﾊｲﾛ ｾﾝｼﾞｮｳ] 5-7
長期間使用しない場合[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ﾎｶﾝ ｾﾝｼﾞｮｳ] 5-9
リフレッシュステーションの交換 [ｻﾀﾝﾘﾌﾚｯｼｭ] 5-12
　　サタン（左端）リフレッシュを設定する 5-12
　　リフレッシュステーションを交換する 5-13
メディアの厚みが変わったら[ﾄﾞｯﾄｲﾁﾎｾｲ] 5-15
作図中のワイピング動作の設定[ﾃｲｷ ﾜｲﾋﾟﾝｸﾞ] 5-17
定期クリーニングについて[ﾃｲｷ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ] 5-19
スリープクリーニングについて[ｽﾘｰﾌﾟCLEAN] 5-20
ヘッドクリーニングでもノズル詰まりが復旧しない場合 5-21
　　[インクジュウテン] 5-21
　　[ヘッドセンジョウ] 5-22
狭い作図幅の作図時にヘッド移動を指定する[ｽｷｬﾝﾊﾊﾞ ｷﾘｶｴ] 5-24
SS インクから SS2 インクへ切り替える[SS2<>SSｺｳｶﾝ] 5-25
設定条件を印刷する[ﾘｽﾄ] 5-26
HEX コードで印刷する[ﾃﾞｰﾀﾀﾞﾝﾌﾟ] 5-27
ワイパ寿命の警告表示[ﾜｲﾊﾟﾚﾍﾞﾙ] 5-28
時刻を設定する[ｼﾞｺｸｾｯﾃｲ] 5-29

本装置の情報を表示する[ﾏｼﾝｼﾞｮｳﾎｳ] 5-30
カッター刃の交換方法 5-31
インクセットを交換する場合は 5-32
440ccｶｰﾄﾘｯｼﾞ内に残った少量のインクを使用する 5-36

6章　困ったときは

故障？と思う前に 6-2
電源が入らない 6-2
作図できない 6-2
メディア詰まり / メディアが汚れる 6-3
[HEAT]ランプ ,[CONSTANT]ランプが点灯しない 6-3
画質不良が発生した場合は 6-4
白スジ／カスレ / 色の濃いスジが発生する（ヘッド移動方向） 6-4
文字が用紙送り方向に２重、３重にブレる 6-4
往復印字でズレが発生する 6-4
色ごとにインクが重ならない 6-4
作図中にインク滴が落ちる 6-4
カートリッジ異常が発生したら 6-5
メッセージを表示するトラブル 6-6
ワーニングエラー 6-6
エラーメッセージ 6-9

付録

本体仕様 .... 付録 -2
インク仕様 .... 付録 -4
お問い合わせシート .... 付録 -5
機能フローチャート .... 付録 -7

本書の読み方

マニュアルの種類と使い方

本装置には、以下の説明書が付属しています。

セットアップガイド（別冊） JV3-250SP を設置する手順を説明しています。
取扱説明書（本書） JV3-250SP の取扱方法について説明しています。
日常のお手入れのお願い（別冊） JV3-250SP の日常行うお手入れ方法について説明しています。

ディスプレイとキーの表記

本書では、操作手順と合わせて操作パネルの「ディスプレイ」に表示する文字や、使用するキーを説明しています。 P.1-8
使用中に確認しながら、操作を進めてください。

ディスプレイ表記

ディスプレイの表記は、右の図の様に四角い枠の中に、表示する内容を文字表記します。
操作手順の説明文に合わせて、確認しながら操作を進めます。
ディスプレイに表示する設定項目やメッセージを、文章中では[タイプ１]、[シバラク　オマチクダサイ]の様に[　　]を使用して説明しています。

```
FUNCTION
セッテイ              ＜ＥＮＴ＞
```

```
セッテイ
センタク              ：タイフ゜
```

操作キー

本取扱説明書では、操作キーを文章中で【　　】を使用して説明しています。

【▲】【▼】はジョグキーを意味します。
その他の操作キーは、【FUNCTION】の様に操作キーの名称を【　　】の中に表記します。
P.1-8

FUNCTION

本文中のマーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例 1

本書の説明文の中によく使用しているマークです。

警告

★「警告」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や中毒を起こす可能性を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。

注意

★「注意」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷または中程度の障害を招くことがありうる、危険の可能性がある状況を示します。

注意

★ 文字のみの「注意」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、財物損傷を引き起こすことがありうる、危険の可能性がある状況を示します。

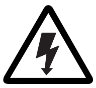
重 要 !

★「重要」マークは、人身にからまない注意事項を示します。

●「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。

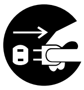
● 関連した内容の参照ページを示しています。

マーク表示の例 2



△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。　△中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が書かれています。

⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が書かれています。



● 記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が書かれています。

本書の構成

本書は、７つの章に分けて本装置の取り扱いの説明をしています。

はじめに

本装置の使用前に、ご理解していただきたいことや、本書の読み方を説明しています。

１章　ご使用の前に

本装置の各部の名称とはたらき、インクやメディアについて説明します。

２章　作業の流れ

電源の ON から印刷を終了するまでの一連の動作、設定について説明します。

３章　日常のお手入れ

インクが詰まった際の復旧方法や、各部の清掃方法について説明します。

４章　設定機能について

設定機能について説明します。

５章　メンテナンス機能

メンテナンス機能、ワイパやカッター刃などの消耗品の交換方法などについて説明します。

６章　困ったときは

本装置になんらかの異常が発生した場合のトラブルの解消方法について説明します。

付録

本装置の仕様、お問い合わせシート、機能フローチャートをのせています。

本装置のご紹介

本装置の持つ特長をご紹介します。本書で説明する操作方法と併せて作図のご理解にお役立てください。

高信頼、高発色の新開発ソルベントインクを使用

新開発のソルベントインクの使用により、生ターポリン等の市販のメディアがそのまま使え、高画質、低ランニングコストを実現しました。

フルカラー 1440dpi の高画質印字

1440dpi の高画質で印刷することにより、大型ポスターの他、近くで見る小型のポスターにも最適です。

最大幅 2500mm の印字が可能

最大 2500mm の作図幅があり、大型メディアの印字に適しています。また、ロールホルダの使用により 1 度に 2 つの同一メディアに印字ができます。
110kg の重量ロールにもロール置き台を使用することにより、印字が可能です。

4 ヘッド、4 色ダブルインクカートリッジ搭載

4 色のインクが各 2 本ずつセットできるダブルカートリッジにより、高速かつ高画質に印字できます。また、6 色のインクを各 1 本ずつセットすることもできます。

インテリジェントヒーター搭載

プリヒーター、プリントヒーター 2 カ所のヒーターを搭載し、独立して温度設定ができます。
スタンバイモード、自動オフのインテリジェント機能を搭載。
周囲の温度を検知して温度を制御するため、使用するメディアに最適な加熱温度を設定できます。

簡単インク交換

インクのカートリッジ化により、手を汚さずに、安全かつ簡単にインク交換ができます。

簡単メンテナンス

ヘッドの自動キャッピング方式により、電源をオフする前のヘッド洗浄が不要です。
インク詰まりは、クリーニング機能、またはノズル洗浄機能を実行すれば復旧できます。
本装置を使用しないで放置すると、一定時間毎にインク詰まりを回避する動作を自動的に行います。ただし、主電源をオンにしておく必要があります。
使用していない時間を監視して、電源をオンにしたとき、および印刷開始時に自動クリーニングを実行し、インク詰まり等を防ぎます。

乾燥ファンを標準装備

印字後の冷風乾燥により乾燥時間を短縮し、巻き取り時の色移りを防ぎます。

インク残量を表示します

使用中のインクの残量を表示して確認できます。無駄なくインクやメディアを使用できます。

見やすいディスプレイ

プリンターの設定メニューを表示する「ディスプレイ」が見やすい２行表示になりました。
バックライトも付いて、暗い場所での表示認識が可能になりました。
英語・スペイン語など６ヶ国の表示ができます。

作図の情報を確認します

作図中のプリント長をディスプレイに表示したり、作図条件の情報を作図して確認できます。

高速インターフェースが使用できます

高速インターフェース「IEEE1394」の使用により、コンピュータからのデータ受信を高速に行えます。

巻き取り装置による長尺作図ができます

本装置と連動した「巻き取り装置」が作図終了したメディアを巻き取るので、連続運転による長尺作図ができます。

メディア置き台のバーの両端に安全バーがついています

本装置の背面側のメディア置き台には、メディアセット時に手を挟まないように安全バーがついています。メディアのセット時には、安全バーを持って作業を行ってください。

ヘッドの高さを２段階に設定できます

ヘッドの高さは、調整レバーにより 2mm/3mm の切り替えが可能です。
メディアの厚さに応じて、適切な位置に調整ができます。

メディアの左右端の浮きを防止

カールストッパーを使用することにより、幅の広いメディアの両端の浮きあがりを防止し、ヘッドとの接触を防ぎます。

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例 1

本書の説明文の中によく使用しているマークです。

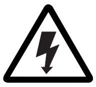
警 告

★「警告」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や中毒を起こす可能性を示しています。必ずよくお読みになり、ただしくお使いください。

注 意

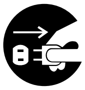
★「注意」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

マーク表示の例 2



△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。　△中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が書かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が書かれています。



● 記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が書かれています。

使用上の警告と注意

⚠ 警 告

- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 付属の電源ケーブルを使用してください。
- 2本の電源ケーブルのプラグは、必ず別系統のアース処理したコンセントに差し込んでください。火災・感電の原因になります。
- 表示された電源仕様で使用してください。本装置を使用する電源電圧にあわせて、電圧セレクタを切り替えてください。☞ P.1-16
  110V位置 →本装置 100〜120V
  220V位置 →本装置 200〜240V
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、ひっぱったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
- 本装置で使用する専用インクは、危険物第4種第2石油類、または危険物第4類第3石油類に該当します。よって、引火する可能性があるため、本プリンターを使用する場所は、火気厳禁としてください。
- 湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。

  お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
- 本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対にしないでください。

  感電や故障の原因になります。
- プラテンのヒーターにホコリやゴミ等が付着しないようにしてください。
  発火、火災の原因になります。

⚠ 注 意

ヒーターに注意

★ プラテン上に液体をかけないでください。ヒーターの故障や発火の原因になります。

★ プラテンのヒーターが熱いうちに素手で触らないください。火傷の原因になります。

★ 本装置を移動する場合は、ヒーターの温度が十分下がった状態で行ってください。
目安として、ヒーターの電源を OFF にしてから 30 分以上お待ちください。
なお、本装置の移動は、段差のない同一フロアー内とします。移設の場合は、弊社営業所、または販売店にご連絡ください。

インクについて

★ インクには有機溶剤を使用しています。皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。
万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。

★ 誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないください。その後、毒物管理センターに連絡してください。

★ 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。

メンテナンスについて

★ インクステーションやヘッドをクリーニングする際は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。

注意とお願い

インクカートリッジの取り扱い

- ★ JV3 専用インクをお使いください。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。
- ★ JV3 専用インク以外のインクを使用すると、装置保護のため、動作しません。
- ★ JV3 専用のインクは、他のプリンタで使用しないでください。プリンタが壊れます。
- ★ カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。詰め替えたインクを使用して生じた不具合について、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
- ★ インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温環境下に放置してから使用してください。
- ★ インクカートリッジは、取付直前に開封してください。
開封した状態で長時間放置しておくと、正常に作図できない場合があります。
- ★ インクカートリッジは、冷暗所で保存してください。
- ★ インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ★ インクカートリッジは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。
- ★ インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。
- ★ インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。
- ★ 空になったインクカートリッジまたは、廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

電源供給について

- ★ ブレーカーは常時 ON にしておいてください。
- ★ 背面にある主電源スイッチは OFF にしないでください。

フロントカバーとレバーについて

- ★ 作図中にフロントカバーを開けたり、レバーを上げたりしないでください。作図が終了してしまいます。

ホコリから守る

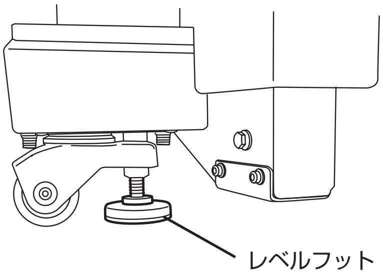
- ★ できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを 2 または 3 に設定してください。
☞ P.4-10
- ★ 作図しないときも必ずフロント カバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。
- ★ 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。
- ★ メディアは袋に入れて保管してください。
メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になります。
- ★ キャッピングステーション、およびワイパの拭き掃除（ホコリ、紙粉）は、こまめに行ってください。
- ★ 作図中に、突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちるのもホコリが原因です。この場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。☞ P.2-39, 4-11

メディアについて

- ★ カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。
カールがきついと、画質に影響を及ぼします。

レベルフットの固定

- ★ 必ず、レベルフットを固定してから作図してください。固定しないで作図すると、装置が動きだす場合があります。



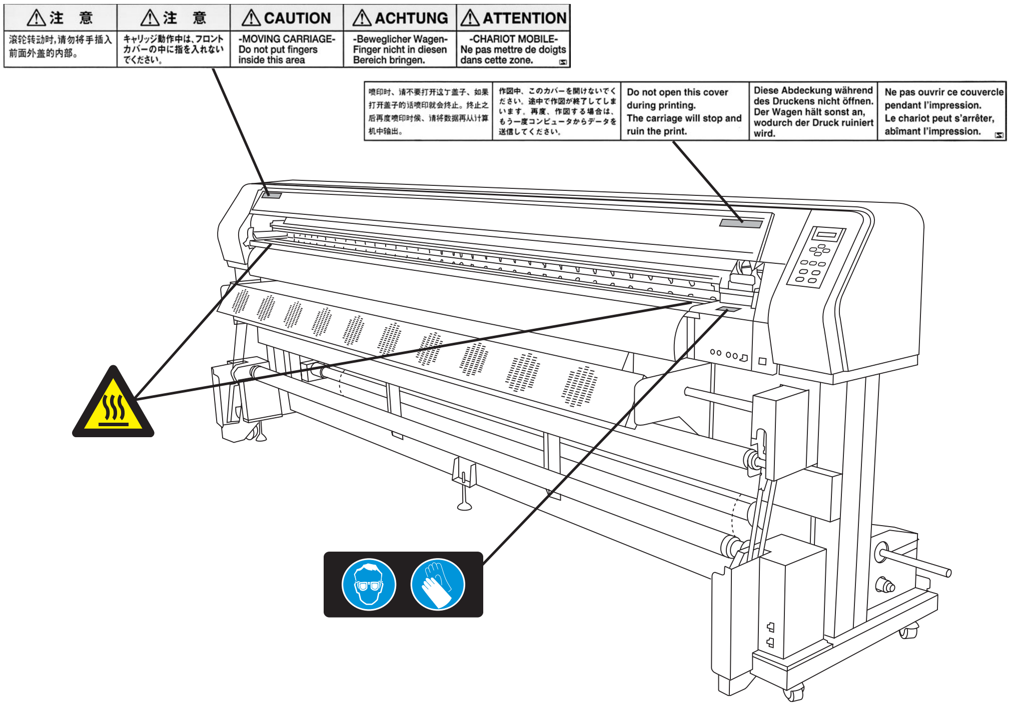
定期交換部品があります。

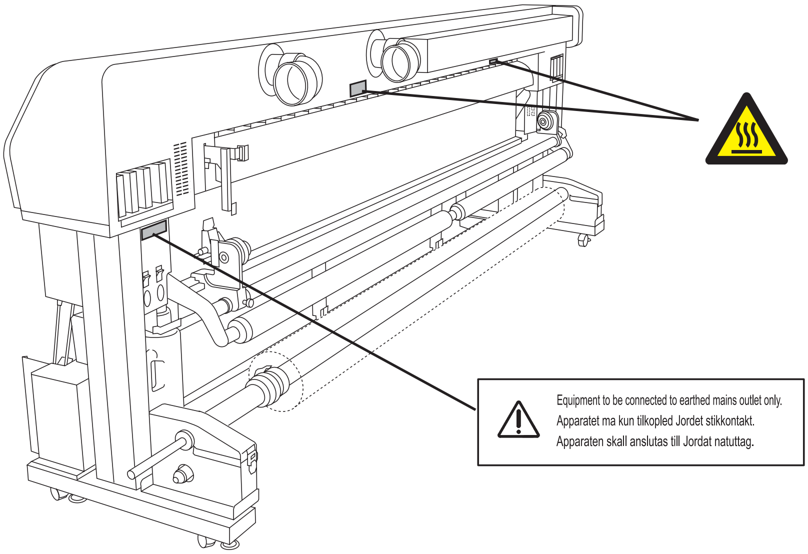
- ★ 本装置には定期的に交換する部品があります。
保守契約が必要となります。

警告ラベルについて

本装置には、警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

ラベルの位置





1 章
ご使用の前に

本装置の各部の名称、メディアやインクについて説明します。

本章の内容

本装置の移動 *1-2*
設置場所について 1-2
設置場所の注意 1-2
本装置の移動 1-3
各部の名称とはたらき *1-4*
装置前面 1-4
装置背面 1-6
操作パネル 1-8
ヒーターパネル 1-9
キャリッジ 1-10
ヒーター 1-10
キャッピングステーション 1-11
ピンチローラーとフィードローラー 1-11
メディアセンサー 1-12
カッター刃とカットライン 1-12
インクの取り扱い上のご注意 *1-13*
メディアについて *1-14*
メディアの取り扱い注意 1-14
使用可能メディア 1-15
推奨メディアの種類 1-15
ヒーター電圧の設定 *1-16*
モードについて *1-17*

本装置の移動

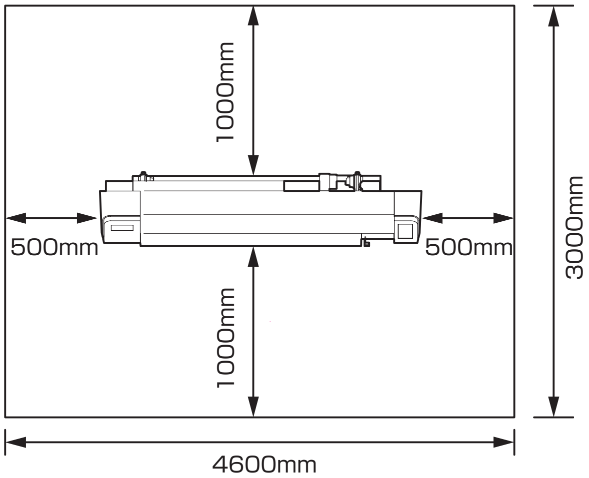
設置場所について

本装置を設置するために、下図に示すスペースを確保してください。

マシンのサイズ

横幅	縦幅	高さ	全体重量
3600 mm 以下 *	1000 mm 以下	1300 mm 以下	350 kg 以下

* ロールシャフト長さは 3760 mm



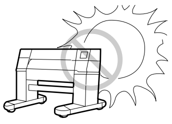
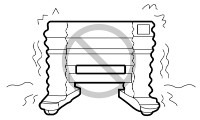
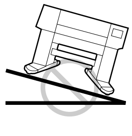
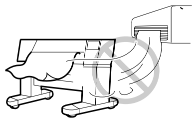
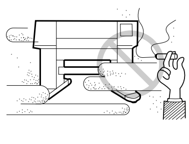
● **ロールシャフトを 2500 mm 幅のロールメディアに通す際には、約 6 m の横幅スペースが必要です。**

使用環境温度

本装置は安定したプリントを行うために、20 ～ 35℃の環境でご使用ください。
周囲の温度条件により、ヒーター温度が設定値まで上昇しない場合があります。

設置場所の注意

以下の場所には設置しないでください。

直射日光が当たる場所	温度や湿度の変化が激しい場所	水平でない場所
	次の環境下でお使いください。 使用環境　：20 ～ 35 ℃ 35 ～ 65 % (Rh)	
振動が発生する場所	**エアコンなどの風が直接当たる場所**	**火を使う場所**
		

本装置の移動

注意

★ 本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。
お客様が本装置の移設を行うと、故障や破損の原因になることがあります。
本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

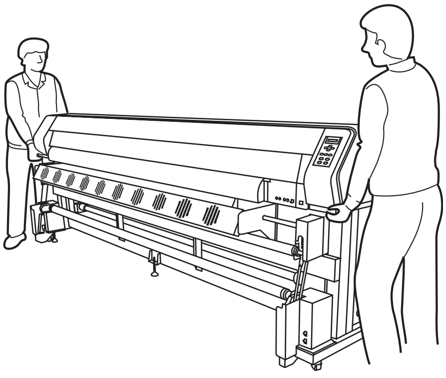
本装置をやむを得ず、段差のない同一フロアー内で移動する場合は、下記のよう行ってください。
装置を移動するときは、付属のレンチで７カ所のレベルフットの固定を解除してください。

注意

★ 移動するときは、大きな振動を与えないでください。
★ 移動後は、必ずレベルフットを固定してください。

移動方法

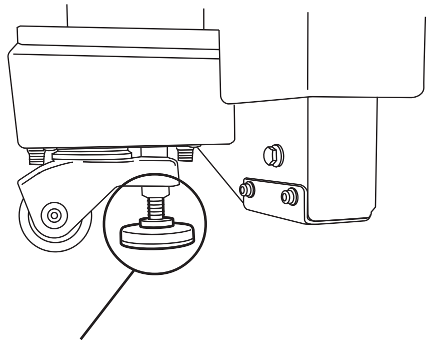
本装置を移動するときは、２人以上で図のように運んでください。
カバーを押すと割れる可能性があります。



レベルフットの固定

脚のキャスタには、ストッパが付いていません。本装置の移動後は、必ずレベルフットを締め上げて固定してください。

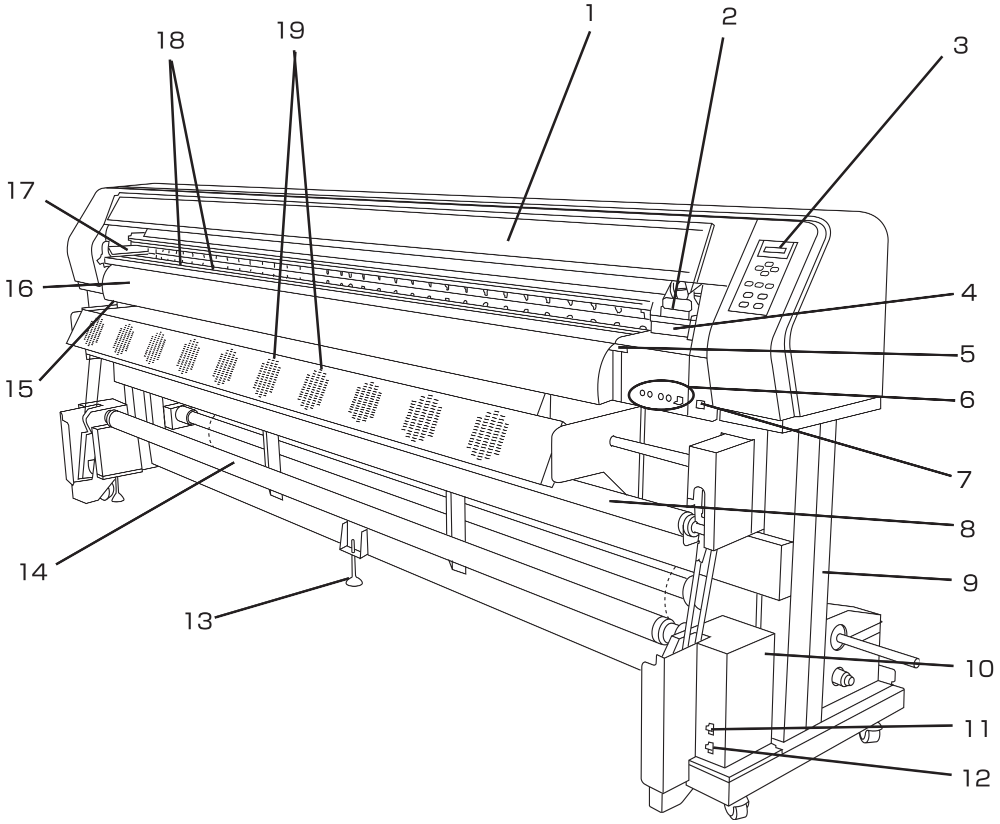
セットアップガイド P.11 参照



レベルフット

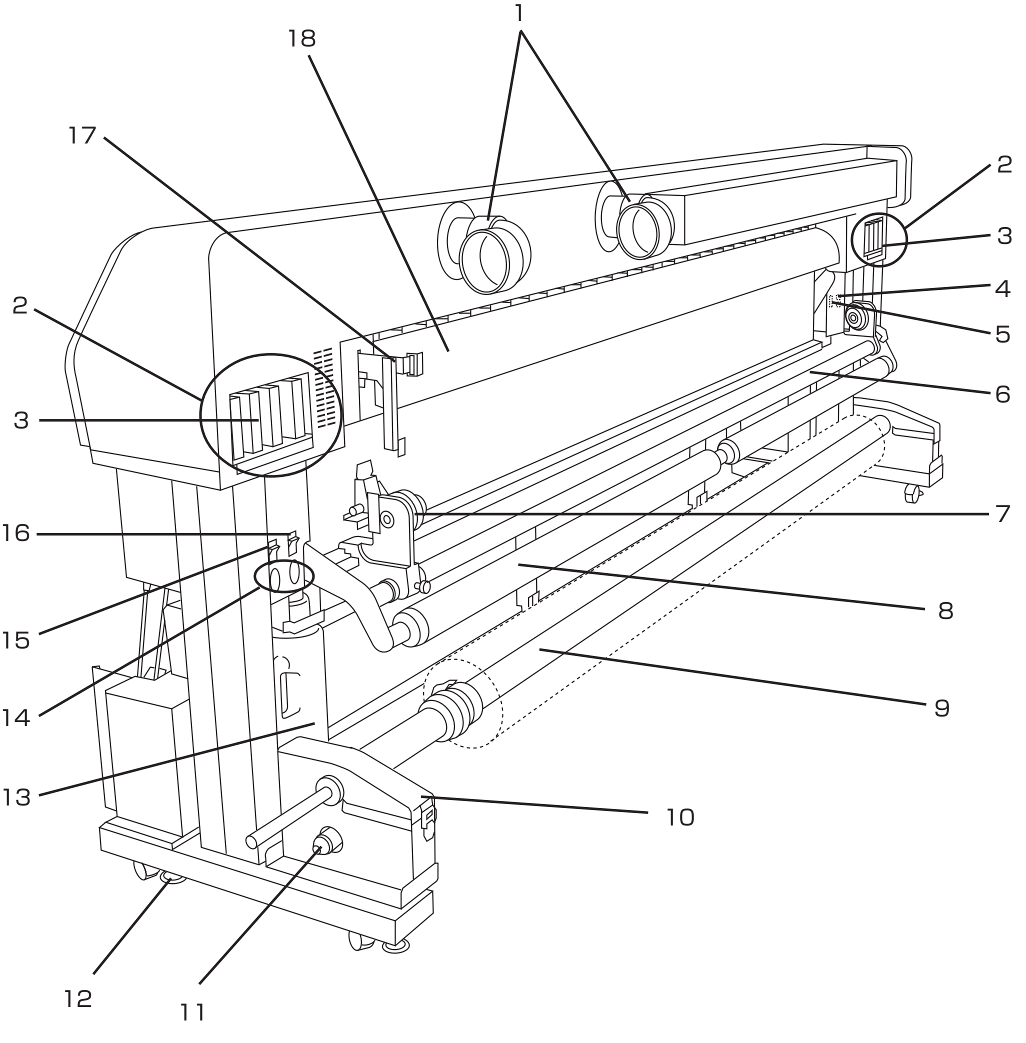
各部の名称とはたらき

装置前面



	名　称	はたらき
1	フロントカバー	メディアのセット、メディア詰まりの処置およびステーション内部のメンテナンス時に開けます。電源スイッチがオフの場合でも、フロントカバーは閉じておいてください。P.2-5
2	キャリッジ	作図を行うヘッドがあり、左右にスキャン移動します。
3	操作パネル	本装置に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。P.1-8
4	キャッピングステーション	ヘッドにキャッピングするキャップやワイパ等があります。
5	クランプレバー（前）	ピンチローラを上下して、メディアを保持 / 解放します。
6	ヒーター操作パネル	ヒーターの電源スイッチとヒーターのコンディションを示す LED ランプがあります。P.1-9
7	電源スイッチ	本装置の電源をオン / オフします。電源スイッチをオンにすると操作パネル上の POWER ランプが緑色に点灯します。主電源スイッチをオンにしていれば、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。（フラッシング機能） P.2-3, 2-48
8	テンションバー	作図後のメディアをシワなく巻き取るための補助バーです。 P.2-14
9	脚	本体を支える部分です。本装置を移動するためのキャスタが付いています。P.1-3
10	巻き取り装置	作図終了後のロールメディアを自動で巻き取ります。P.2-14
11	動作モードスイッチ	スイッチを上側（　）にすると、メディアの巻き取りを強制的に行います。下側（　）にすると、作図中のみ巻き取り動作を行います。P.2-14
12	回転方向スイッチ	巻き取り装置の巻き取り方向（内巻き、OFF、外巻き）を変更します。P.2-14
13	レベルフット（7 個）	本装置を固定します。付属のレンチで締めて固定してください。 P.1-3
14	巻き取り軸シャフト	巻き取りの紙管を通して、メディアを巻き取ります。
15	電圧セレクタスイッチ(5 個)	本装置を使用する電源電圧に合わせて、100 ～ 120V と 200 ～ 240Vを切り替えます。P.1-16
16	プラテン	プラテンに沿って、メディアを出力します。 プラテン内の前後 2 カ所にヒーターを内蔵しています。
17	リフレッシュステーション	幅広のメディアを双方向作図した場合、ノズル保護機能としてリフレッシュ動作を行う場所です。
18	プリントヒーター	作図中のインクの定着と乾燥を行います。（プラテンの内側にあります。）P.1-9
19	乾燥ファン	作図後のインク乾燥を補助します。P.4-13

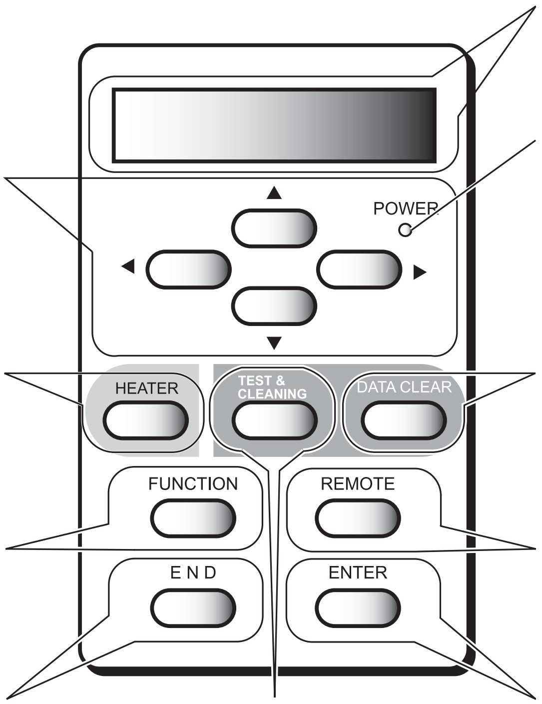
装置背面



	名　称	はたらき
1	排気ダクト（2 個）	作図中の臭気等を排出します。必要に応じてダクトからの排気を行ってください。
2	インクステーション	専用のインクカートリッジをセットします。☞ P.2-6
3	インクカートリッジ	各色のインクが入っています。☞ P.2-6
4	パラレルコネクタ	双方向パラレルインターフェースコネクタです。（IEEE1284 準拠）
5	IEEE1394 コネクタ	400Mbps の IEEE1394 に準拠したインターフェースです。
6	メディア置きバー	軽量のロールメディアを取り付けるときに、メディアをのせてセットしやすくするためのバーです。☞ P.2-19
7	ロールホルダー	軽量のロールメディアの紙管の左右に入れて、メディアを保持します。 2 インチと 3 インチの紙管に対応しています。2 本のロールメディアを同時に作図する場合は、ロールホルダーをもう 1 セット取り付けます。☞ P.2-24
8	折り返しバー	ロール置き台に載せたロールメディアの送りを補助するバーです。
9	ロールシャフト	25 kg 以上のロールメディアを取り付けます。
10	ロール置き台	25 kg以上の重いロールメディアをセットします。☞ P.2-11
11	トルクリミッタ	ロール置き台に載せたロールメディアのたわみによってメディア送り、画質が安定しない場合に調整します。☞ P.2-31
12	レベルフット（7 個）	本装置を固定します。付属のレンチで締めて固定してください。☞ P.1-3
13	廃インクタンク	廃インクを溜めるタンクです。☞ P.3-12
14	AC インレット（2 個）	電源ケーブルを接続します。コンセントに差し込む際は、それぞれ別系統のコンセントに差し込んでください。☞ P.2-3
15	主電源スイッチ	装置本体と、プリントヒーター用の主電源スイッチです。インク詰まり防止のため、常に主電源はオンにしてください。☞ P.2-3
16	プリヒーター電源スイッチ	プリヒーター用の主電源スイッチです。☞ P.2-3
17	クランプレバー（後）	本装置前面にあるクランプレバーと連動しています。
18	プリヒーター	プリント前のメディアに予熱をかけます。（プラテンの内側にあります。）

操作パネル

操作パネルは、作画方法の設定、各種操作に使用します。



ディスプレイ
本装置の状態、設定項目、エラーなどを表示します。

POWER ランプ
本装置の電源をオンにすると、点灯します。

ジョグキー
【▲】【▼】【◀】【▶】
《ローカルモード》でのヘッドやメディアの移動、作図条件の項目選択に使用します。

【HEATER】キー
プリントヒーター、プリヒーターの温度を設定します。現在のプラテンの温度も確認できます。

【DATA CLEAR】キー
本装置が受信したデータを消去します。

【FUNCTION】キー
各種機能設定メニューに入ります。

【REMOTE】キー
《ローカルモード》と《リモートモード》を切り替えます。

【ENTER】キー
１段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。

【END】キー
直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを１つ前の階層に戻す場合に使用します。

【TEST & CLEANING】キー
インク詰まり確認用のテストパターンを作図します。また、インク詰まりを起こしている場合のヘッドのクリーニングを実行します。

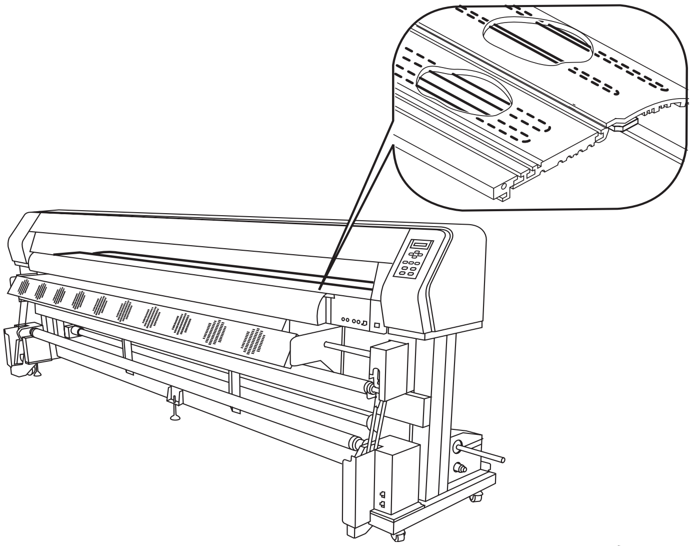
ジョグキーのはたらき

ジョグキーは、使用するタイミングにより機能が異なります。

	メディア検出前	メディア検出後	機能選択時	設定の選択時
◀	メディア幅を検出します。	キャリッジを左へ移動します。		
▶	メディア幅とメディア長を検出します。	キャリッジを右へ移動します。		
▲		メディアを奥へ移動します。	１つ前の機能に戻ります。	１つ前の値を選択します。
▼		メディアを手前に移動します。	次の機能に移ります。	次の値を選択します。

ヒーターパネル

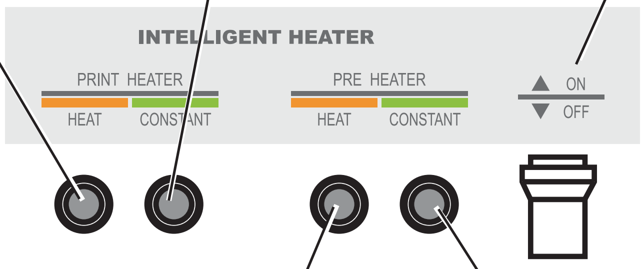
プラテンには、プリントヒーターとプリヒーターを内蔵しています。
ヒーターの電源オフ / オン、および各ヒーターの状態を LED ランプで表示します。
本装置の電源スイッチをオフにすると、ヒーターの電源もオフになります。



ヒーター用の電源スイッチ
ヒーターの電源をオン / オフします。

HEAT ランプ
プリントヒーターの加熱中は、オレンジ色に点灯します。

CONSTANT ランプ
プリントヒーターの温度が設定値まで達すると緑色に点灯します。



HEAT ランプ
プリヒーターの加熱中は、オレンジ色に点灯します。

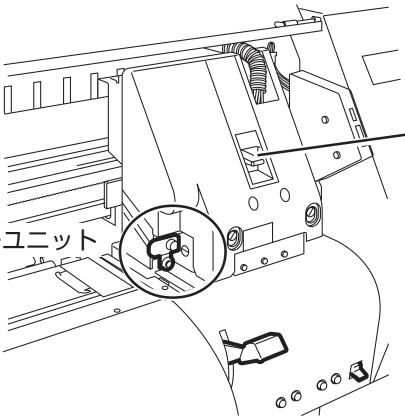
CONSTANT ランプ
プリヒーターの温度が設定値まで達すると緑色に点灯します。

- CONSTANT ランプ点灯中に HEAT ランプが消灯することがあります。これはヒーターの温度が設定温度に達したため、加熱を中断している状態です。異常ではありません。

キャリッジ

キャリッジには、作図用のインクヘッドや、メディアカット用のカッターユニットなどが付いています。
また、メディアの厚さに合わせて、ヘッドの高さを 2 段階に調整するレバーが付いています。

☞ P.2-7



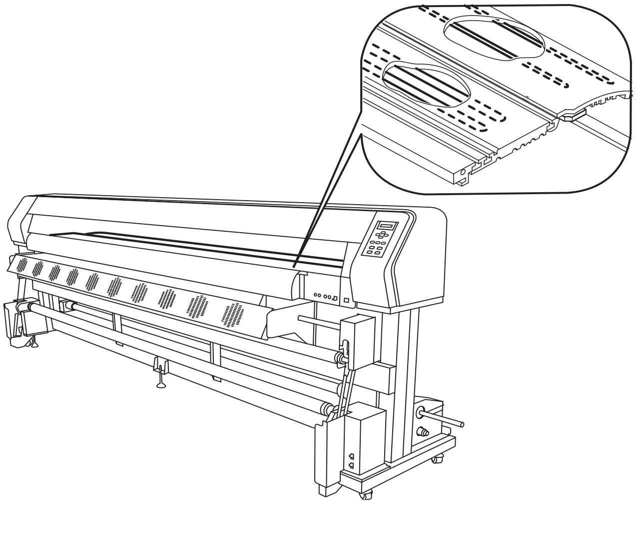
ヒーター

プラテンには、プリントヒーターとプリヒーターを内蔵しています。
プリヒーターは、作図前のメディアを温め、プリント部での急激な温度変化を抑えます。
プリントヒーターは、印字する際の画像品質を上げ、作図後のインクを乾燥します。

注意

★ ヒーターの加熱中は、プラテンが高温になっています。
フロントカバーを開ける際やメディアを交換する際は、ヒーターの温度を下げ、プラテンの温度が十分下がってから行ってください。火傷の原因になります。

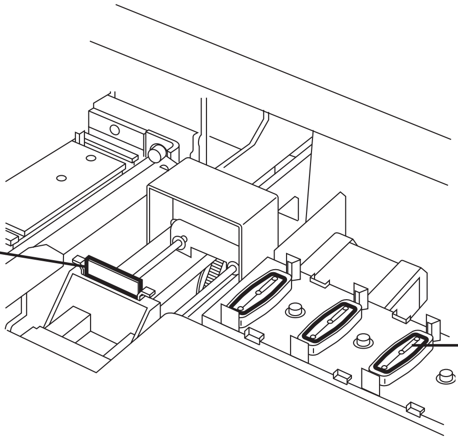
★ 薄手のメディアに交換する際は、ヒーターの温度を下げてプラテンの温度が十分下がってから交換してください。プラテンが高温の状態で行うと、メディアがプラテンに貼り付いたり、シワやカールの原因になります。



キャッピングステーション

★ キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属のゴーグルを着用してください。目にインクが入る危険があります。

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成しています。
インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。
ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。
ワイパは、消耗品です。ワイパが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパに交換してください。P.5-5

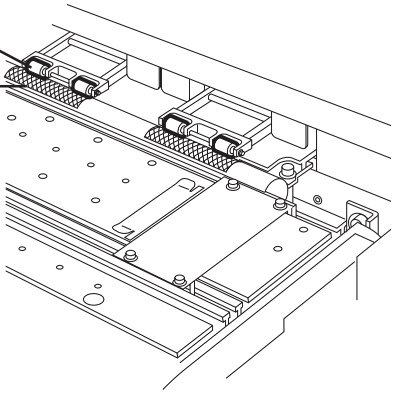


ピンチローラーとフィードローラー

重 要!

★ 本装置を使用しないときは、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。

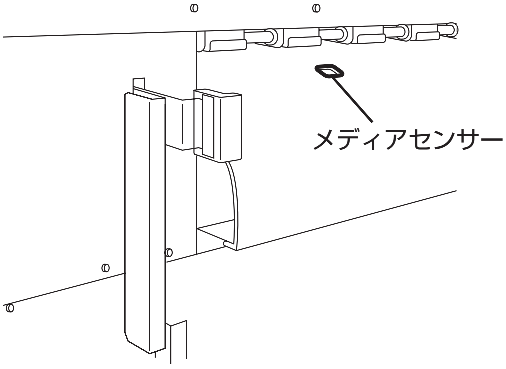
本装置は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメディアを保持し、作図時にメディアを前側に送り出します。



メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出します。
プラテン上にメディアセンサーが 2 箇所あります。

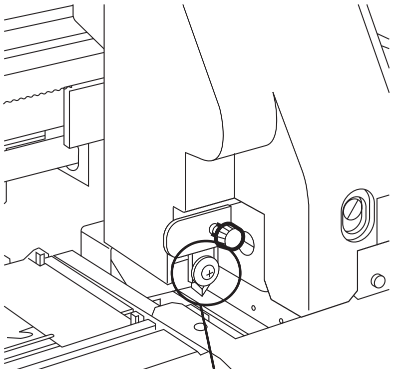
重 要! ★ メディアは、必ずプラテン後部側のメディアセンサーを覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディアを検出できません。



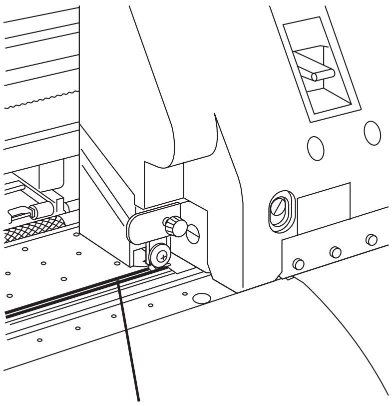
カッター刃とカットライン

キャリッジにはメディアをカットするカッターユニットが付いています。
プラテンのカットラインに沿ってメディアをカットします。
P.2-45 任意でカットする場合、P.4-8 作図終了ごとに自動カットする場合

カッター刃



カットライン



インクの取り扱い上のご注意

★ インクには有機溶剤を使用しております。皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。
万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で 15 分 以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。

★ インクカートリッジは分解しないでください。

★ インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、カートリッジからインクがもれることがあります。

★ インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。

★ 専用のインクカートリッジをお使いください。本装置は、専用のインクカートリッジを認識して動作します。インクカートリッジ等の改造により故障した場合は、保証期間内でも保証の対象外になります。

★ インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、 3 時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。

★ インクカートリッジは開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは作図品質が低下します。

★ インクカートリッジは冷暗所で保存してください。

★ インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。

★ 空になったインクカートリッジは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。

★ インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。

メディアについて

メディアの取り扱い注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。

重 要!

★ **推奨メディアをお使いください**
安定した高画質で作図するには、弊社推奨のメディアをお使いください。

★ **メディアの特性に合わせたヒーター温度設定**
メディアの種類や特性に合わせて、プリヒーターおよびプリントヒーターの温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから 指定する方法があります。

★ **メディアの伸縮**
包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。
室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。
開封後、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。

★ **カールしたメディア**
カールしたメディアは使用しないでください。紙詰まりの原因になります。

使用可能メディア

使用可能メディアは、ロールメディアとリーフメディアです。
本装置で使用可能なメディアの種類とサイズを説明します。

推奨メディアの種類

ターポリン
FF(Flexible Face)
耐候塩ビシート

使用可能メディアサイズ

使用可能メディアサイズは、ロールホルダやロール置き台の使用により異なります。
ご使用のセット方法について参照してください。

		ロールホルダ使用時	ロール置き台使用時
ロール	最大幅	2550 mm	
	最小幅	210 mm	
	最大作図範囲＊1	2500 mm	
	厚さ	1.0 mm 以下	
	ロール外形	φ 180 mm 以下	φ 250 mm 以下
	ロール重量＊2	25 kg 以下	110 kg 以下
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ	3 インチ
	作図面	ロール外側面	ロール外側面または内側面
	巻終わり処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着	
リーフ	最大幅	2550 mm	
	最小幅	210 mm	
	最大作図範囲＊1	2500 mm	

＊1　最大作図範囲は、以下の条件によって変わります。詳しくは本体仕様の表をご覧ください。
(☞ P. 付録 -2)
・インクセット
・解像度
・バリアブルデータ
・ノーマルデータ

＊2　ロールの左右を保持したとき、ロールにタワミがないこと

ヒーター電圧の設定

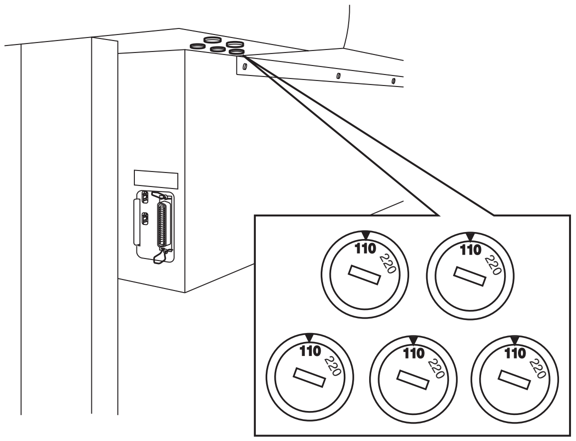
本装置を使用する電源電圧に合わせて、ヒーターの電圧を設定します。
電圧の設定は、本装置左側のカバー下にある 5 つの電圧セレクタで行います。
工場出荷時は、安全のため 220V に設定しています。

注意

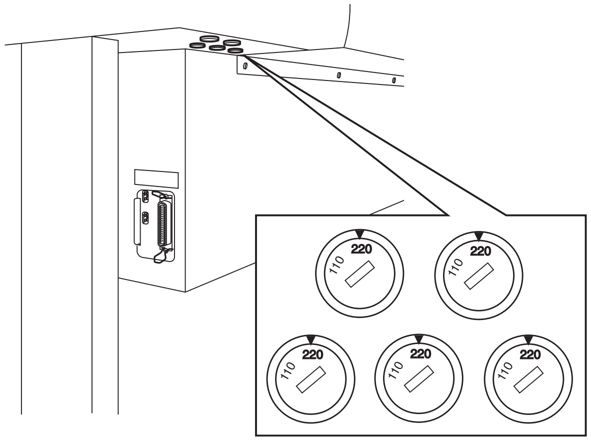
★ **電圧セレクタを 110V の設定で本装置を 200 ～ 240V の電源に接続した場合、本装置が破損する原因になります。**

★ **電圧セレクタを 220V の設定で本装置を 100 ～ 120V の電源に接続した場合、ヒーターの温度が設定した温度まで上がりません。**

100 ～ 120V に接続する場合



200 ～ 240V に接続する場合



モードについて

本装置には、次の 4 つのモードがあります。
各モードについて説明します。

ノットレディモード

メディアを検出する前のモードです。【REMOTE】キー以外のキーが有効です。

ローカルモード

メディア検出後のモードです。
全てのキーが有効です。
コンピュータからのデータを受信できます。ただし、作図は行いません。
ローカルモードでは以下の操作が可能です。

1. ジョグキーを押して、メディア検出や原点を設定します。
2. 【TEST & CLEANING】キーを押して、テスト作図とヘッドクリーニングを行います。
3. 【DATA CLEAR】キーを押して、受信した作図データを消去します。
4. 【FUNCTION】キーを押して、各種機能を設定します。（→ファンクションモード）
5. 【HEATER】キーを押して、ヒーターの温度を設定します。

リモートモード

受信したデータを作図します。
作図中に、【REMOTE】キーを押すと一時停止します。

ファンクションモード

ローカルモード時に【FUNCTION】キーを押すと、ファンクションモードになります。
各ファンクション機能を設定します。

2章
作業の流れ

作図を行うために必要な操作、および設定方法について説明します。

本章の内容

作業の流れ *2-2*
電源をオンにする *2-3*
フロントカバーについて *2-5*
インクステーションとヘッドの関係 *2-6*
ヘッドの高さを調整する *2-7*
メディアをセットする *2-9*
乾燥ファンの角度を変える 2-9
重いロールメディアをセットする 2-10
巻き取り装置の使い方 2-14
メディアキャリアの使い方 2-17
軽いロールメディアをセットする 2-19
２本のロールメディアをセットする 2-24
ロックピンの操作方法 2-30
トルクリミッタを調節する 2-31
リーフメディアをセットする 2-32
ヒーターの温度を調整する *2-35*
ヒーターに異常がある場合 2-37
ノズル詰まりを確認／解消する *2-38*
テストパターンを作図する 2-38
異常なパターンの場合は（クリーニング） 2-39
メディアの送り量を補正する [ﾒﾃﾞｨｱﾎｾｲ] *2-40*
画像データを作図する *2-42*
作図を開始する 2-42
作図を中止する 2-43
より詳しい作図情報を表示する 2-44
作図が終了したら[メディアカット] 2-45
[ﾆｱｴﾝﾄﾞ/ｲﾝｸｴﾝﾄﾞ]を表示したら *2-46*
電源をオフにする *2-48*

作業の流れ

電源のオンから印刷が終了するまでの作業の流れです。
各項目の詳細説明は、参照ページをご覧ください。

1. 電源スイッチをオン ☞ P. 2-3
2. ヘッド高さの確認 ☞ P. 2-7
3. メディアをセット ☞ P. 2-9
4. ヒーターの電源をオン 温度の設定 ☞ P. 2-35
5. テスト作図の実行 ☞ P. 2-38
6. メディア補正の調整 ☞ P. 2-40
7. 作図開始 ☞ P. 2-42
8. 電源スイッチをオフ ☞ P. 2-48

電源をオンにする

重要! ★ **本装置には、2つの電源プラグがあります。**
別々の供給源のコンセントへそれぞれ差し込んでください。同一供給源内に差し込むと停電、本装置の故障につながります。

本装置には、３つの電源スイッチがあります。

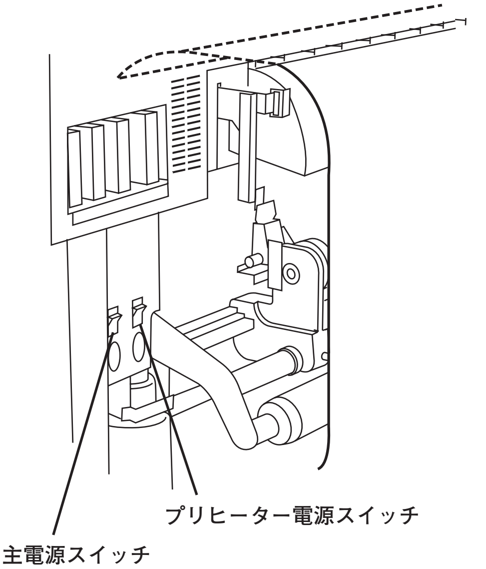
主電源スイッチ　：本装置の背面にあります。通常はオンにしておきます。主電源をオフにしたまま放置すると、ヘッドのノズルが目詰まりを起こす原因になります。症状によっては、復旧が困難になる場合があります。

● **電源スイッチがオフの状態で、主電源スイッチをオンにした時、ノズル詰まり防止機能が動作することがあります。動作終了後、自動的に電源が切れます。**

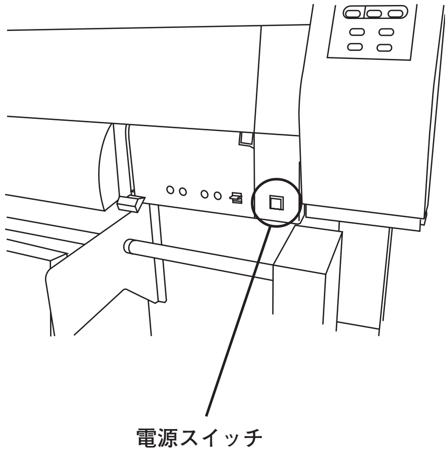
電源スイッチ　：本装置の前面にあります。通常はこのスイッチを使用してください。
１回押すと本装置の電源がオンになります。もう一度押すと、電源がオフになります。電源スイッチがオフになっていても、定期的に電源がオンになりノズル詰まり防止機能が動作します。（フラッシング機能）

プリヒーター電源スイッチ：本装置の背面、主電源スイッチのとなりにあります。
プリヒーターの電源をオンにします。

背面



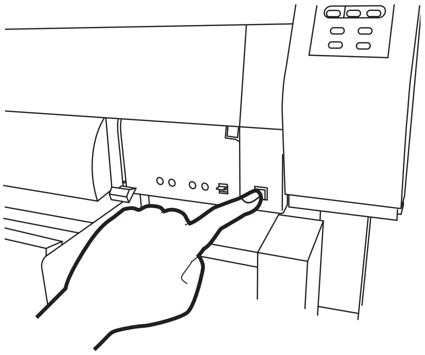
前面



2

作業の流れ

① 本装置の電源を入れます。
本装置前面にある電源スイッチを１回押します。



重要！ ★ **フロントカバーが閉じていることを確認してください。**
フロントカバーが開いていると初期動作を行いません。

電源をオンにすると[BOOT]を表示し、続けてファームウェアのバージョンを表示します。

ＢＯＯＴ

↓

Ｖ＊．＊＊

↓

② [シバラク　オマチクダサイ]の表示を点滅します。
初期動作を実行します。

シバ゛ラク　オマチクタ゛サイ

↓

③ ローカルモードになります。

＜ローカル＞

すでにメディアをセットしてある場合は、メディア選択の表示をします。

メテ゛ィア　センタク
ロール＜　　　　＞リーフ

④ 接続してあるコンピュータの電源をオンにします。

フロントカバーについて

フロントカバーの開閉について

注意

★ 作図中にフロントカバーを開けないでください。作図中にフロントカバーを開けると、作図を中断し、継続できなくなります。

★ フロントカバーは、取っ手を持って開閉してください。樹脂面を持って開閉すると、破損の原因になります。

作図中にフロントカバーを開けると、安全のためキャリッジが停止し、本装置の作図動作が止まります。
この場合、次の操作手順で本装置、およびコンピュータを再起動してください。

① 作図中にフロントカバーを開けると、メッセージを表示します。
作図を停止します。

```
カバ゛ーヲ　シメテクダ゛サイ
```

② コンピュータからのデータ送信を停止します。

③ フロントカバーを閉めます。

```
（　COVER　OPEN　）
<ENT>ヲ　オシテクダ゛サイ
```

④【ENTER】キーを 1 回押します。

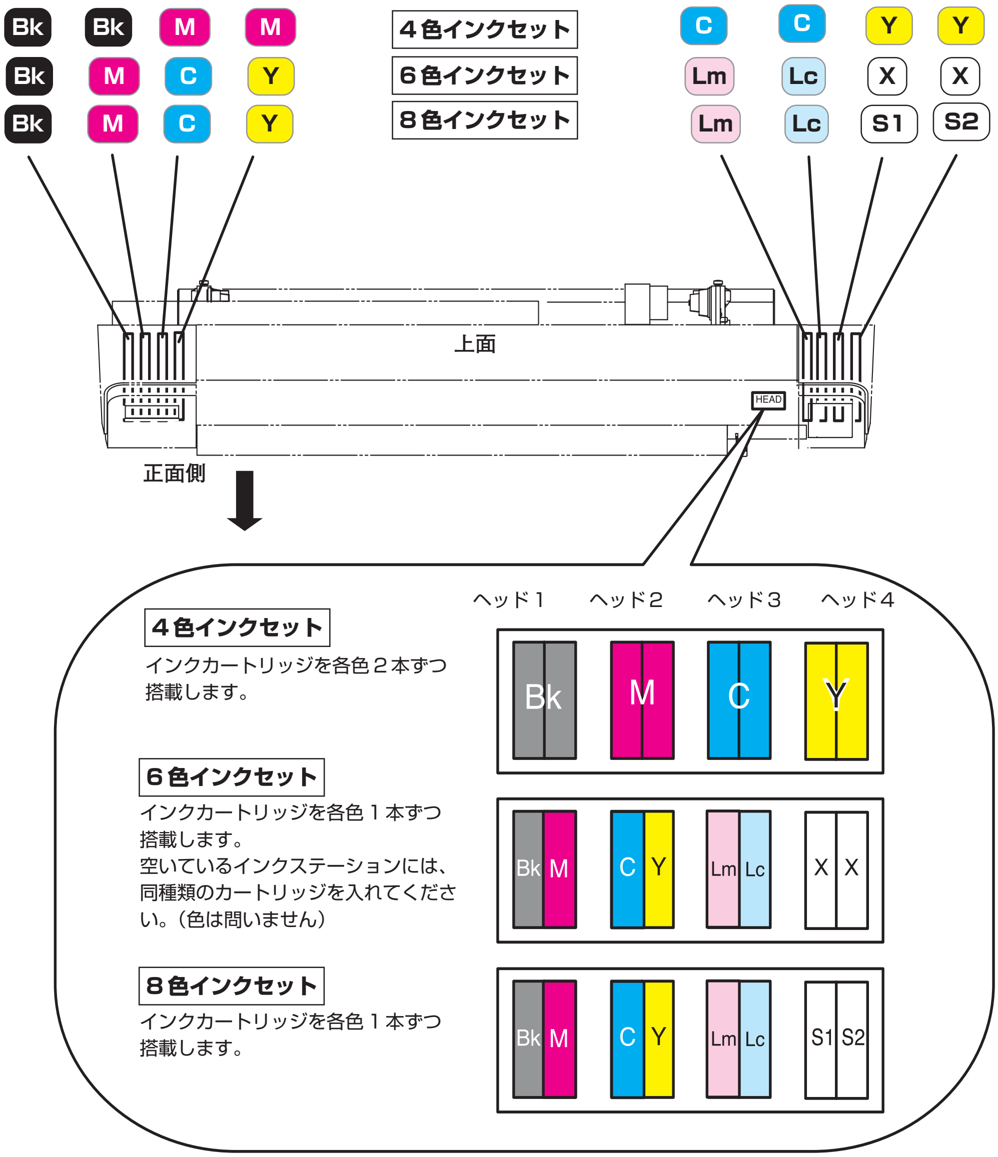
ENTER

```
ショキカチュウ
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ
```

⑤ キャリッジが動き始めます。
初期動作を行います。 P.2-4

インクステーションとヘッドの関係

キャリッジには、４つのヘッドを搭載しています。
１つのヘッドには、２列のノズルを配置しており、１列のノズルに対して１色のインクが対応しています。
ヘッドのノズル詰まりのチェックや、インクエンドとなったカートリッジの交換、インクを充填する場合の対応関係に参照してください。
インクステーションにセットするカートリッジは、初期充てんの際に選択したインクセット（４色/６色）により異なります。（インクセットを変更する場合は P.5-32）



※ Bk:ブラック /M:マゼンタ /C:シアン /Y:イエロー /Lc:ライトシアン / Lm:ライトマゼンタ /S1, S2:特色１, ２ /X:同種類のインクを示します。

● **６色インクセットでは、空いているインクステーションに必ず同種類のインクカートリッジ（色は問いません）を入れてください。**

ヘッドの高さを調整する

使用するメディアの厚みに応じて、ヘッドの高さを上下２段階に調整します。

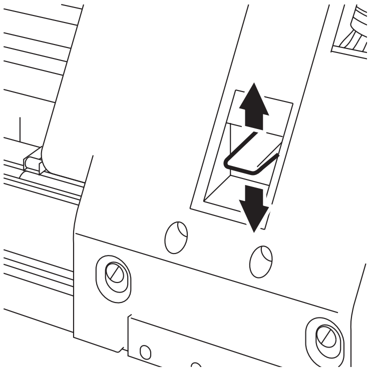
注 意

★ メディアをセットする前に、ヘッドの高さを調整してください。
ヘッドの高さを「Thin」(ウスイ）にセットしてある場合、厚いメディアをセットしてから高さを調整すると、ジャムやヘッドを破損する原因になります。

★ 高さ調整レバーは、上か下のどちらかに確実にセットしてください。ヘッドの高さを調整しないで厚いメディアを使用すると、作図品質が悪くなるばかりでなく、ヘッドが故障する場合があります。

★ 作図方向を[ソウホウコウ]に設定して使用する場合は、ヘッドの高さを調整した後に、メンテナンス機能の[ドットイチホセイ]を行ってください。P.5-15

★ 調整したヘッド高さに合わせて、ファンクション機能の[ヘッドタカサ]（ウスイ / アツイ）を設定してください。P.4-11



メディア	高さ調整レバー
光沢塩ビ	**Thin　　薄い**
ターポリン FF	**Thick　　厚い**

注 意

★ メディアの材質により、ヘッドにホコリが付着しやすい場合や、インクこすれが発生する場合、レバーを「Thick」（アツイ）にセットします。

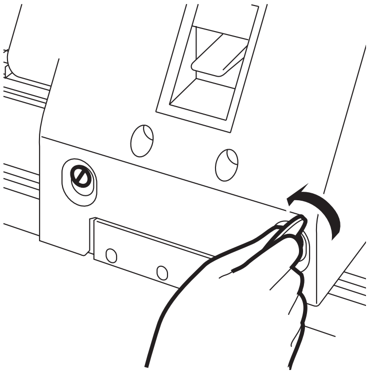
操作手順

① キャリッジをプラテン上に移動します。

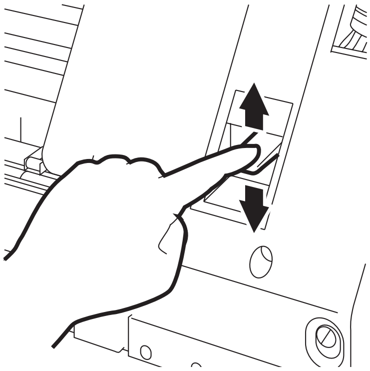
電源 ON 時： メンテナンス機能の「ステーションメンテ -キャリッジアウト」を実行します。 P.5-4

電源 OFF 時： 正面カバーを開けて、手でキャリッジを動かします。

② ヘッド正面にある 2ヶのネジをコイン等で 1 回転程度、緩めます。

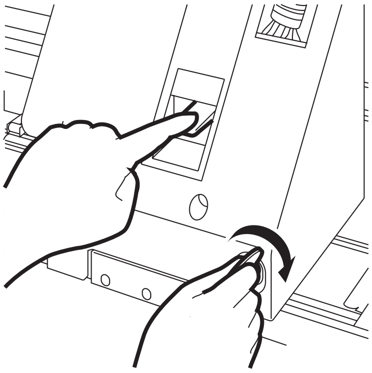


③ 高さ調整レバーを調整します。
メディアの厚みによって調整してください。
P.2-7



重 要!
★ **高さ調整レバーは、必ず上か下に設定してください。中間に設定すると、作図異常をおこします。**

④ 高さ調整レバーを押さえたまま、2ヶのネジを締めます。



重 要!
★ **高さ調整レバーを押さえないでネジを締めると、正常な位置にヘッドを固定できません。**
★ **ネジは緩まないように確実に締めてください。**

⑤ キャリッジをステーションに戻します。

メディアをセットする

本装置では、ロールメディアとリーフメディアが使用できます。
メディアは、弊社推奨のメディアをお使いください。

重要！ ★ 透明なメディアをセットすると、ディスプレイに次のメッセージを表示し、メディアを検出できない場合があります。

```
ERROR 50
メディアケンシュツ
```

★ メディアに直射日光が当たっていると、正しくメディア幅を検出できない場合があります。

★ 作図済みのメディアは使用しないでください。インクがピンチローラーに付着し、メディアが汚れたり、メディア検出できない場合があります。

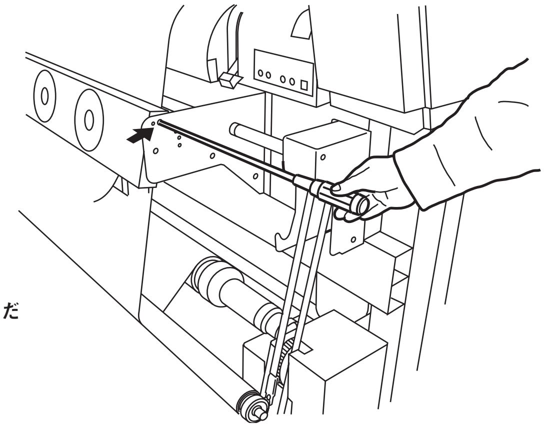
★ カールがきついメディアや内巻きのメディアは、メディアがプラテンに沿うように巻きくせを直してからご使用ください。

乾燥ファンの角度を変える

乾燥ファンの風向は、７段階の角度に調整できます。必要に応じて調整してください。

操作手順

① 乾燥ファン両端の上側のネジを外します。



② 変更したい角度の穴に合わせます。

重要！ ★ 両端の穴は、同じ位置で固定してください。

③ ネジをしっかり閉めます。

重いロールメディアをセットする

25kg 以上の重いロールメディアは、ロール置き台にセットします。
紙管にロールシャフトを通して、ロールメディアのたわみを防ぎます。

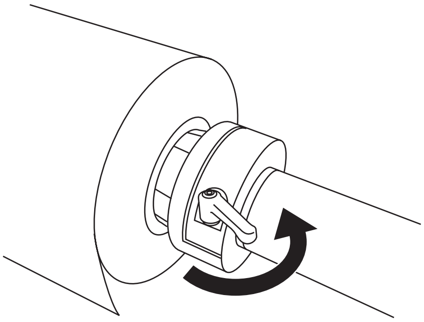
注意
★ **重いロールメディアのセットは 2 人以上で行い、メディアを足に落とさないように注意してください。**

操作手順

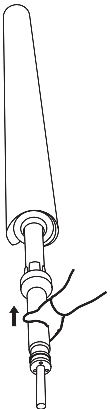
① 本装置背面にあるロール置き台のフタを開け、ロールシャフトを取り外します。

ロールシャフトにはロール置き台用ロールホルダーが付いています。ロックレバーをゆるめて取り外し、ロールシャフトをメディアに通します。

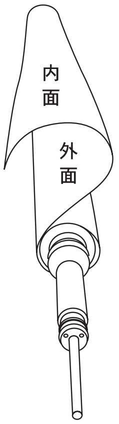
注意
★ **ロール置き台のロールシャフトを持つときは、必ず両端の安全バーを持ってください。他の部分を持つと、指が挟まれる恐れがあります。**



② ロールシャフトをメディアの紙管に通します。

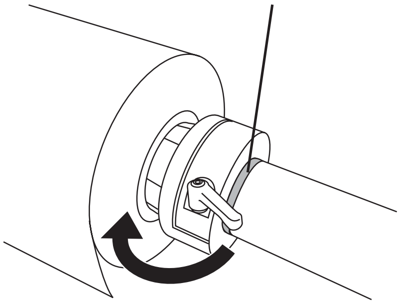


● **重いメディアは、基本的に印字面が内側になっています。図のようにメディアが内側から出るようにセットしてください。**



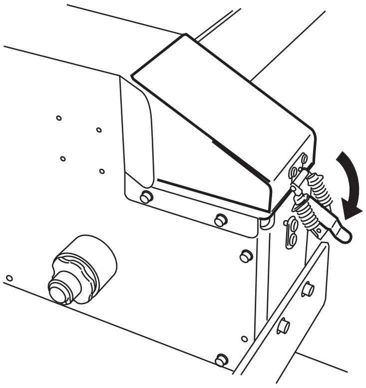
③ メディアの両側をロール置き台用ロールホルダーで固定します。

メディアが動かないようにロールホルダーを押し込み、ロックレバーを締めます。



● **ロールシャフトには、ホルダー位置合わせ用のラインがついています。そのラインに合わせて固定すると、原点位置に合わせることができます。このラインが付いている側が操作パネル側にくるように取り付けます。**

④ メディアをセットしたロールシャフトをロール置き台に載せ、両側のフタを閉めます。

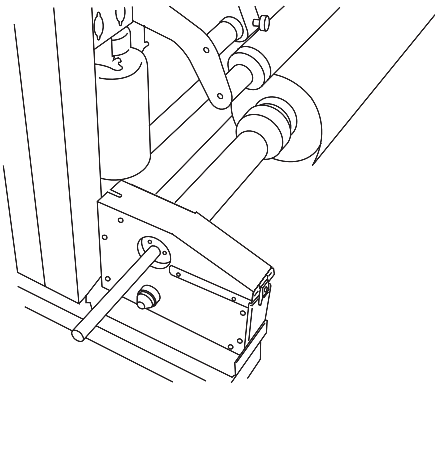


重要！

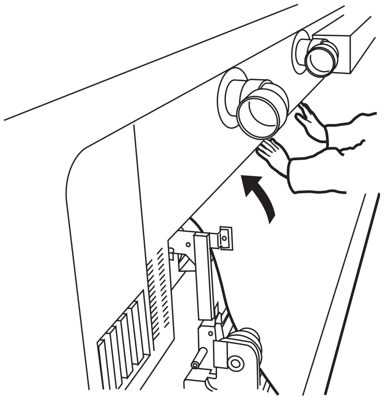
★ **ロールシャフトを手で回しながらフタを閉めてください。ロールシャフトのギアがかみ合う状態になります。**

重要！

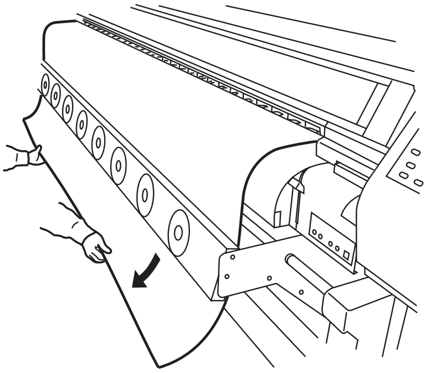
★ **フタは確実に閉めてください。確実にフタをしないとメディアの送りが安定しません。**



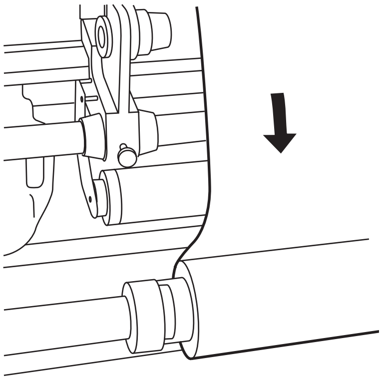
⑤ 2人でロールメディアを引き出し、プラテンとピンチローラーの間に差し込み、メディアを本装置の前面まで引き出します。



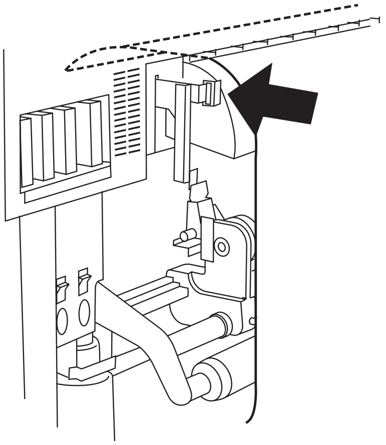
⑥ 本装置前面からメディアを余分に引き出します。



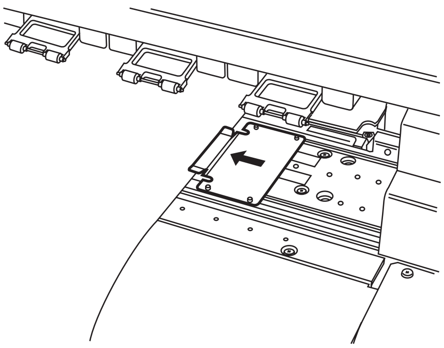
⑦ 再度、本装置背面に戻り、ロールを巻き戻しながらまっすぐメディアが出ていることを確認します。



⑧ 本装置背面のクランプレバーを押します。
メディアを保持します。



⑨ メディア浮き防止用のメディア押さえでメディアの両端にを軽くはさみます。



重 要！ ★ メディア押さえは、奥まで押し込まないでください。軽くはさむ程度にセットしてください。

● 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえを外して作図します。

⑩ フロントカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。
初期動作後、ローカルモードに戻ります。
☞ P.1-17

ENTER

（ＣＯＶＥＲ　ＯＰＥＮ）
<ＥＮＴ>ヲ　オシテクダ゛サイ

⑪ ジョグキー【◀】を押します。（ロール選択）
メディア幅を検出し、ローカルモードになります。

メテ゛ィア　センタク
ロール<　　　　　　>リーフ

<ローカル>
ハバ゛：２４７５ｍｍ

巻き取り装置の使い方

重 要!

★ **メディアをセットしてから作業を行ってください。**P.2-9

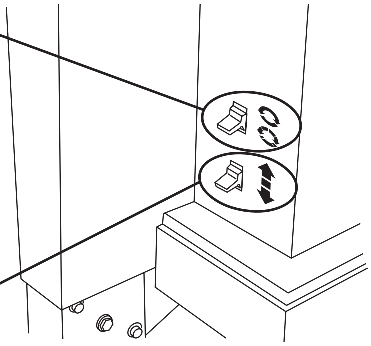
★ **巻き取り装置を使用する場合、巻き取り装置とキャリッジの間のメディアには作図できません。また、ロール置き台側のメディアは紙管からメディアが外れた後も作図を続けると、テンションが変わり画質に影響が出るので作図しないでください。**P.4-14

巻き取り装置には、メディアの巻き取り方向や巻き取りのオフを設定するスイッチがあります。

動作モードスイッチ

手 動　: 巻き取り装置を強制的に動かします。

自 動　: 通常はこの状態で使用します。メディアのたるみの状態によって巻き取ります。



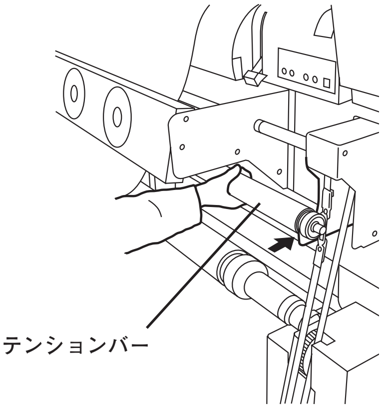
回転方向スイッチ

上側　:　作図面を内側にして巻き取ります。
OFF　:　巻き取りを停止します。
下側　:　作図面を外側にして巻き取ります。

● **回転方向スイッチが OFF のときは、巻き取り動作を行いません。**
● **動作モードスイッチが手動（　）のときは、回転方向スイッチの方向で回転します。**

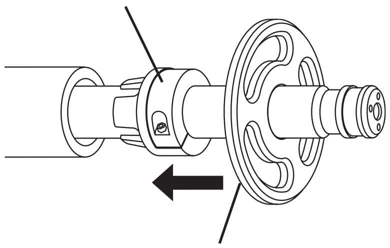
操作手順

① テンションバーを､上部にあるテンション置きに載せます。
手で押し上げて載せてください。



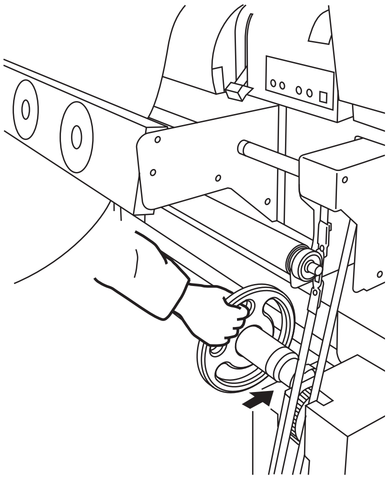
② 前面の巻き取り装置の巻き取り軸シャフトを外し、空の紙管に通します。
ロールホルダーは、ロックレバーをゆるめて巻き取り軸シャフトシャフトから外します。

このとき、空の紙管の両側にロールホルダーとシャフトホルダーを取り付けます。



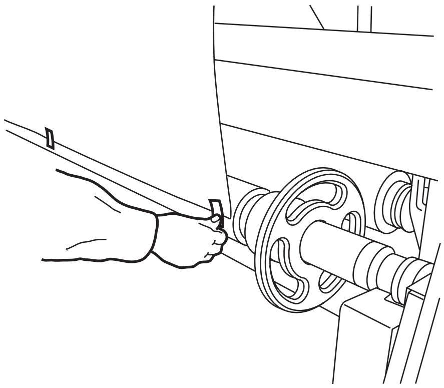
● **シャフトホルダーは、巻取ったメディアを巻き取り装置から外すときに使います。**

③ 巻き取り軸シャフトを､巻き取り装置に戻します。

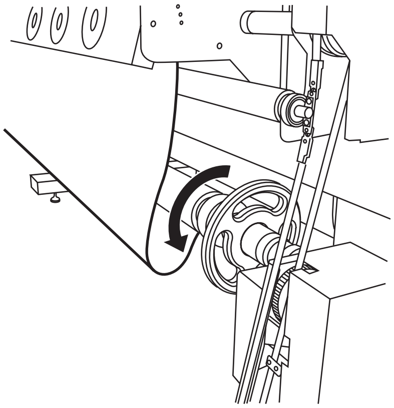


④ メディアを乾燥ファンとテンションバーの間に通しながら、ジョグキー【▲】【▼】を押して、適当な長さまで送り出します。

メディアの先端は、空の紙管に粘着テープなどで固定します。

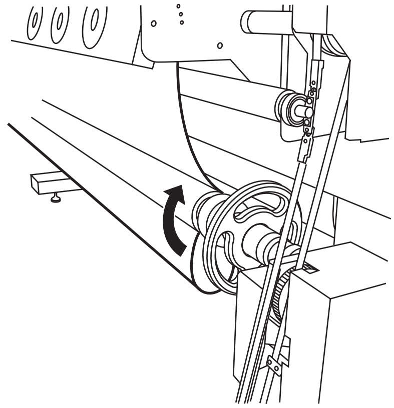


⑤ ジョグキー【▲】【▼】を押して、メディアをたるませます。
回転方向スイッチを下側（⬇）、動作モードスイッチを手動（⟳）にして、空紙管にメディアを約 1 周巻きつけます。



● **巻き取り装置にメディアを巻き付けて、テンションバーを下ろす前に、再度ジョグキー【▼】を使ってメディアをたるませた状態にします。**

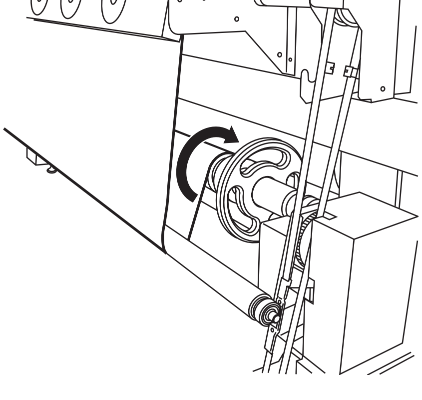
● **内巻きに巻き取る場合は、回転方向スイッチを上側（⬆）にしてください。**



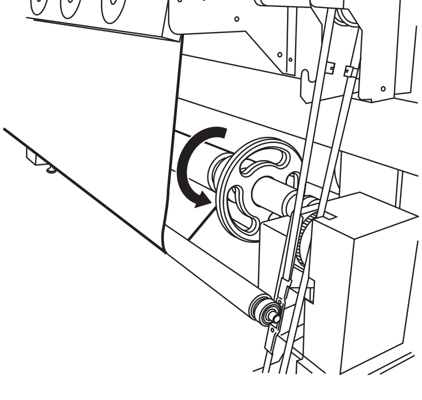
⑥ テンションバーをテンション置きから下ろします。

⑦ ジョグキー【▲】【▼】を押し、たるんだメディアを張ります。

＜内巻きの場合＞



＜外巻きの場合＞



メディアキャリアの使い方

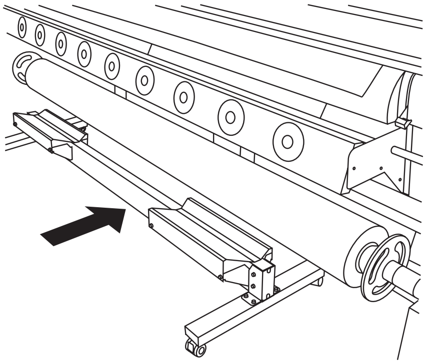
巻き取り装置を使って作図した後、大量に巻き取ったロールメディアを移動するときにメディアキャリアを使用します。

注意 ★ メディアは大変重いので、足に落とさないように注意してください。

重要! ★ この作業は2人で行ってください。

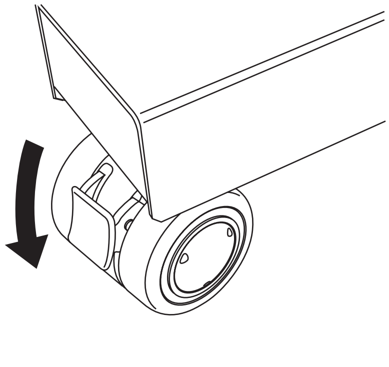
操作方法

① プリンター正面側から脚ステーに当たる位置まで、メディアキャリアを押します。



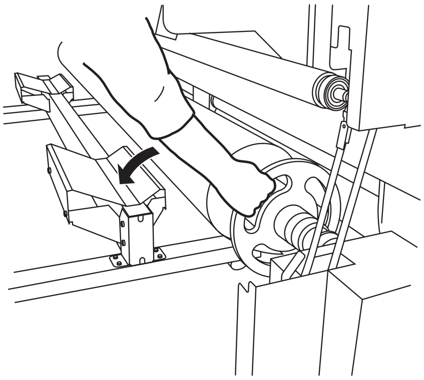
② メディアキャリアのキャスタをロックします。

注意 ★ 必ずキャスタをロックしてください。ロックしないとメディアキャリアが動いてしまい、メディアを落とす原因になります。

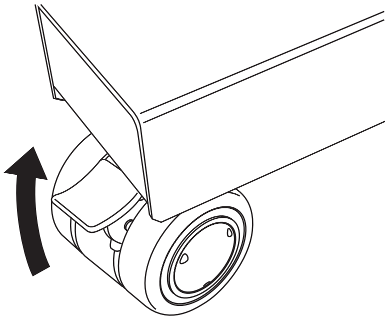


③ 左右のシャフトホルダーを持って、メディアをメディアキャリアに載せます。

● **シャフトホルダーを引くようにして載せます**。



④ キャスタのロックを解除します。
メディアキャスタを移動します。

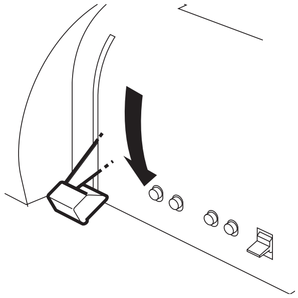


軽いロールメディアをセットする

25kg 以下の軽いロールメディアを取り付ける場合は、ロールホルダーを使用します。
ただし、幅が 1100mm 以下のロールメディアを使用する場合、ロールホルダーの移動が必要になります。P.2-24
メディアセット時に回ってしまうロールを一時的に固定する場合は、ロックピンを使用する必要があります。P.2-30

注意 ★ メディアを足などに落とさないように注意してください。

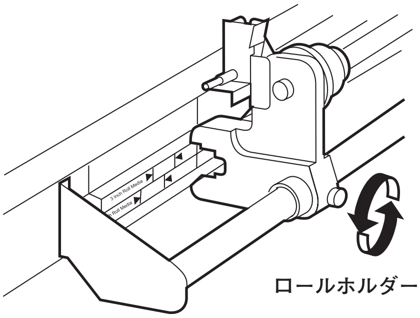
① 本装置前面のクランプレバーを下げます。



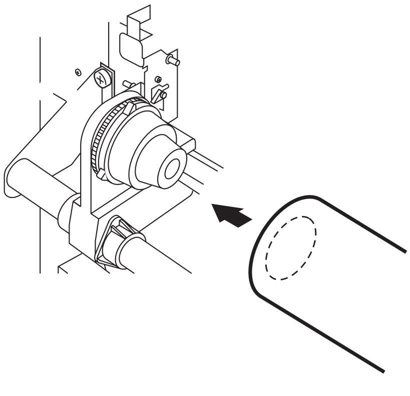
② 左側のロールホルダー固定ネジを緩めます。

③ ロールホルダーの位置を決めます。

ロールメディアの紙管の内径は、2 インチと 3 インチの 2 種類の大きさがあります。
ロールホルダーを「Roll holder set」シールの表示に合わせ、ロールホルダー固定ネジを締めます。

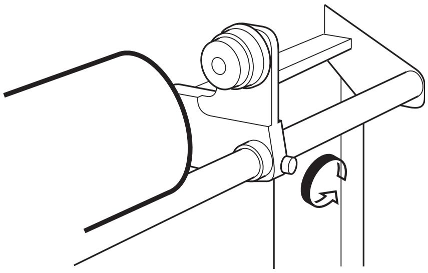


④ 左側のホルダーにロールメディアの紙管を差し込みます。
紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。

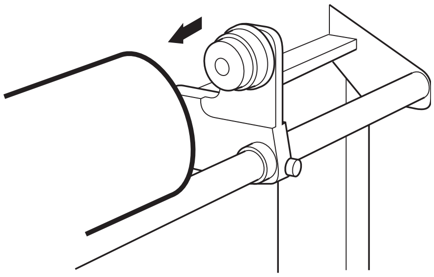


⑤ 右側のロールホルダーのネジを緩めます。
ロールメディアの幅に合わせて、ロールホルダーの位置を調整します。

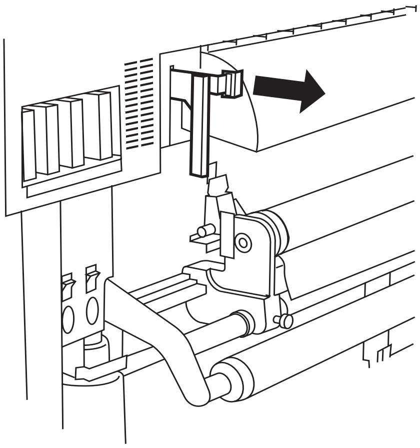
● ロールメディアをメディア置きバーの上に置きながらセットすると、メディアの扱いが容易になります。



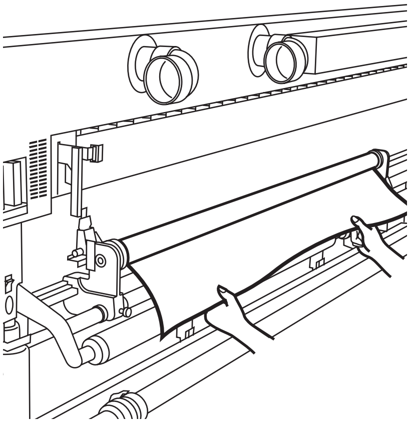
⑥ ロールメディアの紙管に、右側のロールホルダーを入れます。
紙管の奥までロールホルダーを差し込んだら、ネジで固定します。



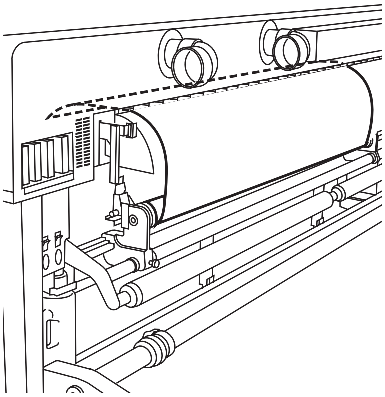
⑦ 背面のクランプレバーを引きます。



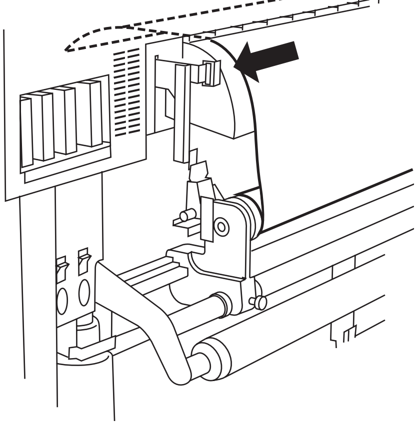
⑧ ロールメディアを本装置の背面から、プラテンの先端まで届く長さまで引き出します。



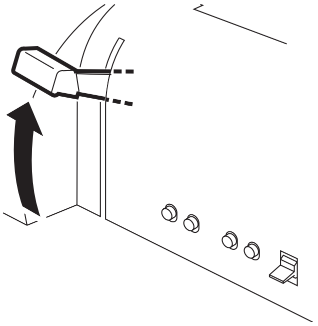
⑨ 引き出したロールメディアをプラテンとピンチローラーの間に差し込み、本装置の前面に引き出します。



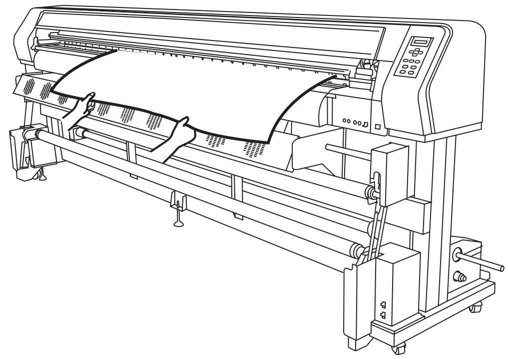
⑩ 本装置背面のクランプレバーを押します。
前面のクランプレバーが下がり、メディアを保持します。（仮セットします。）



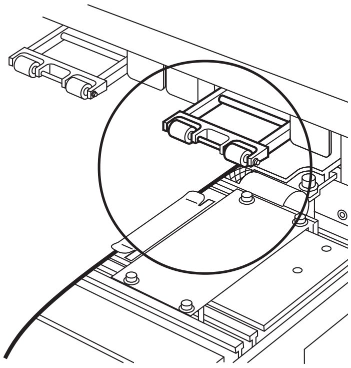
⑪ フロントカバーを開けて、本装置の前面のクランプレバーを上げます。



⑫ ロールメディアを静かに引き出し、軽くロックがかかる位置で止めます。



⑬ メディア押さえでメディアを軽く挟みます。



● 使用するロールメディアの幅が広いと、作図中にメディアの端が浮いてきます。「メディア押え」を使用して、メディア端を押さえておくと、メディアの浮きを防止して、メディアがよれることなく作図できます。

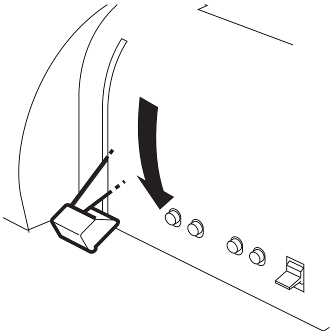
重要!

★ 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出ないようにセットしてください。

★ 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押えは使用しないでください。

⑬ ロールメディアの真ん中をまっすぐに引っ張り、クランプレバーを下げます。

- **巻き取り装置へのセット方法は、「巻き取り装置の使い方」と同じです。**
P.2-14



２本のロールメディアをセットする

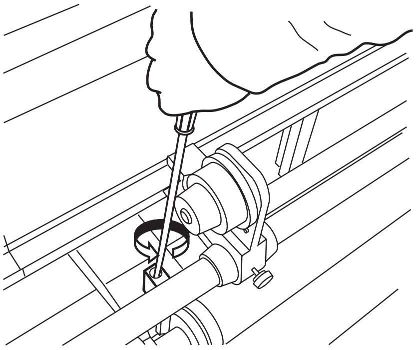
本装置は、同じ種類のロールメディアを２本セットできます。

重 要！
★ 必ず同じ種類のメディアを使用してください。違うメディアを使用すると、作図に支障が出ます。
★ １本あたりのロールメディアの最大幅は 1150mm です。

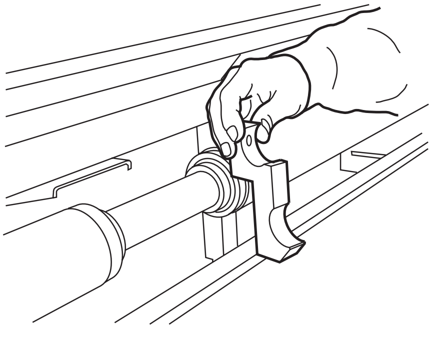
２本のロールメディアをセットする際、ロールホルダーを２セット使用します。

ロールホルダーの移動

① 付属のドライバーで、ロールホルダーのガイドレール中央にあるレール補助具のネジを取り外します。

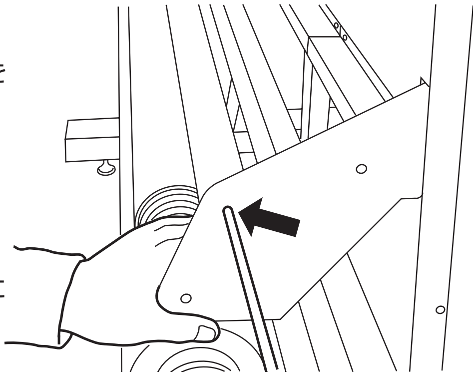


② レール補助具を外し、ロールホルダーを中央より操作パネル側にスライドさせます。



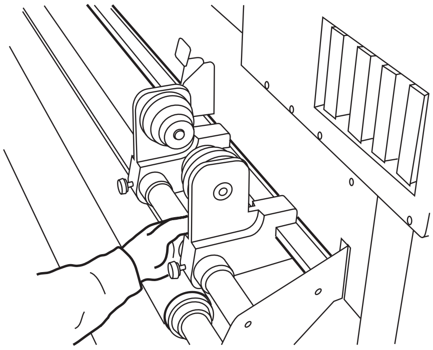
③ レール補助具を取り付け、ネジを締めます。

ロールホルダーの取り付け



① ロールホルダーのガイドレール端にあるネジを付属品のドライバーで外します。

② 装着済みのロールホルダーは、操作パネル側に寄せます。



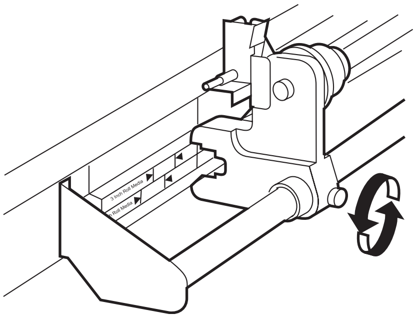
③ 追加用の２つのロールホルダー（付属品）を、ガイドレールに順番に挿入します。

④ ロールホルダーのコの字の型を本体に咬ませ、再度ネジをしっかり締めます。

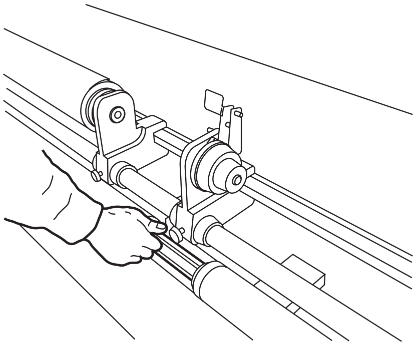
２本のロールメディアのセット手順

（重 要！） ● この作業は２人で行ってください。

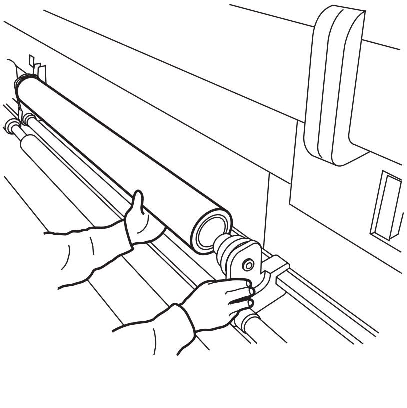
① それぞれ左側のロールホルダーの位置を固定します。



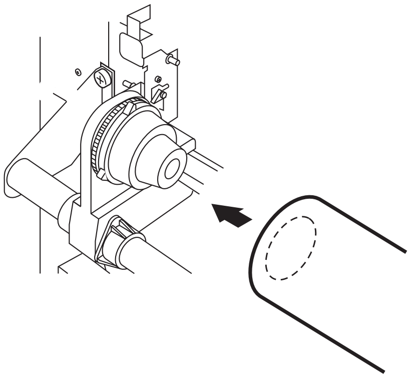
● 操作パネル側のロールホルダーの固定位置は、「Roll holder set」シールの表示に合わせてください。もう一方の固定位置は、ガイドレール補助具がぶつかる位置になります。



② 左側のホルダーにロールメディアの紙管を差し込みます。
紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。

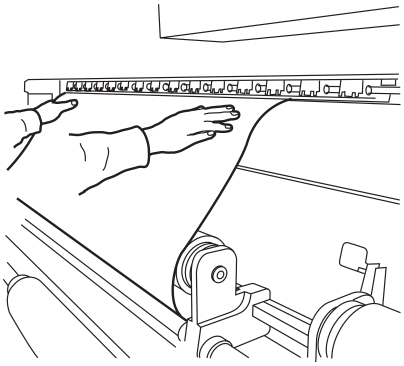


③ それぞれ右側のロールホルダーのネジを緩め、ロールメディアの紙管に、右側のロールホルダーを入れます。
紙管の奥までロールホルダーを差し込んだら、ネジで固定します。

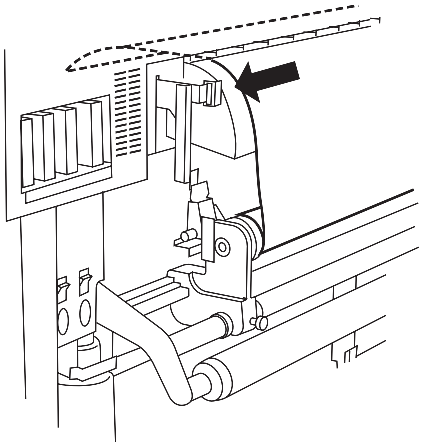


● ロールメディアをメディア置きバーの上に置きながらセットすると、メディアの扱いが容易になります。

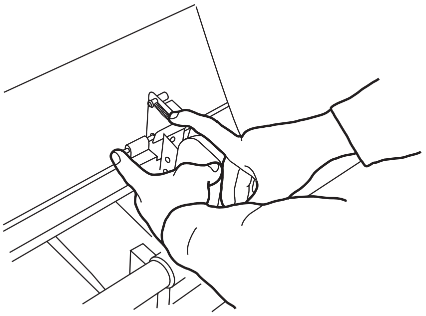
④ それぞれのロールメディアをプラテンの先端まで届く長さまで引き出し、背面からプラテンとピンチローラーの間に差し込みます。



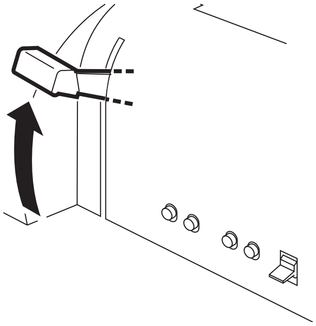
⑤ 本装置背面のクランプレバーを押します。
前面のクランプレバーが下がり、メディアを保持します。（仮セットします。）



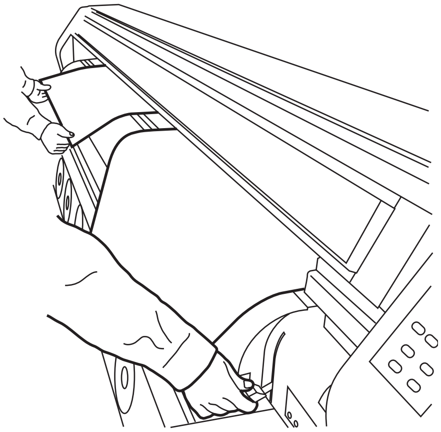
● **このとき、操作パネル側のロールホルダーにはロック機能が働きますが、もう一方のロールホルダーは、ロックが効きません。このような場合、ロックピンを使用します。****P.2-30**



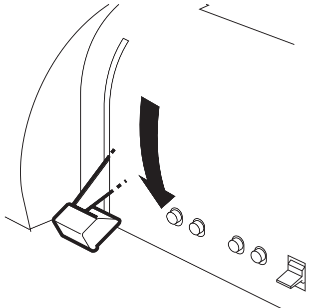
⑥ フロントカバーを開け、クランプレバーを上げます。



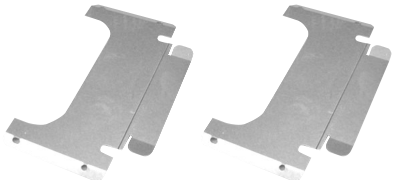
⑦ ロールメディアを静かに引き出し、軽くロックがかかる位置で止めます。



⑧ ロールメディアを均等に引っ張り、クランプレバーを下げます。



メディア押さえを追加する

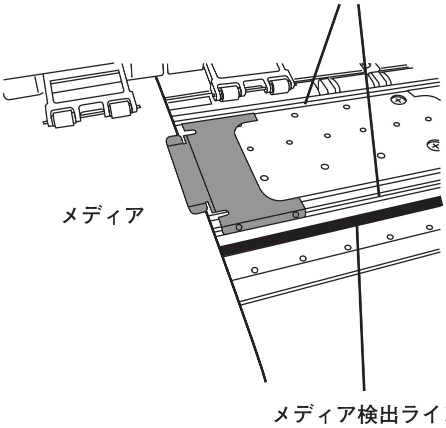


２本のロールを同時にセットして作図する場合、メディアとメディアの間に付属品のメディア押さえを取り付けます。P.2-26
作図中、メディアの浮き上がりによるヘッドへの接触を防ぎます。

注意
★ メディア押さえは鋭利なものです。手を切らないように注意してください。
★ ２本のロール使用時以外は、必ず取り外してください。取り付けたまま他のメディアをセットして作図すると、メディアとヘッドが接触し、故障の原因になります。

① メディア押さえをプラテン上の溝にはめ込みます。

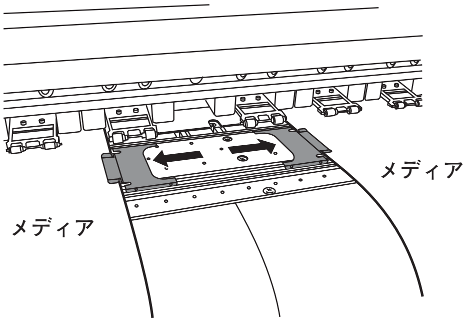
● プラテン手前側の黒いライン（メディア検出用ライン）よりも奥にある溝にメディア押さえを押し込みます。



② メディア押さえをスライドさせて、メディアの端を挟みます。

重要！
★ メディア押さえはメディアに対して軽く押さえる程度にセットしてください。奥までつめすぎると、メディアが正常に送れません。また、メディアカット時、カッターが接触し、刃が破損します。

● 取り外すときは、メディア押さえを軽く持ち上げると外れます。

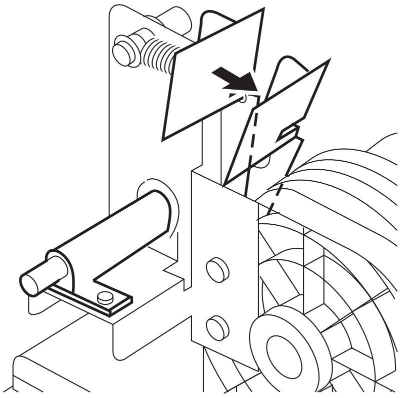


ロックピンの操作方法

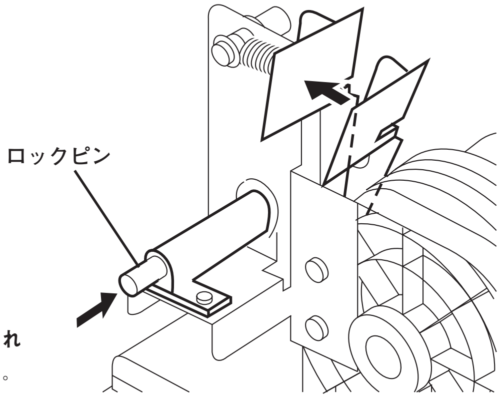
ロールホルダーに付いているロックピンは、メディアセット時に回ってしまうロールメディアを一時的に停止させる場合に使用します。

重要！ ★ 必ずメディアをプラテン上まで引き出してから、ロックピンを使用してください。ロックが一度解除されると、再セットが必要になります。

① ロールホルダーのレバーを手前に倒します。



② ロックピンを押し、レバーを放します。

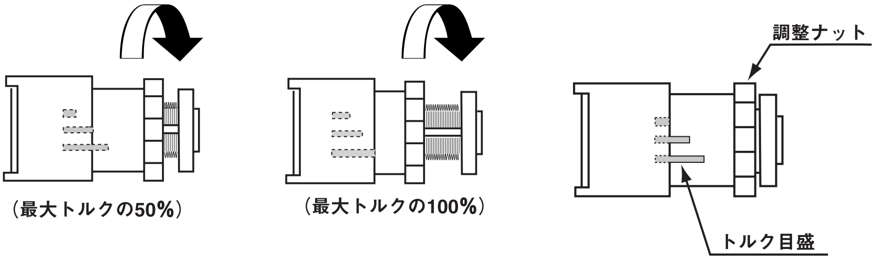


● 作図を開始して、メディアが引き出されると、ロックは自動的に解除されます。

トルクリミッタを調節する

ロール置き台には、トルクリミッタが付いています。
メディアの重さやたわみによって、メディア送りや画質が安定しないときは、トルクリミッタを調整します。（工場出荷時は、トルクリミッタを最も強く設定してあります。）
軽くてたわみのないメディアを使うときなど、テンションが強すぎる場合は、トルクリミッタの調節を弱めてください。

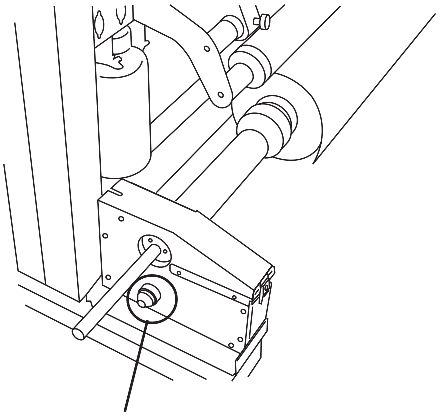
- 時計回り　：　テンションが強くなる（FF, ターポリン等の重量のある厚いメディア）
- 反時計回り：　テンションが弱くなる（軽いメディア）



重 要！

★ トルクリミッタの調節が弱すぎると、ロール置き台側のロールメディアが回ってしまい、メディアの送りが安定しません。
★ トルクリミッタの調節が強すぎると、メディアの送りがきつくなり、画質に影響する場合があります。

- 両サイドにトルクリミッタが付いていますが、一方を強く設定しても、トルクが弱い場合は、もう一方のトルクリミッタを調整します。

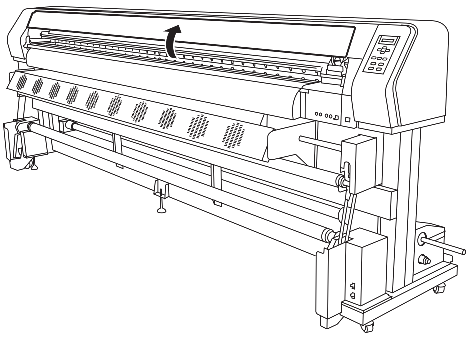


リーフメディアをセットする

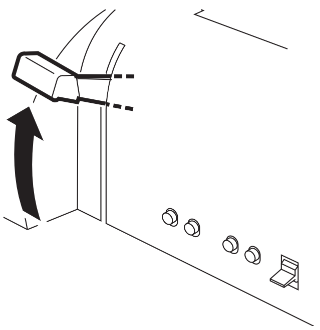
リーフメディアは、ロールホルダーに固定する必要はありません。

(重 要!) ★ リーフメディアを使用する場合は、メディアを斜めにセットしないように注意してください。

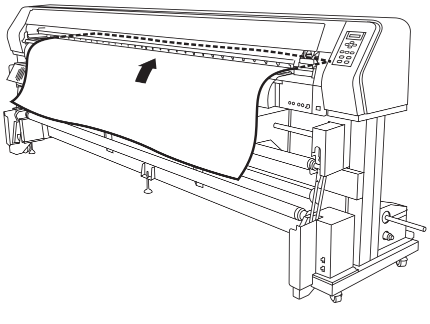
① フロントカバーを開けます。



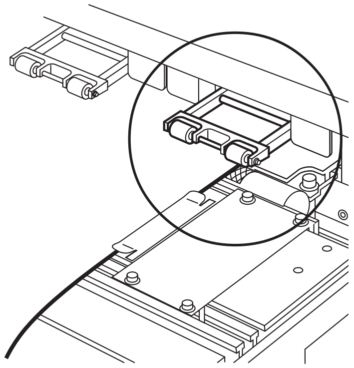
② クランプレバーを上げます。



③ リーフメディアをピンチローラーとプラテンの間に差し込みます。

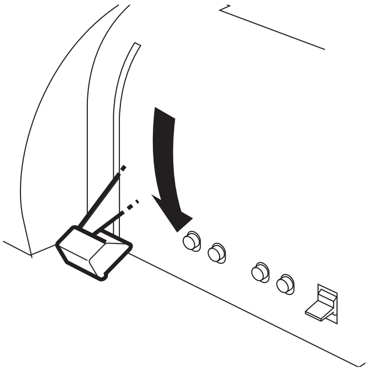


④ メディア押さえでメディアを軽くはさみます。

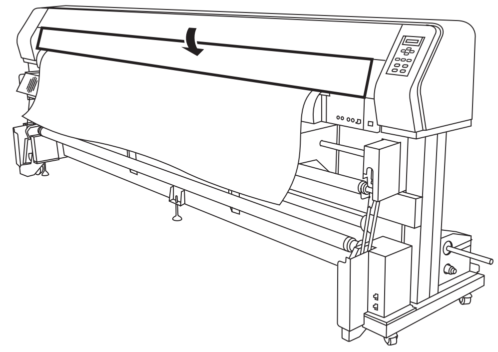


(重 要！) ★ 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出ないようにセットしてください。

⑤ クランプレバーを下げます。



⑥ フロントカバーを閉じます。



⑦【ENTER】キーを押します。
初期動作後、ローカルモードに戻ります。
P.1-17

（ＣＯＶＥＲ　ＯＰＥＮ）
＜ＥＮＴ＞ヲ　オシテクダﾞサイ

⑧ ジョグキー【▶】を押します。（リーフ選択）
キャリッジが動いてメディアを検出します。
その後ローカルモードになります。

メデﾞィア　センタク
ロール＜　　　　　　＞リーフ

＜ローカル＞
ハバﾞ：２４７５ｍｍ

ヒーターの温度を調整する

ヒーターの温度設定を保存するためには、ファンクションモードの「ヒーター」で設定してください。P.4-6

FUNCTION モード - セッテイ - タイプ＊ - ヒーター

ここでは、あらかじめファンクションモードで設定しておいた温度を調整する方法について説明します。
作図中にも温度を調整できるため、適切な温度に調整できます。
ただし、周囲の温度によっては、設定した温度に到達するまでに数分から十数分かかります。

重 要！

★ 本装置は、20 ～ 35℃の環境で使用してください。
周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。

★ ここで調整した温度は、電源をオフにするまで継続するか、下記の条件で新たに温度を変更するまで継続します。
- FUNCTION モードのタイプを変更する
- FUNCTION モードのヒーターの温度を変更する
- コンピュータからヒーターの温度を指定する

● お使いの RIP が、ヒーターの温度をコントロールできる機能を搭載している場合は、RIP 側でコントロールできます。
設定方法は、お使いの RIP の取扱説明書をご覧ください。

設定値：

℃の場合　：　OFF, 20 ～ 60 ℃（1℃単位）
˚F の場合　：　OFF, 68 ～ 140 ˚F（1˚F 単位）
まるめ誤差等により 1˚F 単位に設定できない場合があります。

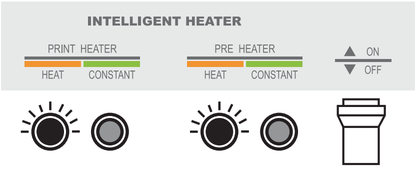
温度設定の目安

	SS インク			SS2 インク
メディア / ヒーター	光沢塩ビ	ターポリン	FF	全メディア
Pre	40℃	30℃	55℃	35℃
Print	40℃	42℃	55℃	35℃

メディアの状態により、適温に調整してください。P.4-12

操作手順

① ヒーターのスイッチがオンになっていることを確認します。
ヒーターが加熱中は、HEAT ランプが点灯します。
ヒーターの温度が設定した温度に達している場合は、CONSTANT ランプが点灯します。



② 【HEATER】キーを押します。

現在のヒーターの温度と、設定されている温度を表示します。
【HEATER】キーまたは【END】キーを押すと、元の表示に戻ります。

３０秒間何もキーを押さないと、ローカルモードまたはリモートモードになります。

HEATER

現在のヒーター温度

```
Pre      40°C( 40)
Print    35°C( 35)
```

設定されている温度

③ 【ENTER】キーを押します。

カーソルを表示し、プリヒーターの温度の変更が可能になります。

ENTER

```
Pre      40▶ 40°C
Print    35▶ 35°C
```

④ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、温度を変更します。

```
Pre      40▶ 45°C
Print    35▶ 35°C
```

⑤ ジョグキー【▶】を１回押して、プリントヒーターを選択します。

カーソルがプリントヒーターに移動し、温度の変更が可能になります。

```
Pre      40▶ 45°C
Print    35▶ 35°C
```

⑥ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、温度を変更します。

```
Pre      40▶ 45°C
Print    35▶ 40°C
```

⑦ 【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
Pre      40°C( 45)
Print    35°C( 40)
```

⑧ 【HEATER】キー、または【END】キーを押します。

ローカルモード、またはリモートモードに戻ります。

HEATER

```
＊リモート＊
タイプ゜１        ０．００ｍ
```

ヒーターの温度が設定温度に到達していない場合は、右の表示になります。
ヒーターが設定した温度に達すると、ブザーが鳴りプリヒーターとプリントヒーターのCONSTANTランプが点灯し、リモートモードに変わります。

```
オントﾞ  セイキﾞョチュウ
シバﾞラク  オマチクダﾞサイ
```

交互に表示

```
Pre      20°C( 47)
Print    20°C( 40)
```

●設定した温度に到達する前に作図を開始する場合は、【ENTER】キーを押してください。リモートモードに変わります。

ヒーターに異常がある場合

ヒーターの電源スイッチをオフの場合、またはヒーターに異常が発生した場合は、下記の表示になります。
【HEATER】キーを押すと、エラーの詳細を表示します。ご確認ください。

ローカルモード時	リモートモード時
＜ローカル＞　!ヒーター ハバ゛：ｘｘｘｘｍｍ	＊リモート＊　!ヒーター タイプ゜Ｘ　ＸＸ．ＸＸｍ

ノズル詰まりを確認／解消する

テストパターンを作図し、ノズル詰まりなどの作図不良がないか確認します。
異常がある場合は、クリーニング機能を実行します。

重 要！

★ テストパターンをリーフメディアに作図する場合、A4 サイズの横置き以上のサイズのメディアを使用してください。

★ ロールメディアをお使いの場合、テスト作図終了後、【REMOTE】キーまたは【FUNCTION】キーを押すと、メディアが作図原点位置まで戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じることがあります。
作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。

テストパターンを作図する

操作手順

① ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモード時は、【REMOTE】キーを押します。

REMOTE

```
<ローカル>
      ハハ゛：2475mm
```

② 【TEST & CLEANING】キーを押します。

TEST & CLEANING

```
テストサクス゛
             <ENT>
```

③ 【ENTER】キーを押します。
テスト作図を開始します。

作図終了後、ローカルモードに戻ります。

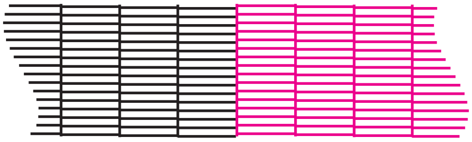
ENTER

```
  **  テストサクス゛  **
```

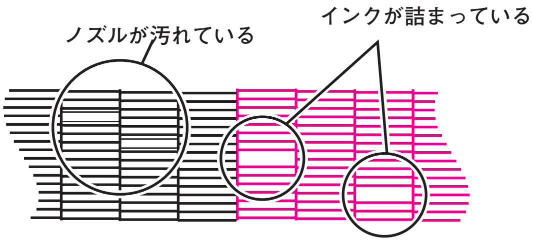
④ 作図結果を確認します。
異常がある場合は、次項に進みます。
正常な場合は、操作を終了します。

```
<ローカル>
      ハハ゛：1272mm
```

正常なパターン



異常なパターン



異常なパターンの場合は（クリーニング）

操作手順

① 【TEST & CLEANING】キーを 2 回押します。

TEST & CLEANING

クリーニンク゛
ヘッド　センタク　：12．34

② ジョグキー【▲】【▼】または【◀】【▶】を押して、クリーニングするヘッドを選択します。
ヘッド 1,2 と、ヘッド 3,4 のセットで選択します。

クリーニンク゛
ヘッド　センタク　：−−．34

クリーニンク゛
ヘッド　センタク　：−−．34

③ 【ENTER】キーを押します。

ENTER

クリーニンク゛
タイフ゜　　　　：ノーマル

④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、クリーニング方法を選択します。

ノーマル:
線の抜けがある場合に使用します。
ソフト:
線の曲がりがある場合に使用します。
キョウリョク:
ノーマル、ソフトのクリーニングを実行しても作図不良が直らない場合に使用します。

クリーニンク゛
タイフ゜　　　　：ノーマル

クリーニンク゛
タイフ゜　　　　：ソフト

クリーニンク゛
タイフ゜　　　　：キョウリョク

⑤ 【ENTER】キーを押します。
クリーニング動作を開始します。
動作の進行状況を 2 行目に＊表示で知らせます。

ENTER

クリーニンク゛チュウ
＊＊＊＊＊−−−−−−−−−−

クリーニング終了後、ローカルモードに戻ります。

<ローカル>
ハハ゛：2475mm

⑥ 再度テストパターンを作図し、作図結果を確認します。☞ P.2-38
作図結果が正常になるまで、上記手順①～③を繰り返してください。

重要！ ★ クリーニング動作を繰り返しても作図不良が直らない場合は、ワイパとインクキャップを清掃してください。☞ P.3-4

メディアの送り量を補正する [ﾒﾃﾞｨｱﾎｾｲ]

メディアの種類を交換したり、ヒーターの温度を変更した場合、巻き取り装置の使用の有無により、メディアの送り量が変化します。必ずメディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、作図した画像に縞が入るなど、綺麗に作図できない場合があります。

重 要!

★ ヒーターの温度を変更した場合は、CONSTANT ランプが点灯し、設定した温度に達していることを確認してから補正してください。

★ ロールメディアをお使いの場合、[メディアホセイ]を終了すると、作図原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じることがあります。作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。

補正パターン

2 本の帯を作図します。
2 本の帯の境目が均等の濃さになるように調整してください。

設定値：

-255 ～ 255

操作手順

① ローカルモードになっていることを確認します。

＜ローカル＞
ハバ゛：２４７５mm

②【FUNCTION】キーを押します。

ＦＵＮＣＴＩＯＮ
セッテイ　＜ＥＮＴ＞

③【ENTER】キーを押します。

セッテイ
センタク　：タイプ゜　１

④ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、タイプを選びます。 P.4-4

セッテイ
センタク　：タイプ゜　１

⑤【ENTER】キーを押します。

ENTER

タイプ゜ 1
メデ゛ィアホセイ　　<ｅｎｔ>

⑥【ENTER】キーを押します。
補正パターンを出力します。

ENTER

タイプ゜ 1
サクズ゛ カイシ　　：ｅｎｔ

サクズ゛ チュウ
シバ゛ラク オマチクダ゛サイ

⑦ 出力パターンの状態を確認します。

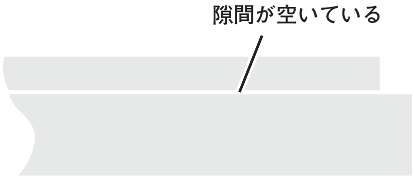
ジョグキー【▲】または【▼】を押して、補正値を入力します。(-255 ～ 255)

▲ ▼

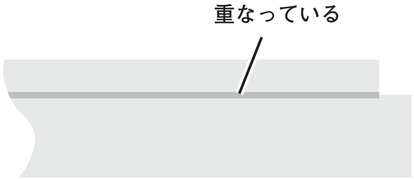
タイプ゜ 1
ホセイチ　　＝ ２０

● 補正値を 30 変更するごとに、帯が約 0.1mm 移動します。
この移動量を参考にして、補正量を決定してください。

補正値が大きい



補正値が小さい



⑧【ENTER】キーを押します。
補正値を登録します。
正常なパターンを作図するまで手順⑥～⑧を繰り返します。

ENTER

タイプ゜ 1
サクズ゛ カイシ　　：ｅｎｔ

⑨【END】キーを３回押します。
ローカルモードに戻ります。

END

<ローカル>
ハバ゛：２４７５ｍｍ

2

作業の流れ

画像データを作図する

作図を開始する

コンピュータからデータを受信するためのモード切り換え、および作図中の表示について説明します。
なお、各種機能の設定については、「4 章 設定機能について」を参照してください。

重 要! ★ ロールメディアをお使いの場合、作図を開始する前に本装置背面のメディアにたわみがないか確認してください。たわみがあると、画質不良の原因になります。

作図を開始するとディスプレイには、下記の情報を表示します。

```
＊リモート＊　３６０ｘ３６０
ＳＴＤ　／　４／Ｕ／　０．５０ｍ
```

- ３６０ｘ３６０：解像度 360 /540 /720 /1440 DPI
- ０．５０ｍ：作図終了したメディア長
- Ｕ：作図方向　U : 単方向、B : 双方向
- ４：分割方式 １～ ３２パス
- ＳＴＤ：作図品質
  - STD ： 標準品質
  - FINE ： 画質優先品質
  - FAST ： 速度優先品質
  - HOST ： コンピュータ側で作図設定を行った場合

操作手順

① ヒーターの温度を確認します。
ヒーターパネルの CONSTANT ランプが点灯していることを確認します。☞ P.1-9, P.2-35

②【REMOTE】キーを押します。
ローカルモードからリモートモードになります。
現在選択している作図条件のタイプを確認できます。☞ P.4-4

```
＊リモート＊
タイプ゜１　　　　　　０．００ｍ
```

③ コンピュータからデータを送信します。
作図データの作図条件を表示します。
データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

作図を開始します。
作図を開始すると、作図した分のメディア長を表示します。

```
＊リモート＊　３６０ｘ３６０
ＳＴＤ　／　４／Ｕ／　０．５０ｍ
```

作図を中止する

作図を中止する場合、作図動作を止めて、受信したデータを本装置から消去します。
データを消去しないと、リモートモードにした際、中止したデータから作図を開始してしまいます。

操作手順

① 作図中に【REMOTE】キーを押します。
作図動作を中止します。

REMOTE

＜ローカル＞
ハバ゛：２４７５ｍｍ

② コンピュータからデータを送信している場合、
データ送信を止めます。

③【DATA CLEAR】キーを押します。
受信したデータを消去します。

DATA CLEAR

デ゛ータクリア
＜ＥＮＴ＞

④【ENTER】キーを押します。
ローカルモードに戻ります。

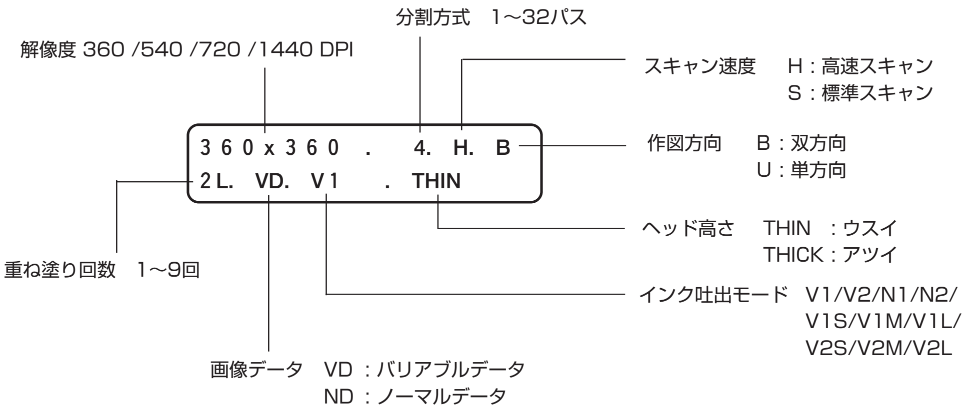
ENTER

＜ローカル＞
ハバ゛：２４７５ｍｍ

より詳しい作図情報を表示する

コンピュータから受信したデータの作図について、より詳しい作図情報を表示できます。
作図中は、作図中に表示する情報と併せることで、さらに詳しい情報を得ることができます。
作図していないとき（リモートモード / ローカルモード）は、最後に作図したときの情報を表示します。ただし、電源を入れてから一度も作図していない場合、表示する情報はありません。

● 作図に関して弊社に問い合わせる場合に、この内容表示を連絡してください。



操作手順

①【ENTER】キーを押します。

```
＊リモート＊
             1.2 3 m
```

```
3 6 0 x 3 6 0   .   4.  H.  B
2 L.  VD.  V 1   .  THIN
```

表示する情報がない場合

```
サクズ　ジョウホウ　ハ
               アリマセン
```

《ローカルモードの場合》

①【ENTER】キーを２回押します。

```
＜ローカル＞
        ハハ゛：2 4 7 5 mm
```

```
3 6 0 x 3 6 0   .   4.  H.  B
2 L.  VD.  V 1   .  THIN
```

表示する情報がない場合

```
サクズ　ジョウホウ　ハ
               アリマセン
```

作図が終了したら[メディアカット]

作図終了後のメディアカットについて説明します。

重要！

★ 作図を終了しても本装置の主電源スイッチをオフにしないでください。ノズル詰まりの原因になります。

● [オートカット]機能をオンにすると、作図終了後に自動的にカットします。
P.4-8

操作手順

① 【REMOTE】キーを押します。
ローカルモードに戻ります。

REMOTE

＜ローカル＞
ハバ゛：２４７５ｍｍ

② ジョグキーを押します。
どのジョグキーを押してもかまいません。

ケ゛ンテン　セッテイ
０．０　　　　－－－－－－

③ 【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION

メテ゛ィア　カット
＜ＥＮＴ＞

④ 【ENTER】キーを押します。
メディアをカットします。

ENTER

メテ゛ィア　カット　チュウ
シハ゛ラク　オマチクダサイ

ローカルモードに戻ります。

＜ローカル＞
ハバ゛：２４７５ｍｍ

[ニアエンド／インクエンド]を表示したら

インクカートリッジ内のインクが少なくなると、メッセージを表示します。
作図は続行できますが、作図中にインクが無くなる場合があります。
速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

重 要！ ★ [ニアエンド]を表示したら、早めにインクを交換してください。
連続出力を行う場合は、インク残量を確認後、作図を開始してください。作図中にインクが無くなると、作図を停止します。途中でインクを交換すると、色が変わってしまう場合があります。

＜ニアエンド：インク残量が少なくなった場合＞

インク残量が少ない色を表示します。
右の表示は、ブラックインクの残量が少ないことを示しています。

```
＜ローカル＞
ニアエンド゛　 Ｋ－－－－－－－
```

（６色モデル）

＜インクエンド：インクの残量が全く無くなった場合＞

インクが無くなった色を表示します。
右の表示は、シアンインクが無くなったことを示しています。

```
＜ローカル＞
インクエンド゛－－Ｃ－－－－－
```

- インクセットを６色にした場合、洗浄液のニアエンドは表示しません。
- 洗浄液が作図中にインクエンドになっても、そのまま作図を続けます。作図が終わった時点で、洗浄液のインクエンドを表示します。

```
＜ローカル＞
インクエンド゛ －－－－－－－Ｓ
```

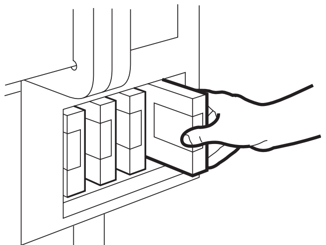
交換手順

① 作図中に、メッセージを表示します。

- [ニアエンド] では、１つのデータを作図するたびにローカルモードになり、動作を停止します。
作図が終了したら、手順②に進んでください。
- [インクエンド]では、作図は続行できません。

```
＜ローカル＞
ニアエンド゛　 Ｋ－－－－－－－
```

② 新しいインクと交換します。
表示した色のインクカートリッジを引き抜いて、新しいインクカートリッジをセットします。



③【REMOTE】キーを押します。
リモートモードになり、連続して作図ができます。

```
＊リモート＊
タイプ゜１　　　　　　０．００ｍ
```

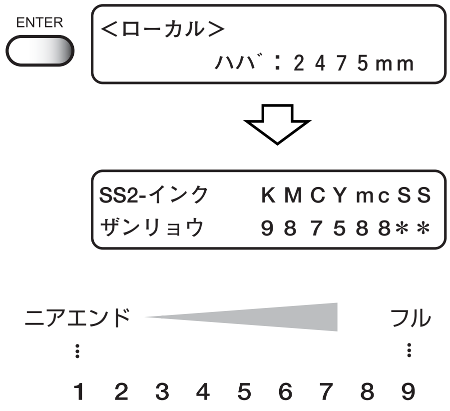
インク残量を表示する

インクの残量を表示し、各カートリッジに残っているインク量を確認できます。

操作手順

① ローカルモードで、【ENTER】キーを押します。

インク残量を１から９までの数字で表示します。
１は[ニアエンド]（残量わずか）を、９は[フル]（満タン）を示します。
また、現在充てんしているインクタイプも確認できます。



② 【ENTER】キーを押します。
ローカルモードに戻ります。

インクカートリッジに異常がある場合は、エラーの詳細を表示します。 P.6-6, 6-7

電源をオフにする

プリンターの使用が終了したら、前面の電源スイッチを押してオフにします。
電源をオフにするときは、データを受信していないか、未出力のデータが残っていないかを確認してください。
また、ヘッドがキャッピングステーションにあることを確認してください。

重 要!

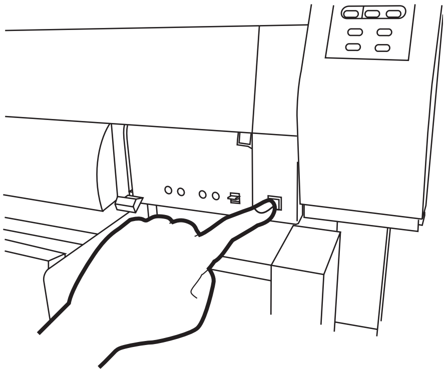
★ 背面の主電源スイッチはオフにしないでください。定期的に電源がオンになり、ノズル詰まり防止機能が動作します。
主電源スイッチがオフ状態で長時間放置すると、ノズルが詰まり、サービスマンによる修理が必要になります。

★ フロントカバーは閉めたままにしてください。フロントカバーが開いていると、ノズル詰まり防止機能が動作しません。

★ キャッピングしていないまま電源をオフにした場合は、再度電源をオンにしてください。ヘッドがキャッピングステーションに戻り、ヘッドの乾燥を防ぎます。
作図中に電源をオフにすると、ヘッドがキャッピングステーションに格納されない場合があります。キャッピングしていない状態で長時間放置すると、ノズル詰まりの原因になります。

操作手順

① 前面にある電源スイッチを押します。
操作パネルの POWER ランプが消灯します。



3章
日常のお手入れ

日常行うお手入れについて説明します。

本章の内容

日常のお手入れ *3-2*
お手入れ上のご注意 3-2
外装のお手入れ 3-3
プラテンの清掃 3-3
メディアセンサーの清掃 3-3
ワイパとキャップのクリーニング *3-4*
ヘッドまわりのクリーニング *3-6*
洗浄キットでクリーニングする *3-7*
廃インクが溜まったら *3-12*

日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

★ メンテナンス用洗浄液RSを使用する場合は、必ず付属の保護メガネを使用してください。

★ 本装置を絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。

★ 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。

★ ヘッドのノズル面やワイパ、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。

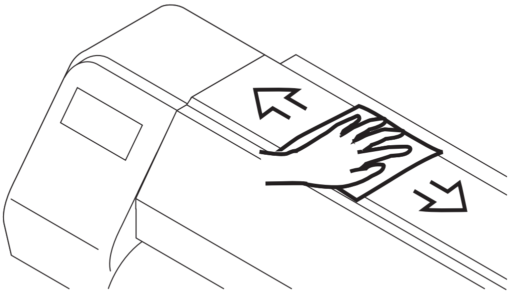
★ ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。

★ 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。

★ メンテナンス用洗浄液RSやインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

外装のお手入れ

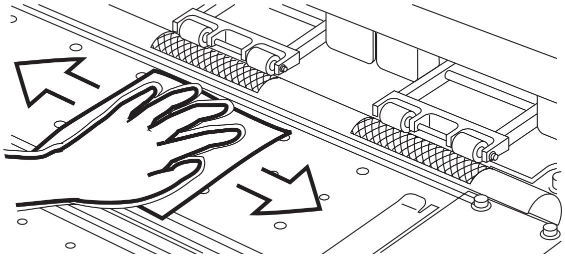
本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。



プラテンの清掃

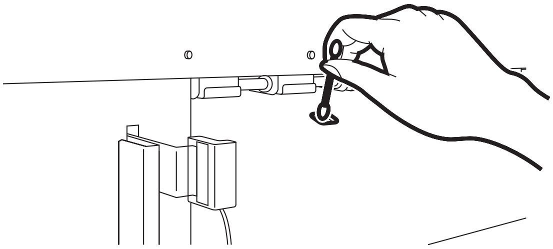
重要！　★　プラテンの温度が十分下がってから、清掃してください。

プラテン上は、メディアをカットするため、糸や紙粉等で汚れます。
ペーパータオルで汚れを拭き取ります。
インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液 RS を含ませたペーパータオルで拭き取ります。



メディアセンサーの清掃

綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。



ワイパとキャップのクリーニング

キャップは、ヘッドのノズルが乾燥して目詰まりするのを防止します。
ワイパは、ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取ります。
本装置を使用していると、インクやホコリ等でワイパやキャップが汚れてきます。
付属の綿棒を使用してクリーニングします。
画質や本装置の状態を良好に保つために、定期的にクリーニングをしてください。

★ 必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る恐れがあります。

注意

★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは操作キーを使用して動かします。

操作手順

① ローカルモードで【FUNCTION】キーを１回押します。

FUNCTION

```
FUNCTION
セッテイ             <ENT>
```

② ジョグキー【▼】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選択します。

```
FUNCTION
メンテナンス           <ENT>
```

③【ENTER】キーを押します。
[ステーション　メンテ]を表示します。

ENTER

```
メンテナンス
ステーション　メンテ　<ent>
```

④【ENTER】キーを押します。
[キャリッジ　アウト]を表示します。

ENTER

```
ステーション　メンテ
メンテ　　：キャリッジ　アウト
```

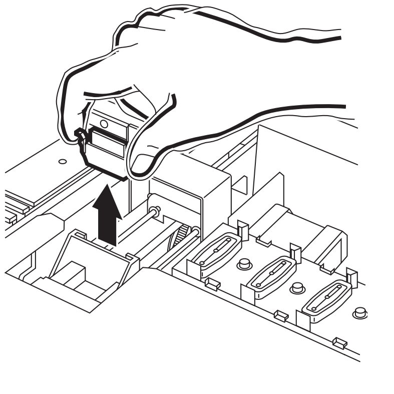
⑤【ENTER】キーを押します。
キャリッジがプラテン上に移動します。

ENTER

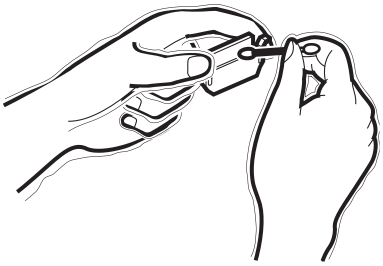
```
ステーション　メンテ
シュウリョウ　　　　　：ent
```

⑥ フロントカバーを開けます。

⑦ ワイパ両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。

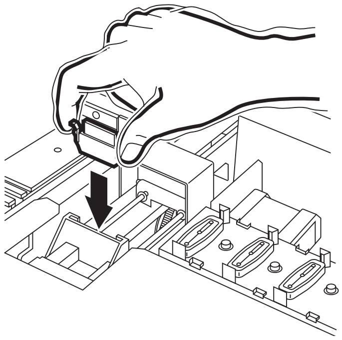


⑧ ワイパとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液RSを含ませた綿棒で取り除きます。

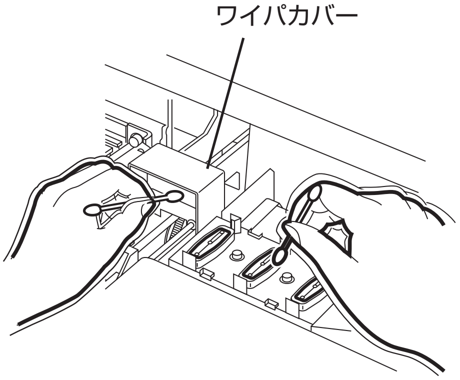


● **ワイパの汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。****P.5-5**

⑨ 両端の突起を持って、クリーニングしたワイパを差し込みます。



⑩ キャップのゴムや、ワイパカバーに付着したインク等を綿棒で拭き取ります。



重 要！ ★ **綿棒の繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、作図不良の原因になります。**

⑪ フロントカバーを閉めます。

⑫【ENTER】キーを押します。

初期動作を実行し、ローカルモードに戻ります。

ショキカ　チュウ
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ

<ローカル>

ヘッドまわりのクリーニング

ヘッドの側面にもインクが付着していることがあります。
メンテナンスカバーを開けて、インクを綿棒で拭き取ってください。

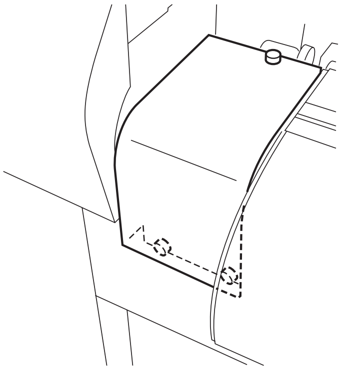
★ **必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。**
インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

操作手順

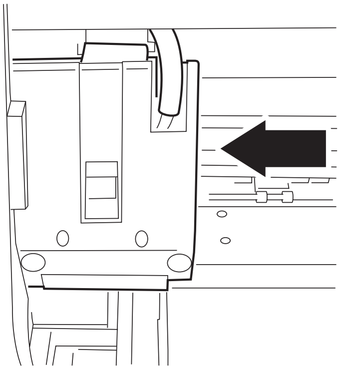
① 本装置前面の電源をオフにします。

P.2-48

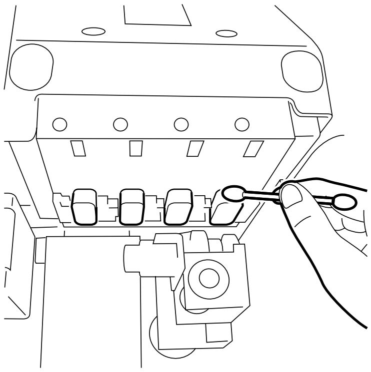
② カバーを固定している3つのネジを外し、メンテナンスカバーを開けます。



③ キャリッジを手で左端へよせます。



④ ヘッドの側面などに付着したインクを綿棒で拭き取ります。



⑤ キャリッジを手で右端へ戻します。

⑥ メンテナンスカバーを装着します。
手順②で外した３つのネジで固定します。

⑦ 本装置前面の電源をオンにします。

P.2-3

洗浄キットでクリーニングする

ステーション内部の汚れがひどい場合、またクリーニング機能（☞ P.2-39, 4-11)を実行してもノズル抜けが解消されない場合は、洗浄キットを使用します。
洗浄キットには、以下の物が入っています。アルコール、水等は使用しないでください。

・メンテナンス用洗浄液 RS（SPC-0336）
・スポイト
・綿棒
・手袋

★ **必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。**
インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

ステーション内部の洗浄

操作手順

① ローカルモードで【FUNCTION】キーを１回押します。

FUNCTION

FUNCTION	
セッテイ	＜ENT＞

② ジョグキー【▼】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選択します。

FUNCTION	
メンテナンス	＜ENT＞

③【ENTER】キーを押します。
[ステーション メンテ]を表示します。

ENTER

メンテナンス	
ステーション　メンテ	＜ent＞

④【ENTER】キーを押します。
[キャリッジ アウト]を表示します。

ENTER

ステーション　メンテ	
メンテ	：キャリッジ　アウト

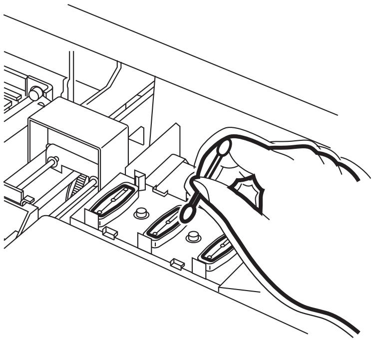
⑤【ENTER】キーを押します。
キャリッジがプラテン上に移動します。

ENTER

ステーション　メンテ	
シュウリョウ	：ent

⑥ フロントカバーを開けます。

⑦ メンテナンス洗浄液RSを浸した綿棒で、ワイパとキャップ周りの汚れを拭き取ります。



重 要！ ★ 綿棒の繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、作図不良の原因になります。

⑧ フロントカバーを閉めます。

⑨【ENTER】キーを押します。

初期動作を実行し、ローカルモードに戻ります。

ショキカ　チュウ シバ゛ラク　オマチクタ゛サイ

<ローカル>

ノズルの洗浄[ノズルセンジョウ]

重 要！ ★ この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、[インクジュウテン]、[ヘッドセンジョウ]機能（☞ P.5-21, 22）を実行してください。それでも解消されない場合は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。

操作手順

① ローカルモードで【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION

```
FUNCTION
セッテイ          <ENT>
```

② ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]選択します。

```
FUNCTION
メンテナンス       <ENT>
```

③【ENTER】キーを押します。
[ステーション メンテ]を表示します。

ENTER

```
メンテナンス
ステーションメンテ  < ent >
```

④【ENTER】キーを押します。
[キャリッジ アウト]を表示します。

ENTER

```
ステーション　メンテ
メンテ　　：キャリッジ　アウト
```

⑤ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[ノズルセンジョウ]を選びます。

```
ステーション　メンテ
メンテ：ノズルセンジョウ
```

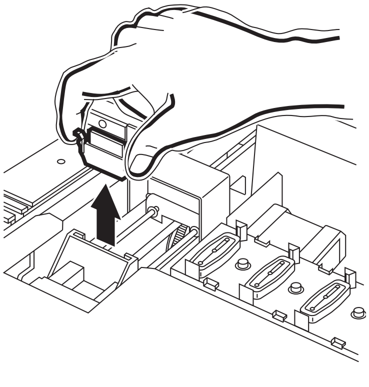
⑥【ENTER】キーを押します。
キャリッジがプラテン上に移動します。

ENTER

```
ワイパ　クリーニング
シュウリョウ          ：ent
```

⑦ フロントカバーを開けます。

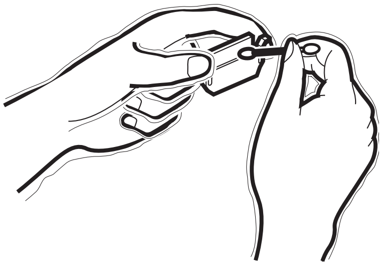
⑧ ワイパ両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。



3

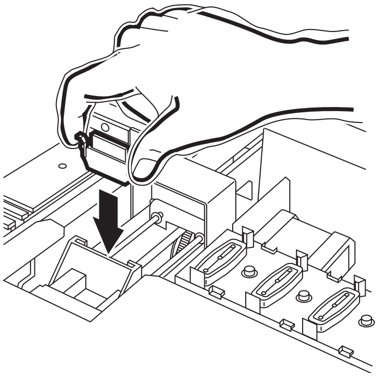
日常のお手入れ

⑨ ワイパとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液RSを含ませた綿棒で取り除きます。



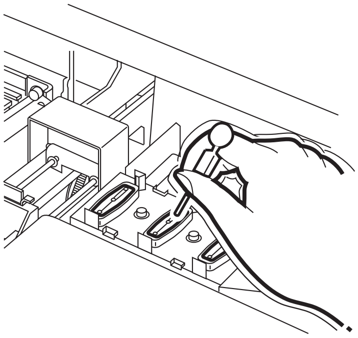
● **汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。**

⑩ 両端の突起を持って、クリーニングしたワイパを差し込みます。



⑪【ENTER】キーを押します。

⑫ スポイトでメンテナンス洗浄液ＲＳ をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。



⑬ フロントカバーを閉めます。

⑭【ENTER】キーを押します。

⑮ ジョグキー【▲】【▼】を押して、放置する時間を選びます。（1 ～ 99 分：1 分単位）
通常は「1 分」で設定します。

ステーション　メンテ
ホウチジカン　　　　：1min

⑯【ENTER】キーを押します。
洗浄液吸引、クリーニング動作のため、右の表示が設定した放置時間、続きます。

ENTER

ショキカ　チュウ
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ

ローカルモードに戻ります。

＜ローカル＞

廃インクが溜まったら

ヘッドのクリーニングなどで使用したインクは、本装置の右下にある廃インクタンクにたまります。
廃インクタンクのインク量が「FULL」ラインを超えたら、速やかに廃インクタンクを交換してください。

重 要!

- ★ **廃インクタンクの交換は、ロールシャフトを取り外してから行ってください。**
  P.2-10
- ★ **インクで床を汚さないように、下に紙を敷いてから交換してください。**
- ★ **廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。**

操作手順

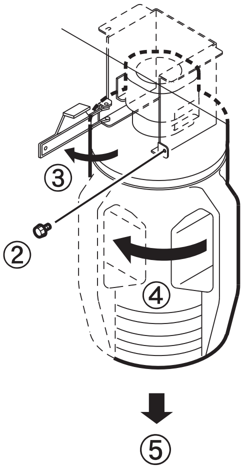
① ロール置き台のロールシャフトを取り外します。

② 廃インクタンクガードのネジを外します。

③ 廃インクタンクガードを開けます。

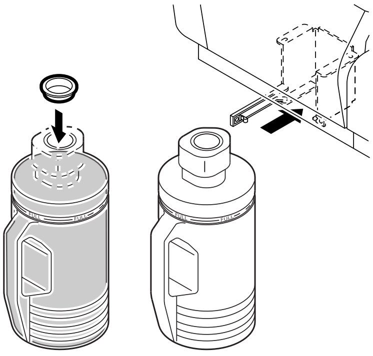
④ 廃インクタンクの取っ手を持ち､上に持ち上げます。

⑤ 上に持ち上げたまま、廃インクタンクを90度回し、下方に下げます。



⑥ 廃インクタンクを手前に引き出します。
廃インクを飛ばさないように、廃インクタンク口をペーパータオルなどで押さえながら、ゆっくり引き出します。

インクが溜まっている廃インクタンクには、キャップをはめます。



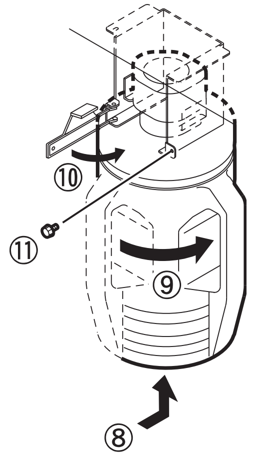
⑦ 空の廃インクタンクを取り付けます。
取っ手を持ち、矢印の方向に差し込みます。

⑧ 差し込んだ廃インクタンクを、上に持ち上げます。

⑨ 廃インクタンクを上に持ち上げたまま、90度回します。

⑩ 廃インクタンクガードを閉めます。

⑪ 廃インクタンクガードのネジを締めて、廃インクタンクを固定します。



4章
設定機能について

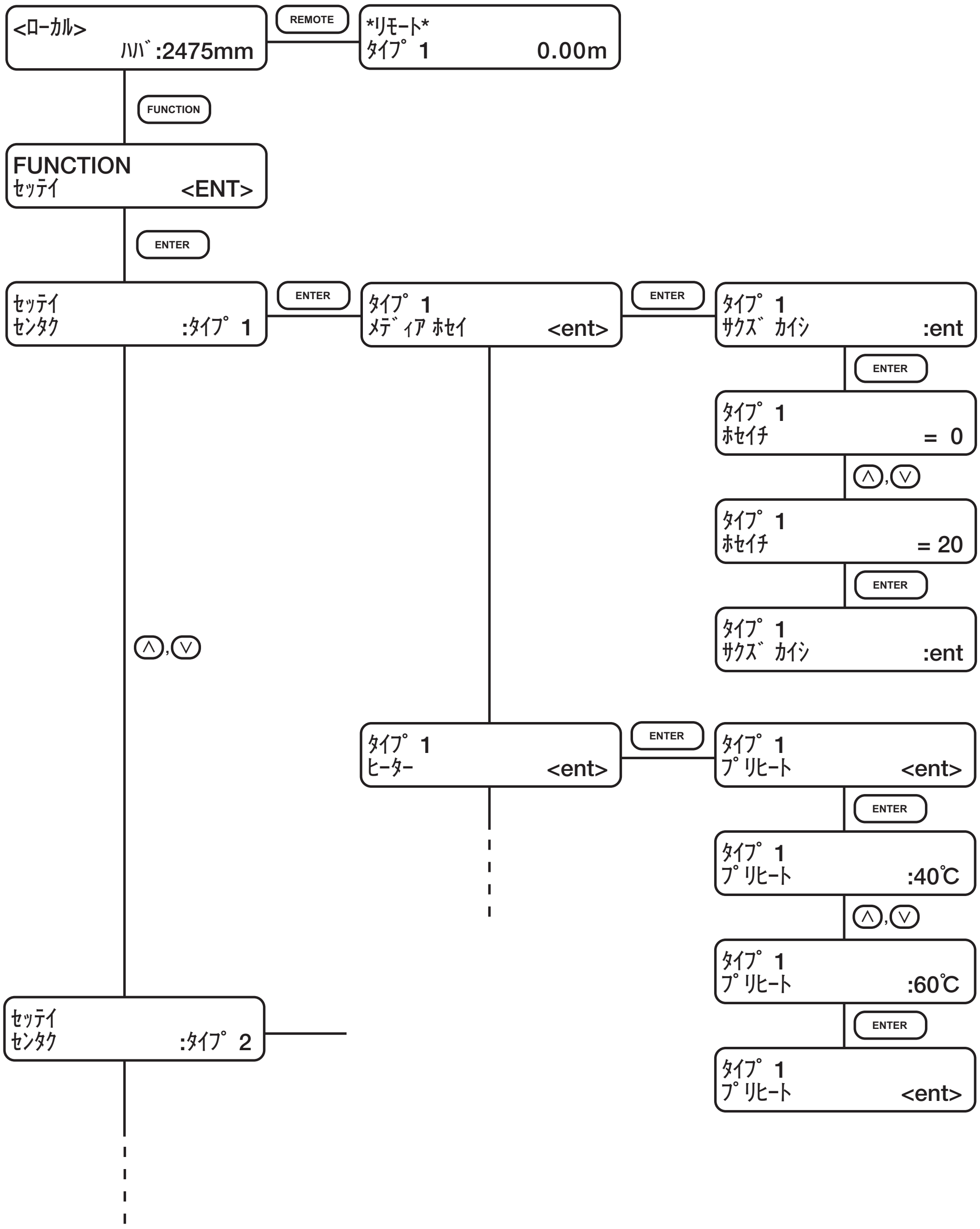
ファンクション機能、ヒーターの適温設定、排気ファンの動作設定について説明します。

本章の内容

メニューの基本操作 4-2
作図条件をまとめて登録する（タイプ登録）........ 4-4
設定機能について 4-5
設定機能一覧 4-5
ヒーター適温設定について 4-12
乾燥ファンの動作を設定する 4-13
作図範囲について 4-14
作図原点を設定する 4-15
原点設定位置の目安 4-15
作図中にメディアの送り量を補正する 4-16

メニューの基本操作

ここでは、各モードの切り替え、メニューの操作方法について説明します。
各メニューに入るキー操作は、下図のようになります。
詳細なメニュー構造は、付録をご覧ください。



① ローカルモードにします。

リモートモードにしても作図しないことを確認してから、【REMOTE】キーを押してローカルモードにします。

② ファンクションモードに入ります。

【FUNCTION】キーを押すと、ファンクションモードに入ります。

ファンクションモードは、設定機能とメンテナンス機能に分かれています。ここで設定機能かメンテナンス機能かを選択します。

③ タイプを選択します。

タイプは 4 種類あり、それぞれのタイプにファンクション機能を設定できます。使用するメディアの種類によってファンクション機能を設定できます。

④ ファンクション機能を選択します。

ジョグキー【▲】または【▼】を押して、機能を選択します。

⑤ 選択したファンクション機能に入ります。

【ENTER】キーを押します。

⑥ パラメータを選択します。

ジョグキー【▲】または【▼】を押して、パラメータを選択します。

⑦ 設定を登録します。

【ENTER】キーを押します。

⑧ ローカルモードに戻ります。

【END】キーを数回押して、ローカルモードに戻ります。

作図条件をまとめて登録する（タイプ登録）

ファンクションモードの設定機能は、それぞれ４タイプ（タイプ１～４）に登録できます。メディアの種類別にタイプを登録しておくと、違う種類のメディアに交換した場合に容易に作図条件等を変更できます。

例）　タイプ１　：ターポリン１用
　　　タイプ２　：ターポリン２用
　　　タイプ３　：ＦＦ（Flexible Face）用
　　　タイプ４　：塩ビマット

タイプを登録する

操作手順

① ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモードの場合は、【REMOTE】キーを押します。

＜ローカル＞
ハバ゛：２４７５mm

②【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION

ＦＵＮＣＴＩＯＮ
セッテイ　＜ＥＮＴ＞

③【ENTER】キーを押します。

ENTER

セッテイ
センタク　：タイプ゜　１

④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、タイプ１から４を選びます。

セッテイ
センタク　：タイプ゜　２

⑤【ENTER】キーを押します。
各作図条件を設定します。☞ P.4-5～

ENTER

タイプ゜　１
メテ゛ィアホセイ　＜ｅｎｔ＞

タイプを変更する

すでにタイプ１から４の各作図条件を登録してある場合は、タイプを選択するだけで、作図に合わせた設定を切り替えて使用できます。

① 上記操作手順①から⑤を実行します。
使用するタイプを選択します。

②【END】キーを押します。
選択したタイプに登録されている作図条件で作図します。

タイプ゜　３
メテ゛ィアホセイ　＜ｅｎｔ＞

設定機能について

設定機能一覧

ファンクションモードの設定機能には 18 項目の機能があります。
各機能の概要について説明します。

機能名称	概　　要	
メディアホセイ	プリント時のメディアの送り量を補正する	P.4-6、付録 -8
ヒーター	ヒーターの状態を設定する	P.4-6、付録 -8
サクズホウシキ	プリント品質、プリント方向を設定する	P.4-7、付録 -8
カサネヌリ	インクの重ね塗りを行う	P.4-8、付録 -8
カンソウジカン	インクの乾燥時間を設定する	P.4-8、付録 -8
オートカット	メディアの自動カットを設定する	P.4-8、付録 -8
ユウセンジュンイ	優先する設定（パネル / ホスト）を決定する	P.4-8、付録 -8
プリフィード	作図前にメディアをフィードさせる	P.4-9、付録 -8
マージン	メディア左右の余白を設定する	P.4-9、付録 -9
カラーパターン	メディア右端にカラーパターンを作図する	P.4-9、付録 -9
リフレッシュ	作図中に、インクヘッドのリフレッシュを行う	P.4-10、付録 -9
メディアケンシュツ	メディアの検出方法（セレクト / ハバ）を設定する	P.4-10、付録 -9
キュウチャク	メディアの吸着力を設定する	P.4-10、付録 -9
ミリ / インチ	表示単位を決定する	P.4-10、付録 -9
スタンプ	出力日時、出力条件を印刷する	P.4-10、付録 -9
オートクリーニング	プリントごとに、ヘッドを自動的にクリーニングする	P.4-11、付録 -9
ヘッドタカサ	ヘッドの高さ（ウスイ / アツイ）を選択する	P.4-11、付録 -9
セッテイリセット	設定条件を初期化する	P.4-11、付録 -9

メディアホセイ ☞ **P.2-40, 付録 -8**

メディアの種類を交換した場合、またはヒーターの温度を変更した場合は、必ずメディアの厚みによる送り量を補正します。
(-255 ～ 255)
作図中にメディアの送り量を変更する場合は ☞ P.4-16

ヒーター ☞ **付録 -8**

プラテン内に内蔵されているプリントヒーターとプリヒーターについて設定します。
（作図中に温度を設定する場合は ☞ P.2-35）

・プリヒート：
プリヒーターの温度を設定します。
(OFF, 20 ～ 60 ℃／ 68 ～ 140°F)

・プリントヒート：
プリントヒーターの温度を設定します。
(OFF, 20 ～ 60 ℃／ 68 ～ 140°F)

・℃／°F：
温度の単位を切り替えます。
(℃, °F)

・スタンバイ：
作図が終了し、ヒーターが予熱温度に下がり始める時間を設定します。あらかじめ予熱温度は設定されているので、変更はできません。温度が下がった状態でデータを受信すると、自動的に設定温度まで上がってから作図を開始します。
「ナシ」を設定すると予熱温度になりません。
(ナシ , 10 ～ 90 min /10 min 単位)

・OFF ジカン：
以下の場合にヒーターをオフにします。
- スタンバイ時に、設定時間以上作図しない場合
- スタンバイ -「ナシ」の設定時に、作図終了後に設定時間以上作図しない場合

ヒーターがオフ状態でデータを受信すると、自動的に設定温度まで上がってから作図を開始します。
「ナシ」を設定すると、ヒーターはオフになりません。
(ナシ , 0, 30, 60, 90 min.)

サクズホウシキ ☞ 付録 -8

作図品質、作図方向、およびロジカルシークについて設定します。

・サクズヒンシツ：

3 種類の中から選択します。
（ヒョウジュン , キレイ , ハヤイ ）

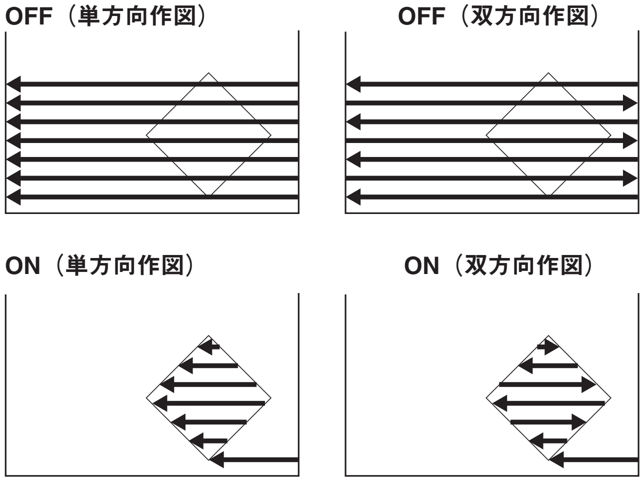
・ホウコウ：

ヘッドが左右に動く際に、どちらに移動したときに作図するか設定します。
「タンホウコウ」：ヘッドが左へ移動しながら作図します。
「ソウホウコウ」：ヘッドが左右に移動しながら作図します。
「タンホウコウ」より高速に印刷しますが、画質は多少低下します。
（タンホウコウ , ソウホウコウ）

・ロジカルシーク：

通常、ヘッドはメディアの幅いっぱいに移動して作図します。
ロジカルシークは、画像の幅に合わせてヘッドが左右に移動して作図します。
作図時間が短縮できます。

<ヘッドの動き>



・シロカサネ サクズ：

SS2 の白インクを使用している場合、白インクを印字したあと、メディアを戻すことなく白インクの上からカラーインクを作図する方式を設定します。
作図時間は通常印字より 2 倍以上長くなります。
「OFF」：白インクとカラーインクを同時に作図します。
「ON(LEVEL*)」：白インクを作図した上にカラーインクを作図します。
LEVEL は 1 ～ 3 があり、数字が大きいほど白インクで作図してからカラーインクを作図するまでの時間が長くなるので、白インクの乾燥性が上がりますが、作図時間が長くなります。
（OFF, ON(LEVEL1), ON(LEVEL2), ON(LEVEL3)）

カサネヌリ ☞ 付録 -8

インクの発色が悪い場合、重ね書きする回数を設定します。
（1 ～ 9 回）

カンソウジカン ☞ 付録 -8

インクの乾燥時間を設定します。
スキャンごと（1 回のヘッド移動）の待ち時間と、作図終了後のメディアカットまでの時間を設定します。
乾燥時間は、作図の印字密度およびメディアの種類に応じて設定します。

・スキャン：

往路または復路による 1 回のヘッド移動で、一時停止する時間を設定します。
（0.0 ～ 9.9 sec.）

● 3 秒以上の時間を指定すると、インク詰まりの保護機能が働き、ヘッドをいったんキャッピングします。

・オートカット：

作図が終了し、メディアをカットするまでの時間を設定します。
ただし、次項の「オートカット」機能が有効である必要があります。
（0 ～ 999 sec.）

オートカット ☞ 付録 -8

作図終了後、メディアの自動カットを設定します。
オートカットしない場合は、続けて次の画像データを作図します。
（ON, OFF）
メディアは、オートカットを設定していなくても、任意でカットできます。☞ P.2-44

ユウセンジュンイ ☞ 付録 -8

下記の 8 機能を本装置（パネル）で設定した値を優先にするか、コンピュータ（ホスト）で設定した値を有効にするか設定します。
（ホスト、パネル）

- **メディアホセイ**
- **ヒーター**
- **サクズホウシキ**
- **カサネヌリ**
- **カンソウジカン**
- **オートカット**
- **リフレッシュ**
- **キュウチャク**

プリフィード 付録-9

作図時に高温なヒーター温度を必要とするメディア、または表面が柔らかいメディア等は、放置するとプラテンに貼り付き、またメディア浮きによって正常に搬送できなくなります。状況によってはサービスコールを必要とする故障を起こす場合があります。
このような場合は、設定をONにしてください。作図前にメディアを一定量前後搬送させ、プラテンへの貼り付きを解消する動作を自動的に行います。
(ON, OFF)

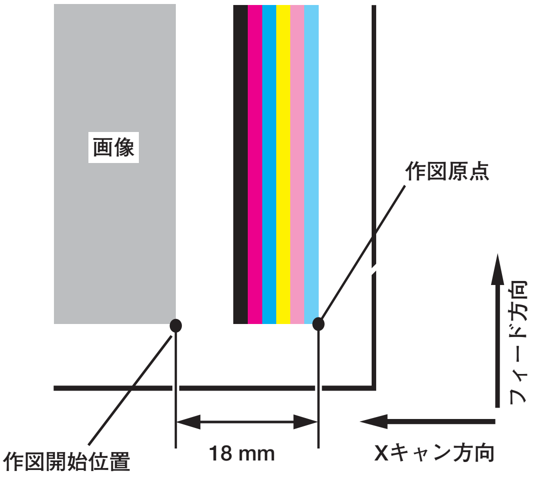
マージン 付録-9

メディア左右の余白を調整します。
標準設定の25mm以外の余白が必要な場合に設定します。
デッドスペースは、メディアの左右それぞれに設定可能です。
(-20 ～ 175 mm)

カラーパターン 付録-9

メディアの右端にカラーパターンを作図します。作図中にノズル詰まりを確認できます。
カラーパターンをONにすると、画像データの作図開始位置が作図原点からスキャン方向に18mm移動します。メディア幅いっぱいに作図する場合は、オフにしてください。
ツインロール時は常時OFFになります。

(6色インクセット時)



リフレッシュ ☞ 付録-9

作図中に、インクヘッドのリフレッシュを行います。ホコリが多い場所や、湿度の低い場所で本機能を使用し、ヘッドのインク詰まりを防ぎます。レベル数が大きいほど、リフレッシュ回数が多くなります。
（レベル０～３）

メディアケンシュツ ☞ 付録-9

メディアの検出方法を設定します。

- **セレクト：**
  初期動作でメディア（ロール / リーフ）を選択するメニューを表示します。
  ロールメディアを選択すると、メディアの「幅」を検出します。
  リーフメディアを選択すると、メディアの「幅」と「長さ」を検出します。
- **ハバ：**
  ロールメディアを使用する場合に設定します。
  メディアをセットしクランプレバーを下げると、自動的にメディアの「幅」のみを検出します。

キュウチャク ☞ 付録-9

メディアの吸着力を設定します。
メディアがプラテンに張り付きやすい場合は、「ヨワイ」に設定します。
（ヒョウジュン、ヨワイ、OFF）

ミリ／インチ ☞ 付録-9

表示する単位を設定します。出荷時は[ミリ]に設定してあります。
（ミリ、インチ）

スタンプ ☞ 付録-9

作図終了後に、出力日時、作図条件を印刷します。

- **モードスタンプ：**
  作図条件を作図します。
  （ON, OFF）
- **タイムスタンプ**
  出力日時を作図します。
  （ON, OFF）

オートクリーニング 付録 -9

自動的にヘッドをクリーニングします。
作図ごとにクリーニングを実行して、作図不良を防止します。
（ON, OFF）

ヘッドタカサ 付録 -9

作図するヘッド高さに合わせて設定します。
メンテナンスモードの[ドットイチホセイ]で登録したヘッドタカサ（ウスイ／アツイ）の補正値を使います。
（ウスイ、アツイ）
P.5-12 ドットイチホセイ

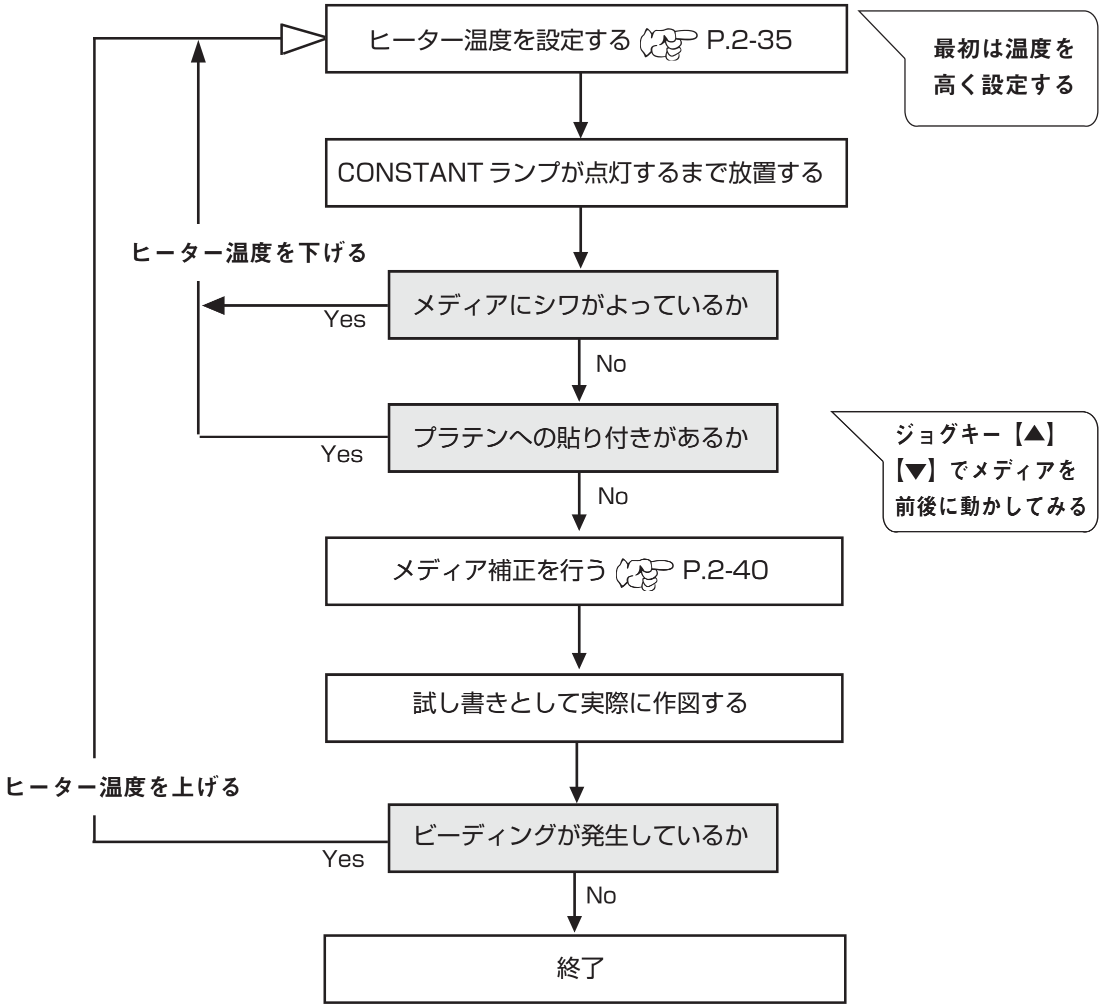
セッテイリセット 付録 -9

設定した作図条件を、工場出荷時の設定値に戻します。タイプごとにリセットします。
（ON, OFF）

ヒーター適温設定について

ヒーター温度を調整する際（☞ P.2-35, 4-6） の適温設定について説明します。
ヒーターの温度はメディアの種類、環境温度などにより異なります。各メディアに適した温度に設定します。非コートメディアやインク乾燥の遅いメディアは、インクの定着性、乾燥性をアップさせます。

以下の方法で、確認しながら適温に設定してください。



乾燥ファンの動作を設定する

作図後に、冷風乾燥させるための乾燥ファンの回転動作について設定します。

操作手順

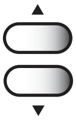
① ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモードの場合は、【REMOTE】キーを押します。

＜ローカル＞
ハバ゛：２４７５ｍｍ

②【FUNCTION】キーを押します。

ＦＵＮＣＴＩＯＮ
セッテイ　＜ＥＮＴ＞

③ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[カンソウファン]を選びます。



ＦＵＮＣＴＩＯＮ
カンソウファン　＜ＥＮＴ＞

④【ENTER】キーを押します。

カンソウファン
テイシタイマー　＜ＥＮＴ＞

⑤ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[テイシタイマー]、または[キリカエ]を選び、設定します。

カンソウファン
テイシタイマー　＜ＥＮＴ＞

カンソウファン
キリカエ　＜ＥＮＴ＞

テイシタイマー

作図終了後、乾燥ファンの回転を時間指定で停止します。

・レンゾク：
常時、高速（HIGH）で回転します。

・0 ～ 240 min：
作図終了後、ファンが停止するまでの時間を設定します。
再び作図を開始すると、ファンも回り始めます。（作図中は高速で回転します。）

キリカエ

乾燥ファンの回転スピードを切り替えます。
OFF に設定した場合は、ファンは動作しません。
（HIGH、LOW、OFF）

作図範囲について

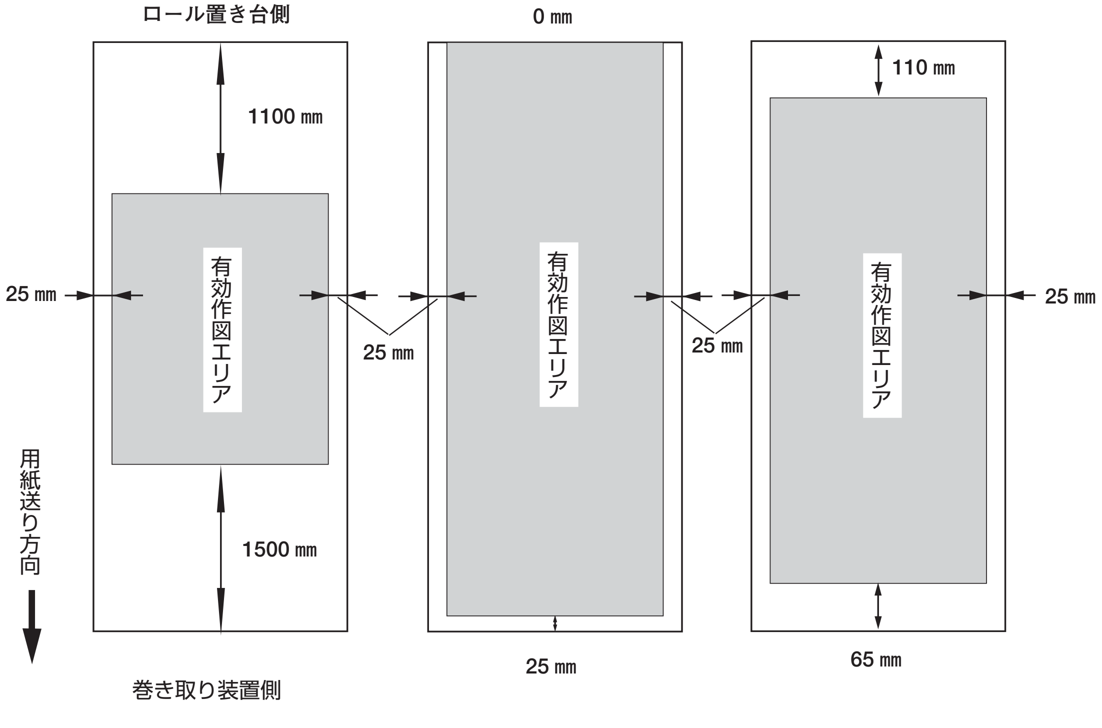
本装置は、使用するメディアに関係なく、機構上作図できないエリアがあります。
この作図不可のエリアを「デッドスペース」と呼びます。

- **ロール置き台や巻き取り装置を使用する場合、有効作図範囲が小さくなります。**

重要！

★ **巻き取り装置を使用する場合、巻き取り装置とキャリッジの間のメディアには作図できません。また、ロール置き台側のメディアは紙管からメディアが外れた後は作図しないでください。作図を続けると、テンションが変わり画質に影響が出てしまいます。**

ロール置き台と巻き取り装置を使用する場合　　ロールホルダーを使用する場合　　ロール置き台、巻き取り装置およびロールホルダーを使用しない場合



- **有効作図エリアを変更する場合は・・・**
  メディア左右のデッドスペースの初期値は、左右それぞれ 25 mm です。このデッドスペースを変更し、有効作図エリアを変更することができます。デッドスペースは、ファンクションモードの「マージン」で設定します。**P.4-8**

重要！

★ **最大作図範囲は、以下の条件によって変わります。詳しくは本体仕様の表をご覧ください。****P.付録-2**

・インクセット
・解像度
・バリアブルデータ
・ノーマルデータ

作図原点を設定する

セットしたメディア上に、データの作図原点を設定します。
指定された原点以外の場所で作図する場合は、原点を再設定します。

操作手順

① メディア検出終了後、ジョグキー【▲】【▼】【◀】【▶】を押し、作図原点を設定する位置までキャリッジとメディアを動かします。

```
＜ローカル＞
        ハバ゛：２４７５ mm
```

```
      ゲンテンセッテイ
  0. 0          0. 0
```

原点位置（長さ）　原点位置（幅）

② 作図原点を決定したら、【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
      ゲンテンセッテイ
X = 1500        Y = 972
```

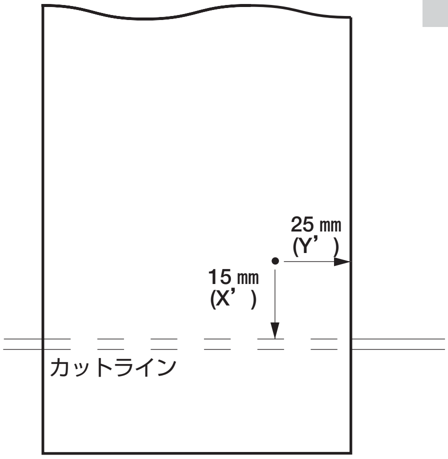
有効作図エリアを表示後、ローカルモードになります。（ロールメディアを使用している場合、X は表示しません。）

次回作図を開始する場合は、この設定位置を作図原点とします。

原点設定位置の目安

作図原点は、右図のようにカットラインから奥側 15 mm の位置になります。

横方向(Y')の値は、ファンクションモードの「マージン」の設定により変更できます。☞ P.4-9



作図中にメディアの送り量を補正する

「メディアホセイ」（☞P.2-40）では、ローカルモード中に作業を行いましたが、ここではリモートモード、または画像データ作図中にメディア送り量を補正する方法を説明します。

操作手順

① 【REMOTE】キーを押します。

```
＊リモート＊
タイプ　１　　　　　　０．００m
```

②【FUNCTION】キーを押します。
現在の補正値を確認します。

```
メディアオクリ　ホセイ
0
```

【END】キーを押すと、リモート表示に戻ります。 操作を中止します。

③【ENTER】キーを押します。

```
メディアオクリ　ホセイ
0 ▶ 0
```

④ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、補正値を変更します。

```
メディアオクリ　ホセイ
0 ▶ 1
```

現在の補正値

入力中の補正値

- **画像データ作図中の場合、補正値を変更した時点で数値が反映されるため、作図をみながら微調整できます。**
- **補正値の単位はローカルモード時の「メディアホセイ」と同じです。**
☞ **P.2-41**

⑤【ENTER】キーを押します。
補正値の保存確認状態になります。

```
メディアオクリ　ホセイ
ホゾン　　　　　　　：ent
```

【END】キーを押すと、リモート表示に戻ります。 変更した補正値は無効になり、変更前の値になります。

⑥【ENTER】キーを押します。
補正値を保存し、リモートモードに戻ります。
補正値は、次回の電源投入時も有効になります。
本操作で設定を変更した場合、タイプ番号の後に“+”を表示します。

```
＊リモート＊
タイプ　１＋　　　　　０．００m
```

【END】キーを押すと、一時的に補正値を保存します。 次回の電源投入時やメディア検出時は、無効になります。

5章
メンテナンス機能

本装置を適正にお使いいただくよう、メンテナンスをしましょう。
作図品質の悪化の解決や、裁断用カッター刃の交換方法に関する機能を説明します。
本装置の維持や、使用を一定期間停止する場合にもメンテナンスを行ってください。

本章の内容

メンテナンスについて *5-2*
メンテナンスモードの選択 5-2
設定機能一覧 5-3
ステーション内の清掃[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ｷｬﾘｯｼﾞｱｳﾄ] *5-4*
ワイパ交換のメッセージを表示したら[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ﾜｲﾊﾟｺｳｶﾝ] *5-5*
インク排出路の洗浄について[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ﾊｲﾛ ｾﾝｼﾞｮｳ] *5-7*
長期間使用しない場合[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ﾎｶﾝ ｾﾝｼﾞｮｳ] *5-9*
リフレッシュステーションの交換 [ｻﾀﾝﾘﾌﾚｯｼｭ] *5-12*
サタン（左端）リフレッシュを設定する 5-12
リフレッシュステーションを交換する 5-13
メディアの厚みが変わったら[ﾄﾞｯﾄｲﾁﾎｾｲ] *5-15*
作図中のワイピング動作の設定[ﾃｲｷ ﾜｲﾋﾟﾝｸﾞ] *5-17*
定期クリーニングについて[ﾃｲｷ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ] *5-19*
スリープクリーニングについて[ｽﾘｰﾌﾟCLEAN] *5-20*
ヘッドクリーニングでもノズル詰まりが復旧しない場合 *5-21*
[インクジュウテン] 5-21
[ヘッドセンジョウ] 5-22
狭い作図幅の作図時にヘッド移動を指定する[ｽｷｬﾝﾊﾊﾞ ｷﾘｶｴ] *5-24*
SS インクから SS2 インクへ切り替える[SS2<>SSｺｳｶﾝ] *5-25*
設定条件を印刷する[ﾘｽﾄ] *5-26*
HEX コードで印刷する[ﾃﾞｰﾀﾀﾞﾝﾌﾟ] *5-27*
ワイパ寿命の警告表示[ﾜｲﾊﾟﾚﾍﾞﾙ] *5-28*
時刻を設定する[ｼﾞｺｸｾｯﾃｲ] *5-29*
本装置の情報を表示する[ﾏｼﾝｼﾞｮｳﾎｳ] *5-30*
カッター刃の交換方法 *5-31*
インクセットを交換する場合は *5-32*
440ccｶｰﾄﾘｯｼﾞ内に残った少量のインクを使用する *5-36*

メンテナンスについて

メンテナンスは、本装置を適正にお使いいただくためのお手入れに関する操作をいいます。
メンテナンスは、ファンクションメニューの[メンテナンス]を選択し、各詳細を設定してから実行します。

メンテナンスモードの選択

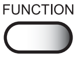
メンテナンス機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。
メンテナンス機能への導入操作を覚え、各メンテナンスを実行します。

操作手順

① ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモードの場合は、【REMOTE】キーを押します。

```
＜ローカル＞
        ハバ゛：２４７５mm
```

②【FUNCTION】キーを押します。




```
ＦＵＮＣＴＩＯＮ
セッテイ        ＜ＥＮＴ＞
```

③ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選択します。

```
ＦＵＮＣＴＩＯＮ
メンテナンス      ＜ＥＮＴ＞
```

④【ENTER】キーを押します。

```
メンテナンス
ステーション　メンテ　＜ ent ＞
```

⑤ 次の操作を選択します。
各機能を設定して、メンテナンスを実行します。
☞ P.5-3

設定機能一覧

各機能の概要と設定値について説明します。

機能名称	概　　要	
ステーションメンテ	ステーション内部やインク排路の清掃、ワイパ交換などを行う (キャリッジアウト、ワイパコウカン、ノズルセンジョウ、ハイロセンジョウ、ホカンセンジョウ)	P.5-4
サタンリフレッシュ	左端リフレッシュの設定、およびリフレッシュステーション 交換警告の解除を行う	P.5-12
ドットイチホセイ	ヘッド高さの「アツイ / ウスイ」別にドット位置を補正する	P.5-15
テイキ ワイピング	ノズル面の結露を除去する	P.5-17
テイキ クリーニング	定期的にフラッシング動作とヘッドクリーニングを行います。	P.5-19
スリープ CLEAN	ノズル詰まりを防止するために、フラッシング動作と ヘッドクリーニングを行います。	P.5-20
インクジュウテン	「ヘッドクリーニング」、「ノズルセンジョウ」しても ノズル詰まりが復旧しない場合に行います。	P.5-21
ヘッドセンジョウ	「ヘッドクリーニング」、「ノズルセンジョウ」を実行しても ノズル詰まりが復旧しない場合、またはインクを交換する場合 に行う洗浄機能	P.5-22
スキャンハバ キリカエ	本機能は通常使用しない	P.5-24
SS2< >SS コウカン	SS インクと SS2 インクを切り替える	P.5-25
リスト	本装置の設定状態を作図する	P.5-26
データダンプ	コンピュータから送信されるデータを HEX コードで作図する	P.5-27
ワイパレベル	ワイパ交換時期の警告を早めに促す	P.5-28
ジコクセッテイ	本体内蔵カレンダーの日付、時刻を設定する	P.5-29
マシンジョウホウ	本装置のファームウェアバージョン、シリアル番号、 ディーラー番号を表示する	P.5-30

ステーション内の清掃[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ｷｬﾘｯｼﾞｱｳﾄ]

ステーション内部の清掃や、消耗品の交換などを行う際にキャリッジを移動します。

注意

★ キャリッジは、手でキャッピングステーションから出さないでください。
キャリッジは操作キーを使用して動かします。

[ステーションメンテ]には、以下の項目があります。

キャリッジアウト	：	ステーション内部の掃除のためにキャリッジを移動します。
ワイパコウカン	：	ワイパ交換の表示が出たら、ワイパを交換します。 P.5-5
ノズルセンジョウ	：	洗浄キットでノズルをクリーニングします。 P.3-7
ハイロセンジョウ	：	インク排出路を洗浄します。 P.5-7
ホカンセンジョウ	：	ヘッドのノズルとインクの排路を洗浄し、保管状態にします。 P.5-9

操作手順

① [ステーションメンテ」を選択します。
P.5-2

メンテナンス
ステーション　メンテ　　＜ent＞

②【ENTER】キーを押します。
[キャリッジアウト]を表示します。

ENTER

ステーション　メンテ
メンテ　　　：キャリッジアウト

③【ENTER】キーを押します。
キャリッジが動いて、プラテン上に移動します。

ENTER

ステーション　メンテ
シュウリョウ　　　　：ent

④ フロントカバーを開けて、以下のメンテナンスを行います。

1.	**インクキャップのクリーニング** キャップのゴムに付着したインク等を綿棒で拭き取ります。 P.3-4
2.	**ワイパのクリーニング** ワイパを取り出し、付着したインクを綿棒で取り除きます。 P.3-4
3.	**ワイパカバーのクリーニング** ワイパカバーに付着したインクを綿棒で取り除きます。 P.3-4
4.	**裁断用カッター刃の交換** カッター刃は消耗品です。 切れが悪くなったら、新しいカッター刃に交換してください。 P.5-31

ワイパ交換のメッセージを表示したら[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ﾜｲﾊﾟ ｺｳｶﾝ]

ワイパーは消耗品です。以下の表示が出たら、速やかにワイパを交換してください。

＜ローカル＞
　　ワイパコウカンシテクダサイ

同時に、スライダー下面に付着したインクをクリーニングします。

● クリーニングワイパは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

重要！ ★ ワイパを交換する時以外は、[ワイパコウカン]を選択しないでください。本装置内部で管理しているワイパ使用回数がリセットしてしまいます。

操作手順

① [ステーションメンテ]を選択します。
P.5-2

メンテナンス
ステーション　メンテ　　＜ ent ＞

②【ENTER】キーを押します。

ENTER

ステーション　メンテ
メンテ　　　　：キャリッジアウト

③ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[ワイパコウカン]を選択します。

ステーション　メンテ
メンテ　　　　：ワイパコウカン

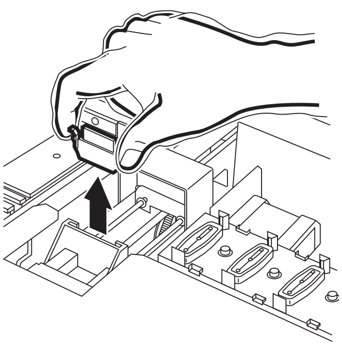
④【ENTER】キーを押します。
キャリッジが動いて、プラテン上に移動します。

ENTER

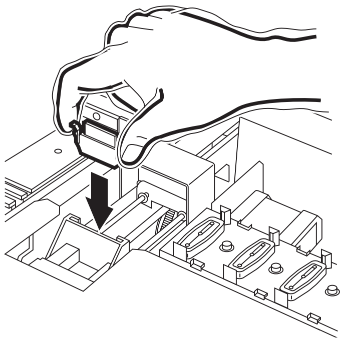
ステーション　メンテ
シュウリョウ　　　　：ｅｎｔ

⑤ フロントカバーを開けます。

⑥ 両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。
クリーニングワイパセットの手袋をすると、手が汚れません。

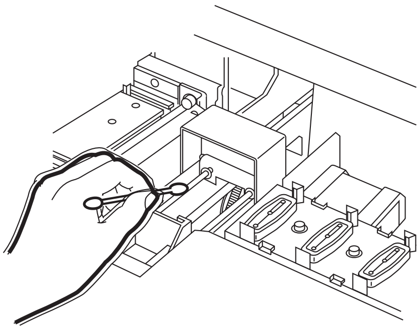


⑦ 両端の突起を持って新しいワイパを差し込みます。



⑧ ワイパのガイド軸を綿棒、または布等でクリーニングします。

汚れが落ちにくい場合は、綿棒にメンテナンス洗浄液 RS を湿らせてクリーニングします。



⑨ フロントカバーを閉めます。

⑩【ENTER】キーを押します。

ローカルモードに戻ります。

ショキカチュウ
シバラクオマチクダサイ

<ローカル>

インク排出路の洗浄について[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ﾊｲﾛ ｾﾝｼﾞｮｳ]

インクの排出路内において、インクの凝固によるインク詰まりが発生する場合があります。
このインク詰まりを防止するために、排出路内を洗浄します。

★ 必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る恐れがあります。

注意

★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジはジョグキーを使用して動かします。

用意するもの

・メンテナンス用洗浄液 RS（SPC-0336）
・スポイト
・手袋、ゴーグル

操作手順

① [ステーションメンテ」を選択します。
P.5-2

メンテナンス
ステーション　メンテ　＜ｅｎｔ＞

②【ENTER】キーを押します。
[キャリッジアウト]を表示します。

ENTER

ステーション　メンテ
メンテ　　：キャリッジ゛　アウト

③ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[ハイロ　センジョウ]を選択します。

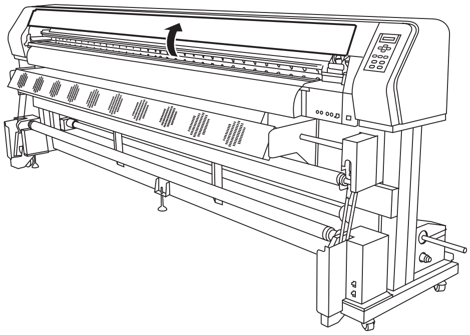
ステーション　メンテ
メンテ　　：ハイロ　センジ゛ョウ

④【ENTER】キーを押します。
キャリッジがプラテン上に移動します。
空吸引動作が始まります。
吸引動作を５秒、停止時間が１０秒をそれぞれ交互に動作し続けます。

ENTER

ステーション　メンテ
シュウリョウ　　　：ｅｎｔ

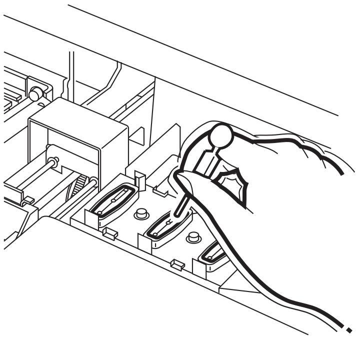
⑤ フロントカバーを開けます。



5

メンテナンス機能

⑥ スポイトでメンテナンス洗浄液RSをとります。
空吸引が停止している間に、キャップからあふれる寸前までメンテナンス洗浄液RSを垂らします。
すべてのキャップに対して同様にメンテナンス洗浄液 RS を垂らします。



⑦ フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。
３０秒間空吸引を実行した後、ローカルモードになります。

ステーション　メンテ シュウリョウ　　　　：ｅｎｔ

ショキカ　チュウ シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ

＜ローカル＞

長期間使用しない場合[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ﾎｶﾝ ｾﾝｼﾞｮｳ]

１週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。
その後、本装置を保管してください。

用意するもの

・メンテナンス用洗浄液 RS（SPC-0336）、スポイト
・手袋、ゴーグル

操作手順

① [ステーションメンテ」を選択します。
P.5-2

メンテナンス
ステーション　メンテ　＜ｅｎｔ＞

②【ENTER】キーを押します。
[キャリッジアウト]を表示します。

ENTER

ステーション　メンテ
メンテ　　：キャリッジ゛　アウト

③ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[ホカン　センジョウ]を選択します。

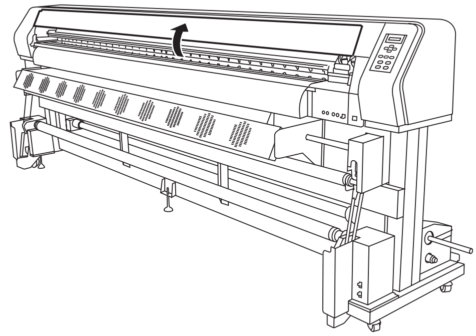
ステーション　メンテ
メンテ　：ホカン　センシ゛ョウ

④【ENTER】キーを押します。
ヘッドがプラテン上に移動します。

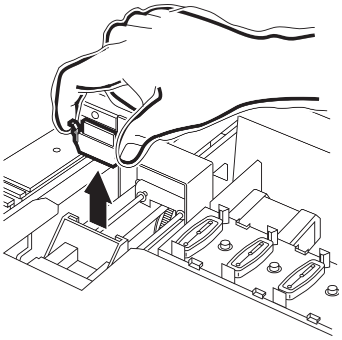
ENTER

ワイパ　クリーニング
シュウリョウ　　　　：ｅｎｔ

⑤ フロントカバーを開けます。



⑥ 両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。

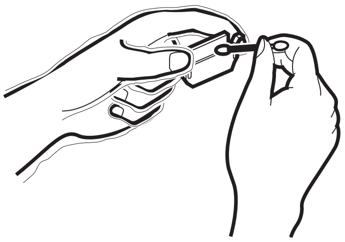


5

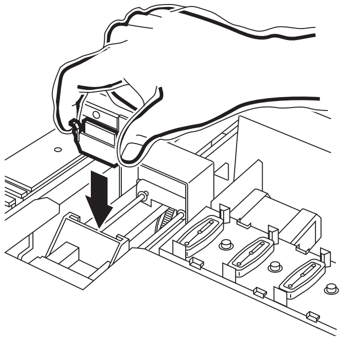
メンテナンス機能

⑦ ワイパとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液RSを含ませた綿棒で取り除きます。

● ワイパの汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。P.5-5



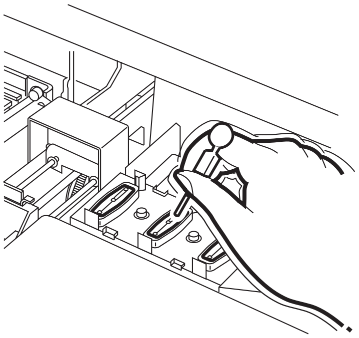
⑧ 両端の突起を持って、クリーニングしたワイパを差し込みます。



⑨【ENTER】キーを押します。

センジョウエキ　ヲ　ミタス
シュウリョウ　　　　　ｅｎｔ

⑩ スポイトでメンテナンス洗浄液 RS をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。
すべてのキャップに対して行います。



⑪ フロントカバーを閉めます。

⑫【ENTER】キーを押します。

ステーション　メンテ
ホウチジカン　　　：１ｍｉｎ

⑬ ジョグキー【▲】【▼】を押して、放置する時間を選びます。（1～99分：1分単位）
通常は「1分」に設定します。

ステーション　メンテ
ホウチジカン　　　　　：1min

⑭【ENTER】キーを押します。
ノズルの洗浄を実行します。

ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。

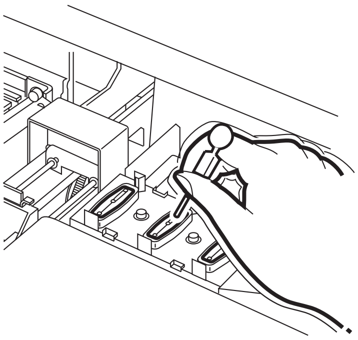
ENTER

ショキカ　チュウ
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ

ステーション　メンテ
シュウリョウ　　　　　ent

⑮ フロントカバーを開けます。

⑯ スポイトでメンテナンス洗浄液RSをとり、キャップ一杯になるまで垂らします。
空吸引動作は断続的に行っているため、数回この作業を繰り返し、インクの排路をクリーニングします。
すべてのキャップに対して行います。



⑰ フロントカバーを閉めます。

⑱【ENTER】キーを押します。
ヘッドがステーションに戻り、ローカルモードになります。

ENTER

ショキカ　チュウ
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ

＜ローカル＞

リフレッシュステーションの交換 [サタンリフレッシュ]

左端のリフレッシュ動作指定、およびリフレッシュステーションの交換警告の解除を行います。幅広のメディアを使用して、双方向作図を行う場合、プラテン左端でもリフレッシュすることができます。この機能を設定すると、作図効果が上がります。

サタン（左端）リフレッシュを設定する

操作手順

① ［サタンリフレッシュ］を選択します。
☞ P.5-2

メンテナンス
サタンリフレッシュ　　< ent >

② 【ENTER】キーを押します。

ENTER

サタン リフレッシュ
キリカエ　　< ent >

③ 【ENTER】キーを押します。

ENTER

サタン リフレッシュ
キリカエ　　：ON

④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、ON/OFF を切り替えます。

ON　: 幅広のメディアで、双方向作図を行う場合、ノズル保護機能としてプラテン左端のリフレッシュステーション上でリフレッシュ動作を行います。

OFF : 作図中のフラッシングは、常時右端のキャッピングステーション上で行います。セットしてあるメディアの幅によっては、作図時間のパフォーマンスが低下する場合があります。

サタン リフレッシュ
キリカエ　　：OFF

サタン リフレッシュ
キリカエ　　：ON

⑤ 【END】キーを４回押します。
ローカルモードに戻ります。

END
４回

<ローカル>
ハバ ：＊＊＊＊mm

リフレッシュステーションを交換する

下記のメッセージを表示したら、速やかにリフレッシュステーションを交換してください。

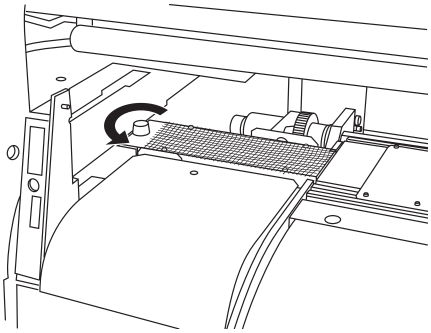
<ローカル>
リフレッシュST.　ヲ　コウカン

● リフレッシュステーションの容器は別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

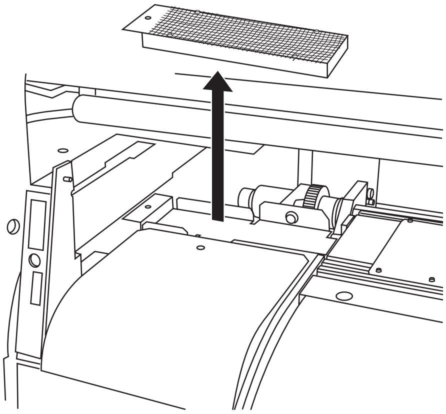
★ 付属のゴーグルと手袋をはめて作業を行ってください。インクが付着する恐れがあります。

操作手順

① ローカルモードで、正面左端にあるリフレッシュステーションのネジを外します。



② 容器を取り外し、新しい容器と交換します。



③ ネジをしっかり締めます。

5

メンテナンス機能

警告表示の解除

リフレッシュステーションの交換（P.5-13）が終了したら、警告表示を解除します。

＜ローカル＞
リフレッシュST.　ヲ　コウカン

操作手順

① ［サタンリフレッシュ］を選択します。
P.5-2

メンテナンス
サタンリフレッシュ　< ent >

② 【ENTER】キーを押します。

ENTER

サタン リフレッシュ
キリカエ　< ent >

③ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[ワーニングクリア]を選択します。

サタン リフレッシュ
ワーニングクリア　< ent >

● リフレッシュステーションの交換が不要の時は、表示しません。

④【ENTER】キーを押します。

ENTER

リフレッシュステーション　ヲ
コウカンズミ ?　：ent

⑤【ENTER】キーを押します。

ENTER

メンテナンス
サタンリフレッシュ　< ent >

⑥【END】キーを２回押します。
ローカルモードに戻ります。

END
２回

＜ローカル＞
ハバ ：＊＊＊＊mm

メディアの厚みが変わったら[ﾄﾞｯﾄｲﾁﾎｾｲ]

作図の往路と復路のインク落下点の位置を補正します。
ドット位置補正は、現在のヘッドの高さ（ウスイ / アツイ）に合わせて 2 種類の登録が可能です。ヘッドの高さが高いときと低いときでは、適正位置に微妙にズレが生じます。ドット位置補正を実行して、適正な作図結果を得られるようにします。
ドット位置補正は、7 パターンのテスト作図の「往路」と「復路」のインク落下点を比較して補正します。

重 要! ★ ロールメディアをご使用の場合、ドットイチホセイを終了すると作図原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。作図をする前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。たわみがあると、画質不良等の原因になります。

操作手順

① [ドットイチホセイ]を選択します。
P.5-2

```
メンテナンス
ドットイチホセイ          ＜ ent ＞
```

②【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
メンテナンス
ヘッドタカサ              ：ウスイ
```

③ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、ヘッド高さ（ウスイ / アツイ）を選びます。

実際のヘッド高さを確認後、選択してください。

```
メンテナンス
ヘッドタカサ              ：アツイ
```

④【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
メンテナンス
サクズカイシ              ： ent
```

⑤【ENTER】キーを押します。
7 種類のテストパターンを作図します。
出力した 7 パターンは、作図した順にパターン 1 から 7 と呼びます。

ENTER

⑥ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、パターン1のドット位置補正の値を入力します。

```
メンテナンス
パターン１                ＝０．０
```

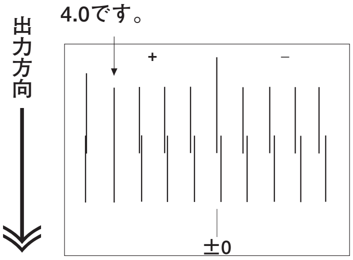
パターン 1 の適正なドット位置をジョグキーで選択します。
テストパターンの往路と復路が、1 本の直線になっている位置を選びます。

5

メンテナンス機能

重 要！ ★ 直線のパターンの補正値が、-40 から +40 の中にない場合は、ヘッドの高さ調整をしてから、もう一度、ドット位置補正を実行してください。

プラス方向に0位置から4本目が直線で表示しています。この場合のドット位置補正値は4.0です。



（中央の長い線の位置が0を示します。）

⑦【ENTER】キーを押します。

ENTER

メンテナンス
パターン２　　　　　＝０．０

⑧ 手順⑥⑦の操作を再実行し、続けてパターン2から７のドット位置補正をします。

各パターンの適正ドット位置を選択します。
パターン７までドット位置補正値を入力し、ドット位置補正を終了します。

メンテナンス
パターン３　　　　　＝０．０

メンテナンス
パターン４　　　　　＝０．０

メンテナンス
パターン５　　　　　＝０．０

メンテナンス
パターン６　　　　　＝０．０

メンテナンス
パターン７　　　　　＝０．０

⑨【END】キーを２回押します。
ローカルモードに戻ります。

END
２回

＜ローカル＞
ハバ：２４７５mm

ドット位置補正を終了したら、設定機能のタイプ別にあるヘッドタカサ（ウスイ／アツイ）を選択してください。
ここで入力したヘッドタカサ（ウスイ／アツイ）の補正値が有効になります。
P.4-11

作図中のワイピング動作の設定[ﾃｲｷ ﾜｲﾋﾟﾝｸﾞ]

プリントヒーターを高温に設定したとき、または 打ち込みインク量を多めに設定にしたとき（高濃度、 2 度塗り等）に、プリント途中で しぶき、ぼた落ち、またはノズル抜けが発生する場合があります。
これは、プリント直後のインクがプリントヒーターで加熱され、揮発した溶剤成分がノズル面に結露してしまうためです。
また、プリントヒーターの設定温度と外気温度との差が大きいほど結露しやすくなります。
この機能はプリント中、一定間隔でノズル面をワイピングし 結露を取り除きます。

操作手順

① [テイキ ワイピング]を選択します。
P.5-2

メンテナンス
テイキ　ワイピング　＜ｅｎｔ＞

②【ENTER】キーを押します。
[スキャン カイスウ]を表示します。

ENTER

テイキ　ワイピング
スキャン　カイスウ　＜ｅｎｔ＞

③【ENTER】キーを押します。

ENTER

テイキ　ワイピング
スキャン　カイスウ　＝　0

④ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、スキャン回数（0 ～ 9990 回）を入力ます。

テイキ　ワイピング
スキャン　カイスウ　＝　３０

- スキャン回数の初期値は 0（実行しない）です。使用状況に応じて設定値を変更してください。
  ヒーターを高温（50℃以上）に設定した場合や、2 度塗り等打ち込みインク量が多い場合は、30 ～ 50 回が目安です。

⑤【ENTER】キーを押します。

ENTER

テイキ　ワイピング
スキャン　カイスウ　＜ｅｎｔ＞

⑥ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[オンド サ]を選択します。

テイキ　ワイピング
オンド　サ　＜ｅｎｔ＞

⑦【ENTER】キーを押します。

ENTER

テイキ　ワイピング
オンド　サ　　　　＝　２０°Ｃ

⑧ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、温度差を入力ます。

テイキ　ワイピング
オンド　サ　　　　＝　２５°Ｃ

● プリントヒーターの温度設定が外気温度よりも高く、その差が設定した温度差以上になった場合に、定期ワイピング機能が有効になります。

⑨【ENTER】キーを押します。

ENTER

テイキ　ワイピング
オンド　サ　　　　＜ｅｎｔ＞

⑩【END】キーを押します。

END

メンテナンス
テイキ　ワイピング　＜ｅｎｔ＞

⑪【END】キーを２回押します。
ローカルモードに戻ります。

END

２回

＜ローカル＞
ハバ：２４７５ｍｍ

定期クリーニングについて[ﾃｲｷ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]

作図していない状態で放置していても定期的にインク詰まりを防止するために、一定の間隔でヘッドからインクを吐出します。このとき、同時にヘッドのクリーニング動作を実行するための動作間隔時間を設定します。

重 要!

★ 「ニアエンド」「インクエンド」等、インクに関係するエラーが発生している場合は、動作しません。

★ 本機能は、以下の表示のまま放置されているときのみ動作します。

＊リモート＊ 0.00m	＜ローカル＞ ハバ ：2475mm

★ 動作中は「クリーニング」動作と同じ進行状況を示す表示となり、キー操作はできません。（P.2-39）

操作手順

① [テイキ クリーニング」を選択します。
P.5-2

メンテナンス
テイキ クリーニング ＜ｅｎｔ＞

② 【ENTER】キーを押します。

ENTER

テイキ クリーニング
ドﾞウサ カンカク ＝ OFF

③ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、動作間隔を選択します。

テイキ クリーニング
ドﾞウサ カンカク ＝ 1h

④ 【ENTER】キーを押します。

ENTER

メンテナンス
テイキ クリーニング ＜ｅｎｔ＞

⑤ 【END】キーを 2 回押します。
ローカルモードに戻ります。

END
2回

＜ローカル＞
ハバ ：2475mm

スリープクリーニングについて[ｽﾘｰﾌﾟ CLEAN]

電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まりを防止するために、一定時間間隔でヘッドからインクを吐出します。このとき、同時にヘッドのクリーニング動作を実行するための動作間隔時間を設定します。

操作手順

① [スリープ　CLEAN」を選択します。
P.5-2

```
メンテナンス
スリープ　ＣＬＥＡＮ ＜ｅｎｔ＞
```

②【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
スリープ　ＣＬＥＡＮ
ド゛ウサ　カンカク　＝　８ｈ
```

③ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、間隔時間（4h, 8h, 12h, 24h, OFF）を選択します。

```
スリープ　ＣＬＥＡＮ
ド゛ウサ　カンカク　＝　１２ｈ
```

④【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
メンテナンス
スリープ　ＣＬＥＡＮ＜ｅｎｔ＞
```

⑤【END】キーを 2 回押します。
ローカルモードに戻ります。

END
2回

```
＜ローカル＞
ハバ：２４７５ｍｍ
```

ヘッドクリーニングでもノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング（ P.2-39)、ノズルセンジョウ（ P.3-9）を行ってもノズル詰まりが改善しない場合、以下の２機能を実行します。

[インクジュウテン]　：インクを充填します。
[ヘッドセンジョウ]　：専用の洗浄液（別売）でヘッド、チューブ、ダンパを洗浄します。

[インクジュウテン]

操作手順

① [インクジュウテン]を選択します。
P.5-2

メンテナンス
インクジュウテン　＜ ent ＞

②【ENTER】キーを押します。

インクジュウテン
ヘッド　センタク　：12．34

③ ジョグキー【▲】【▼】または【◀】【▶】を押して、充填するヘッドを選択します。
ヘッド 1,2 と、ヘッド 3,4 のセットで選択します。

インクジュウテン
ヘッド　センタク　：−−．34

インクジュウテン
ヘッド　センタク　：−−．34

インクジュウテン
ヘッド　センタク　：12．34

④【ENTER】キーを押します。
自動的にインク充填を開始します。

ジュウテンチュウ
＊＊＊＊＊−−−−−−−−−−−

インク充填を終了すると、右の表示に戻ります。

メンテナンス
インクジュウテン　＜ ent ＞

⑤【END】キーを２回押します。
ローカルモードに戻ります。

＜ローカル＞
ハバ：２４７５mm

[ヘッドセンジョウ]

● 洗浄液カートリッジ(SPC-0335)は、お近くの販売店または弊社営業所にてお求めください。

操作手順

① [ヘッドセンジョウ]を選択します。
P.5-2

メンテナンス
ヘッドセンジョウ　＜ ent ＞

②【ENTER】キーを押します。

ヘッドセンジョウ
ヘッド　センタク　：12．34

③ ジョグキー【▲】【▼】または【◀】【▶】を押して、洗浄するヘッドを選択します。
ヘッド1,2と、ヘッド3,4のセットで選択します。

● ノズル詰まりの発生しているヘッドのみを選択することで、余分なインクを消費しません。

ヘッドセンジョウ
ヘッド　センタク　：−−．34

ヘッドセンジョウ
ヘッド　センタク　：−−．34

ヘッドセンジョウ
ヘッド　センタク　：12．34

④【ENTER】キーを押します。

センジョウ
カートリッジヲハズス

⑤ インクカートリッジを外します。
インクが廃インクタンクに排出されます。

⑥ 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。
洗浄液を吸引します。

センジョウ
センジョウジグヲセット

⑦ 右の表示になったら､洗浄液カートリッジを外します。
空吸引します。

センジョウ
センジョウジグヲハズス

⑧ 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。
洗浄液を吸引します。

センジョウ
センジョウジグヲセット

⑨ 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを外します。

吸引した洗浄液を廃インクタンクへ排出します。

センジョウ センジョウジグヲハズス

1回の洗浄行程が終了すると、右の表示になります。

再度洗浄する場合は、ジョグキー【▶】を押し、手順⑥に戻ります。

終了する場合は、ジョグキー【◀】をを押し、手順⑩に進みます。

ヘッドセンジョウ シュウリョウ　<　>　センジョウ

⑩ 全行程が終了すると、右の表示になります。

メンテナンス ヘッドセンジョウ　　　＜ ent ＞

⑪【END】キーを２回押します。

インク充填モードに戻ります。

END

２回

インクタイプ Sol - 4color

5

メンテナンス機能

狭い作図幅の作図時にヘッド移動を指定する[ｽｷｬﾝﾊﾊﾞ ｷﾘｶｴ]

本機能は通常使用しません。
サービスエンジニアの指示があった場合のみ、操作してください。

操作手順

① [スキャンハバ キリカエ]を選択します。
P.5-2

メンテナンス
スキャンハバ キリカエ　<ent>

②【ENTER】キーを押します。
本機能の現在の状態を表示します。
（通常、初期値は OFF に設定されています。）

ENTER

スキャンハバ キリカエ
キリカエ　: OFF

③ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、スキャン動作を選びます。

スキャンハバ キリカエ
キリカエ　: ON

ON： スキャン幅を入力します。
OFF：下記のスキャン動作を行います。（手順⑨へ）
　ロジカルシーク ON：データ幅（画像幅）
　ロジカルシーク OFF：メディア幅

● ON にすると、作図時間が長くなります。

④【ENTER】キーを押します。

ENTER

スキャンハバ キリカエ
ハバ　: 1700 mm

⑤ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、スキャン幅を入力します。

ノズル抜けの広がりが解消されない場合は、入力値を大きくしてください。

スキャンハバ キリカエ
ハバ　: 1800 mm

⑥【ENTER】キーを押します。

ENTER

メンテナンス
スキャンハバ キリカエ　<ent>

⑦【END】キーを２回押します。
ローカルモードに戻ります。

END
２回

<ローカル>

SS インクから SS2 インクへ切り替える[SS2<>SSｺｳｶﾝ]

SS インクから SS2 インクへ切り替え、または逆の切り替えを行う場合は、以下の操作を行ってください。

重 要！ ★ 本機能では、インクセット（4 色 /6 色 /8 色セット）の変更はできません。
インクセットの切り替えは、インク交換手順を参照してください。P.5-32

操作手順

① [SS2<>SS コウカン]を選択します。
P.5-2

メンテナンス
SS2 ＜＞SSコウカン　　＜ent＞

②【ENTER】キーを押します。

③ インクカートリッジを外します。
充填してあるインクを廃インクタンクへ排出します。

ハイシュツ
カートリッジヲハズス

④ 右の表示になったら、インクカートリッジをセットします。

カートリッジ　ヲ
セットシテクダサイ

SSインクを使用していた場合は、SS2インクをセットします。
SS2インクを使用していた場合は、SSインクをセットします。

ジュウテンチュウ
シバラクオマチクダサイ

↓

充填動作が終了すると、ローカルモードに戻ります。

＜ローカル＞

設定条件を印刷する[リスト]

本装置の設定状態を出力します。メンテナンスの参考にしてください。

1. ファンクション機能の設定[セッテイ]に関する情報
2. メンテナンス機能のドット位置補正[ドットイチホセイ]情報
3. 各インクカートリッジの交換回数
4. 本装置で使用中のファームウェアのバージョン情報
5. 保守（サービスマン用）に必要な各設定値

```
   LIST   (System Ver6.20)   (I/F Ver1.51)   S/N : B9500000
(1) ｾｯﾃｲ            <  ﾀｲﾌﾟ1  >            ﾀｲﾌﾟ2                  ﾀｲﾌﾟ3                  ﾀｲﾌﾟ4
  ﾒﾃﾞｨｱ ﾎｾｲ      0          :ﾎｽﾄ      0          :ﾎｽﾄ      0          :ﾎｽﾄ      0          :ﾎｽﾄ
  ﾋｰﾀｰ    ﾌﾟﾘ    OFF        :ﾎｽﾄ      OFF        :ﾎｽﾄ      OFF        :ﾎｽﾄ      OFF        :ﾎｽﾄ
          ﾌﾟﾘﾝﾄ  OFF                  OFF                  OFF                  OFF
          °C/°F  °C                   °C                   °C                   °C
          ｽﾀﾝﾊﾞｲ OFF                  OFF                  OFF                  OFF
          OFF    OFF                  OFF                  OFF                  OFF
  ｻｸｽﾞ ﾎｳｼｷ      ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾎｽﾄ        ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾎｽﾄ        ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾎｽﾄ        ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾎｽﾄ
     ﾎｳｺｳ        ﾀﾝﾎｳｺｳ               ﾀﾝﾎｳｺｳ               ﾀﾝﾎｳｺｳ               ﾀﾝﾎｳｺｳ
     ﾛｼﾞｶﾙｼｰｸ    ON                   ON                   ON                   ON
     ｼﾛ ｶｻﾈ ｻｸｽﾞOFF                  OFF                  OFF                  OFF
  ｶｻﾈﾇﾘ          1          :ﾎｽﾄ      1          :ﾎｽﾄ      1          :ﾎｽﾄ      1          :ﾎｽﾄ
  ｶﾝｿｳ ｼﾞｶﾝ      0.0s   0s:ﾎｽﾄ      0.0s   0s:ﾎｽﾄ      0.0s   0s:ﾎｽﾄ      0.0s   0s:ﾎｽﾄ
  ｵｰﾄ ｶｯﾄ        OFF        :ﾎｽﾄ      OFF        :ﾎｽﾄ      OFF        :ﾎｽﾄ      OFF        :ﾎｽﾄ
  ﾌﾟﾘﾌｨｰﾄﾞ       OFF                  OFF                  OFF                  OFF
  ﾏｰｼﾞﾝ   ﾐｷﾞ    0mm                  0mm                  0mm                  0mm
          ﾋﾀﾞﾘ   0mm                  0mm                  0mm                  0mm
  ｶﾗｰﾊﾟﾀｰﾝ       OFF                  OFF                  OFF                  OFF
  ﾘﾌﾚｯｼｭ         ﾚﾍﾞﾙ3      :ﾎｽﾄ      ﾚﾍﾞﾙ3      :ﾎｽﾄ      ﾚﾍﾞﾙ3      :ﾎｽﾄ      ﾚﾍﾞﾙ3      :ﾎｽﾄ
  ﾒﾃﾞｨｱ ｹﾝｼｭﾂ    ｾﾚｸﾄ                 ｾﾚｸﾄ                 ｾﾚｸﾄ                 ｾﾚｸﾄ
  ｷｭｳﾁｬｸ         ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾎｽﾄ        ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾎｽﾄ        ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾎｽﾄ        ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾎｽﾄ
  ﾐﾘ/ｲﾝﾁ         ﾐﾘ                   ﾐﾘ                   ﾐﾘ                   ﾐﾘ
  ｽﾀﾝﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ     OFF                  OFF                  OFF                  OFF
        ﾀｲﾑ      OFF                  OFF                  OFF                  OFF
  ｵｰﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ     OFF                  OFF                  OFF                  OFF
  ﾍｯﾄﾞ ﾀｶｻ       ｳｽｲ                  ｳｽｲ                  ｳｽｲ                  ｳｽｲ
(2) ﾜｲﾊﾟﾚﾍﾞﾙ     10/10
(3) ｶﾝｿｳ ﾌｧﾝ     120min
(4) DISPLAY      Japanese
(5) ｻﾀﾝ ﾘﾌﾚｯｼｭ   OFF
(6) ﾃｲｷ ﾜｲﾋﾟﾝｸﾞ
        ｽｷｬﾝ ｶｲｽｳ  0
        ｵﾝﾄﾞ ｻ     12°C
(7) ｽｷｬﾝﾊﾊﾞｷﾘｶｴ ON / 1700mm
(8) ﾃｲｷ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ  OFF
(9) ｽﾘｰﾌﾟCLEAN   8h
(10)ﾄﾞｯﾄ ｲﾁ ﾎｾｲ
        ｳｽｲ         ﾊﾟﾀｰﾝ1              ﾊﾟﾀｰﾝ2              ﾊﾟﾀｰﾝ3              ﾊﾟﾀｰﾝ4
                     0.0                 0.0                 0.0                 0.0
                    ﾊﾟﾀｰﾝ5              ﾊﾟﾀｰﾝ6              ﾊﾟﾀｰﾝ7
                     0.0                 0.0                 0.0
        ｱﾂｲ         ﾊﾟﾀｰﾝ1              ﾊﾟﾀｰﾝ2              ﾊﾟﾀｰﾝ3              ﾊﾟﾀｰﾝ4
                     0.0                 0.0                 0.0                 0.0
                    ﾊﾟﾀｰﾝ5              ﾊﾟﾀｰﾝ6              ﾊﾟﾀｰﾝ7
                     0.0                 0.0                 0.0
(11)ﾗﾝﾆﾝｸﾞﾒｰﾀｰ
  ｶｰﾄﾘｯｼﾞ        1: 0     2: 0     3: 1     4: 1     5: 0     6: 0
  ｻﾞﾝﾘｮｳ         1: 2%    2: 2%    3: 2%    4: 2%    5: 2%    6: 2%
  ｼｮｯﾄ ｶｳﾝﾄ      1: 93             2: 27             3: 27             4: 27
                 5: 27             6: 27             7: 0              8: 0
  ｽｷｬﾝ ｶｲｽｳ      0                (x1000)
  ｻｸｽﾞ ﾁｮｳ       1m       3ft
  ｻｸｽﾞ ﾒﾝｾｷ      1m²      10sq.ft.
  ｼﾖｳ ｼﾞｶﾝ       0h
  ｽﾘｰﾌﾟﾘﾌﾚｯｼｭ    0        0h0m
  ｲﾝｸPIC         1: 0     2: 0     3: 0     4: 0     5: 0     6: 0
  Date : 05.09.05 13:40
```

操作手順

① [リスト]を選択します。

P.5-2

メンテナンス
リスト　＜ ent ＞

②【ENTER】キーを押します。

自動的に作図を開始します。

ENTER

メンテナンス
＊＊リスト＊＊

メンテナンス
リスト　＜ ent ＞

③【END】キーを２回押します。

ローカルモードに戻ります。

END
２回

＜ローカル＞
ハバ：２４７５mm

HEX コードで印刷する[ﾃﾞｰﾀﾀﾞﾝﾌﾟ]

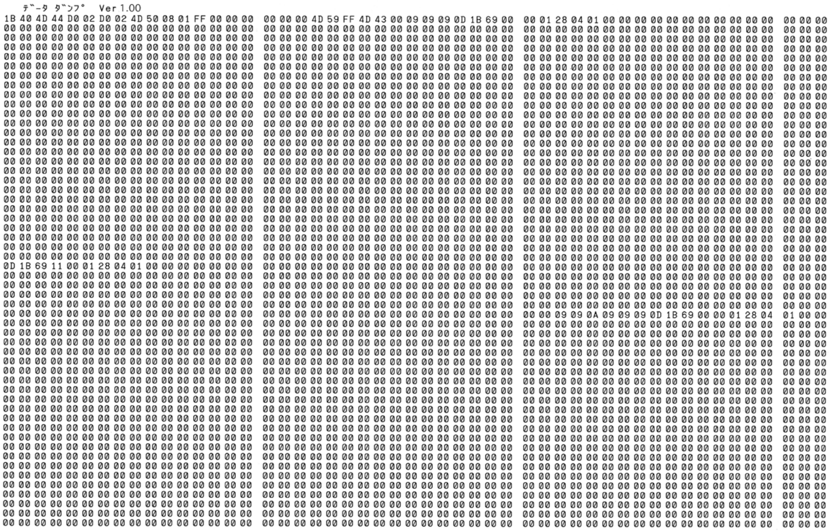
コマンドエラー（P.6-8）や、パラメーターエラー（P.6-9）が発生したときに使用します。
コンピュータから受信したデータコマンドを、HEX コードで作図します。
HEX コードとは、作図コマンドを英数コードで表記した物です。
出力結果を見て、データコマンドに異常がないかを確認します。

出力したデータは、お近くの弊社営業所に郵送、または FAX でお送りください。

重 要!

★ データダンプをリーフメディアに出力する場合は、A4 縦置きサイズ以上のメディアを使用してください。

● データダンプは、使用するメディアサイズに合わせて、自動改行して作図します。



操作手順

① [データダンプ]を選択します。
P.5-2

メンテナンス
データダンプ ＜ ent ＞

② 【ENTER】キーを押します。
自動的に作図を開始します。

ENTER

メンテナンス
＊＊データダンプ＊＊

メンテナンス
データダンプ ＜ ent ＞

③ 【END】キーを２回押します。
ローカルモードに戻ります。

END
２回

＜ローカル＞
ハバ゛：２４７５mm

5

メンテナンス機能

ワイパ寿命の警告表示[ﾜｲﾊﾟﾚﾍﾞﾙ]

ワイパは消耗品です。ホコリの多い環境などでは、ヘッドが汚れやすくなります。また、曲がったり摩耗したワイパではクリーニング効果が得られません。ワイパ寿命警告の設定を変更することで、環境にあわせて、早期にワイパの交換を促すことができます。

10/10：　標準（初期値）
9/10：
8/10：
・
・
・
1/10：　頻繁（早期に警告表示）

操作手順

① [ワイパレベル]を選択します。
P.5-2

メンテナンス
ワイパレベル　　< ent >

②【ENTER】キーを押します。

ENTER

メンテナンス
ワイパレベル　　10/10

③ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、ワイパ交換の警告表示レベルを選択します。

メンテナンス
ワイパレベル　　6/10

④【ENTER】キーを押します。

ENTER

メンテナンス
ワイパレベル　　< ent >

⑤【END】キーを２回押します。
ローカルモードに戻ります。

END
２回

＜ローカル＞
ﾊﾊﾞ：２４７５ｍｍ

時刻を設定する[ｼﾞｺｸｾｯﾃｲ]

本装置はカレンダーを内蔵しています。セッテイ項目の[タイムスタンプ]機能は、この設定により、日付、時刻を表示します。P.4-10

● 時刻のみ設定できます。日付の設定はできません。

操作手順

① [ジコクセッテイ]を選択し、【ENTER】キーを押します。

ENTER

メンテナンス
ジコクセッテイ　＜ ent ＞

② 日付、時刻を確認します。
ジョグキー【▲】【▼】を押すと、現在の日付と時刻が確認できます。

メンテナンス
DATE　= 2007. 11. 09

メンテナンス
TIME　= 01. 23. 45

③【ENTER】キーを押します。

ENTER

メンテナンス
TIME　= 01. 23. 45

④ 時刻を設定します。
ジョグキー【◀】【▶】を押して、時、分の桁を移動します。
ジョグキー【▲】【▼】を押して、値を変更します。

⑤【ENTER】キーを押します。

ENTER

メンテナンス
TIME　= 01. 23. 45

⑥ 設定した時刻を表示します。
ジョグキー【▲】【▼】を押すと、日付と時刻が確認できます。

⑦【END】キーを２回押します。
ローカルモードに戻ります。

END
２回

<ローカル>
ﾊﾊﾞ：２４７５ｍｍ

本装置の情報を表示する[ﾏｼﾝｼﾞｮｳﾎｳ]

本装置のファームウェアバージョン、シリアル番号、ディーラー番号を表示します。
トラブル発生時に、販売店または弊社営業所にこの情報とトラブル内容とをご連絡ください。
付録のお問い合わせシートに記入してご利用ください。

操作手順

① [マシンジョウホウ]を選択します。
P.5-2

メンテナンス
マシンジョウホウ ＜ ent ＞

②【ENTER】キーを押します。

ENTER

メンテナンス
バージョン ＜ ent ＞

③ 再度、【ENTER】キーを押します。
ファームウェアバージョンを表示します。

ENTER

MAIN Ver ＊＊.＊＊
I / F Ver ＊＊.＊＊

④【END】キーを押します。

END

メンテナンス
バージョン ＜ ent ＞

⑤ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[シリアル No.]を選択します。

メンテナンス
シリアル N o ＜ ent ＞

⑥【ENTER】キーを押します。
本装置のシリアル番号を表示します。

ENTER

メンテナンス
S / N ＊＊＊＊＊＊＊＊

⑦【END】キーを押します。

END

メンテナンス
シリアル N o ＜ ent ＞

⑧ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[ディーラー No.]を選びます。

メンテナンス
ディーラーN o ＜ ent ＞

⑨【ENTER】キーを押します。
本装置のディーラー番号を表示します。

ENTER

メンテナンス
D / N ＊＊＊＊＊＊＊＊

⑩【END】キーを２回押します。
ローカルモードに戻ります。

END
２回

＜ローカル＞
ハハﾞ：２４７５mm

カッター刃の交換方法

カッター刃は消耗品です。切れ味が悪くなってきたら、新しいカッター刃(SPA-0107)に交換してください。

注 意

★ 刃先は鋭利です。ケガをしないようご注意ください。

★ カッター刃は、子供の手の届かないところに保管してください。
また、使用済みのカッター刃は、地域の条例に従い廃棄してください。

● カッター刃の下に用紙を敷いておくと、刃先が落ちたときに拾いやすくなります。

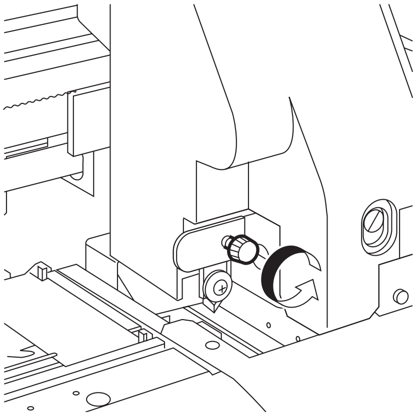
操作手順

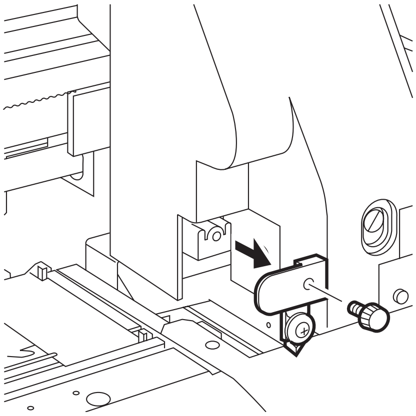
① [キャリッジアウト]を実行します。
P.5-4

② フロントカバーを開けます。

③ キャリッジ横のカッターユニットを交換します。

1. カッターユニットのネジを緩めます。
2. カッターユニットを取り外します。
3. 新しいカッターユニットを取り付けます。
4. カッターユニットのネジを締めて、カッターユニットを固定します。





④ フロントカバーを閉じます。

⑤【ENTER】キーを押します。
ローカルモードに戻ります。

5

メンテナンス機能

インクセットを交換する場合は

現在使用しているインクセット を変えることができます。

- **４色インクセットから６色または８色インクセットへの変更**
- **６色インクセットから４色または８色インクセットへの変更**
- **８色インクセットから４色または６色インクセットへの変更**

４色インクセット

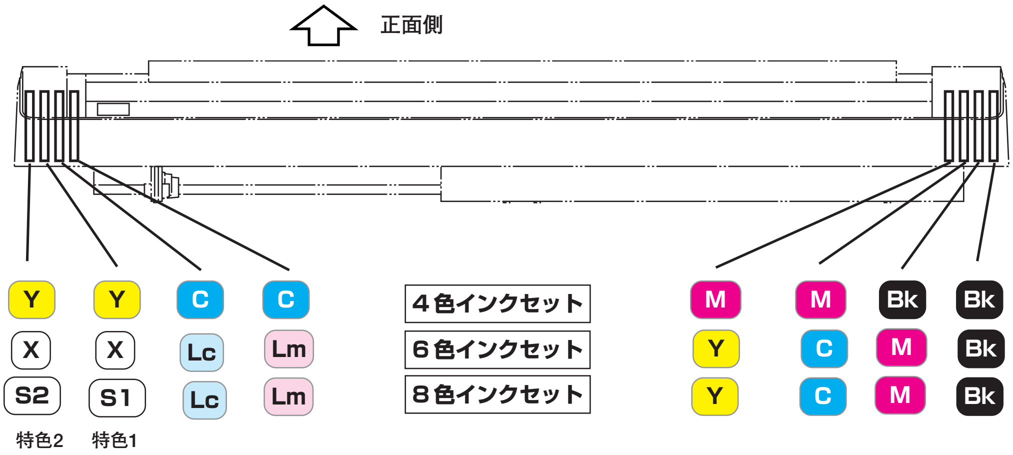
４色インクセットは各インクカートリッジを２本ずつ搭載することで、高速かつ、高画質な印刷ができます。
４色のインク（K :ブラック、M :マゼンタ、C :シアン、Y :イエロー）を使用します。
背面のインクステーション下にあるカートリッジ色順ラベルの上段に合わせて、インクカートリッジをセットします。

６色インクセット

６色インクセットは各インクカートリッジを１本ずつ搭載することで、より高画質な印刷ができます。
６色のインク（K :ブラック、M :マゼンタ、C :シアン、Y :イエロー、Lm :ライトマゼンタ、Lc :ライトシアン）を使用します。
２箇所の空いているインクステーションには、空いているインクステーションには、同種類のカートリッジを入れてください。（色は問いません）
背面のインクステーション下にあるカートリッジ色順ラベルの下段に合わせて、インクカートリッジをセットします。

８色インクセット

８色インクセットは各インクカートリッジを１本ずつ搭載することで、より高画質な印刷ができます。
６色のインク（K :ブラック、M :マゼンタ、C :シアン、Y :イエロー、Lm :ライトマゼンタ、Lc :ライトシアン）を１本ずつと、特色インクを２本セットします。
※特色インク：上記６色以外のインクを指します。



操作手順

① [ヘッドセンジョウ]を選択します。
P.5-2

メンテナンス
ヘッドセンジョウ ＜ ent ＞

②【ENTER】キーを押します。

ENTER

ヘッドセンジョウ
ヘッド センタク ：1 2. 3 4

③ ジョグキー【▲】【▼】または【◀】【▶】を押して、洗浄するヘッドを選択します。
ヘッド1, 2と、ヘッド3, 4のセットで選択します。

ヘッドセンジョウ
ヘッド センタク ：ーー. 3 4

ヘッドセンジョウ
ヘッド センタク ：ーー. 3 4

ヘッドセンジョウ
ヘッド センタク ：1 2. 3 4

- 同じインクタイプで6色インクセットと8色インクセットを切り替える場合、ヘッド3、4のみ選択します。
- インクタイプの切り替えおよび、4色インクセットから6色、8色インクセットに切り替える場合、ヘッド1、2と、ヘッド3、4の両方を選択します。

重 要！ ★ 6色インクセットから8色インクセットに切り替える場合は、サービスエンジニアの指示に従ってください。

④【ENTER】キーを押します。

ENTER

センジョウ
カートリッジヲハズス

⑤ インクカートリッジを外します。
充填してあるインクを廃インクタンクへ排出します。

⑥ 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。
洗浄液を吸引します。

センジョウ
センジョウジグヲセット

- 洗浄液カートリッジ(SPC-0407)は、お近くの販売店または弊社営業所にてお求めください。

⑦ 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを外します。
空吸引します。

センジョウ
センジョウジグヲハズス

⑧ 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。
洗浄液を吸引します。

センジョウ
センジョウジグヲセット

⑨ 右の表示になったら､洗浄液カートリッジを外します。

吸引した洗浄液を廃インクタンクへ排出します。

センジョウ
センジョウジグヲハズス

１回の洗浄行程が終了すると､右の表示になります。
再度洗浄する場合は、ジョグキー【▶】を押し、手順⑥に戻ります。
終了する場合は、ジョグキー【◀】を押し、手順⑩に進みます。

ヘッドセンジョウ
シュウリョウ　<　>　センジョウ

重 要！ ★ SS2 白インクを他の色に交換する場合は、２回以上洗浄してください。

⑩ 全行程が終了すると、右の表示になります。

メンテナンス
ヘッドセンジョウ　< ent >

⑪【END】キーを２回押します。

インク充填モードに戻ります。

END ２回

インクタイプ
Sol - 4color

⑫ 変更するインクに合致するインクタイプを選択します。

インクタイプ
Sol - 4color

● 洗浄を行ったヘッドによって、充填できるインクタイプ、インクセットが異なります。

洗浄したヘッド	充填可能なインクタイプ、インクセット
1,2,3,4 全て	全てのインクタイプ・インクセット
1,2 のみ	洗浄する前と同じインクタイプ・インクセット
3,4 のみ	洗浄する前と同じインクタイプ。インクセットは以下の通りです。 インクタイプ： SS1 (Sol), ES3 (ES3 Sol), TS (TS Sol), Eco-HS1(EcoHS1)→同じインクセット インクタイプ： MS2 (MSol), SS2 (SS2 Sol) インクセット４色→４色 インクセット6色または８色→6色または８色

⑬【ENTER】キーを押します。

⑭ インクステーションに各インクカートリッジを差し込みます。

ENTER

Solインク カートリッジ　ヲ
セットシテ　クダサイ

インクカートリッジを所定の位置まで差し込むと、音を鳴らして知らせます。

インクカートリッジをセットすると、自動的にインク充填が始まります。

ジュウテンチュウ
シバラクオマチクダサイ

交互に表示

ジュウテンチュウ

インク充填が終了すると、ローカルモードになります。

<ローカル>

440ccカートリッジ内に残った少量のインクを使用する

440cc カートリッジをご使用の際、[ニアエンド][インクエンド]を表示しても、実際にはインクカートリッジ内に少量のインクが残っている場合があります。このとき、使用したいインク量を選択して、残ったインクを使用できます。

重要!
- ★ **本機能は、[ニアエンド]、[インクエンド]を検出した440cc カートリッジに対してのみ有効です。220cc カートリッジや、[ニアエンド]未検出のカートリッジには対応していません。**
  なお、本機能を実行しても、[ニアエンド]は解消されません。クリーニングなどの機能は実行できないのでご注意ください。
- ★ **実際に残っているインクを全て使おうとすると、またはそれ以上のインクを使おうとすると、インクが終わっても印字動作を続けます。ご注意ください。**
  また、インクチューブ内に空気が入り込み、作図異常の原因になる場合があります。

使用できるインク量の目安

カートリッジ重量	追加できるインク量
～434g	追加しないでください
435g ～444g	+ 10cc
445g ～454g	+ 20cc
455g ～	+ 30cc

重要!
- ★ **インク不足により、色抜け、白スジが発生する危険性があるため、カートリッジの重量は正確に量り、使用できるインクの量を確認してください。**
- ★ **使用できるインク量は、あくまでも目安です。作図異常を起こすため、インクの使いすぎに注意してください。**

操作手順

① インク残量が少なくなると、[ニアエンド]を表示します。
（インクが無くなると、[インクエンド]を表示します。）

```
＜ローカル＞
ニアエンド          - K - - - - - -
```

② インクカートリッジを抜き、カートリッジの重量を確認します。
※上表のカートリッジ重量を参考にしてください。

```
＜ローカル＞
カートリッジ        - K - - - - - -
```

③ 残ったインクを使う場合は、カートリッジを再挿入します。

```
ザンリョウ　ツイカ
- K - - - - - -
```

交互に表示

```
ザンリョウ　ツイカ
スル : ent          シナイ : end
```

④【ENTER】キーを押します。
【END】キーを押すと、操作を中止し、ローカルモードに戻ります。

⑤ ジョグキー【▲】【▼】を押して、使用したいインク量を選択します。（10cc 単位）
30cc 以上は設定できません。

```
ザンリョウ　ツイカ
+ 0 cc ▶　+ 2 0 cc
```

20cc 使う場合

現在の設定値　合計設定値

設定するインク量

⑥【ENTER】キーを押します。
【END】キーを押すと、操作を中止し、ローカルモードに戻ります。

⑦【ENTER】キーを押します。
ローカルモードに戻ります。

インクが残っているカートリッジが複数本ある場合は、一本ずつ設定します。

ENTER

```
ザンリョウ　ツイカ
ジッコウ　　　　　　: ent
```

```
<ローカル>
ニアエンド　　　　- K - - - - - -
```

さらにインクカートリッジ内の残インクを使用したい場合は

上記の作業を行って作図した後、まだインクが残ってしまう場合があります。
この場合も、再度、インク量を選択して残ったインクを使用できます。

重 要!

★ 実際に残っているインクを全て使おうとすると、またはそれ以上のインクを使おうとすると、インクが終わっても印字動作を続けます。ご注意ください。
また、インクチューブ内に空気が入り込み、作図異常の原因になる場合があります。
必ずインクの残量を確認し、設定する値に注意してください。

★ 30cc 以上は設定できません。すでに 30cc を設定している場合は、再設定できません。

ここでは、20cc を選択して作図後、さらに 10cc のインクを使いたい場合を例に説明します。

操作手順

① インク残量が少なくなると、[ニアエンド]を表示します。
（インクが無くなると、[インクエンド]を表示します。）

```
<ローカル>
ニアエンド　　　　- K - - - - - -
```

② インクカートリッジを抜き、カートリッジの重量を確認します。

```
<ローカル>
カートリッジ　　　- K - - - - - -
```

5

メンテナンス機能

③ 残ったインクを使う場合は、カートリッジを再挿入します。

ザンリョウ　ツイカ
- K - - - - - -

交互に表示

④【ENTER】キーを押します。
【END】キーを押すと、操作を中止し、ローカルモードに戻ります。

ENTER

ザンリョウ　ツイカ
スル : ent　　シナイ : end

⑤ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、使用したいインク量を選択します。（10cc 単位）

※ 右の表示は、20cc にさらに 10cc を追加設定した場合です。ジョグキー【▲】を 1 回押すと、10cc を追加します。左側に現在設定されている値を、右側に 10cc を追加した登録値を表示します。

ザンリョウ　ツイカ
+ 2 0 cc ▶ + 3 0 cc

さらに 10cc 使いたい場合

現在の設定値　合計設定値

差分が設定するインク量になります。

⑥【ENTER】キーを押します。
【END】キーを押すと、操作を中止し、ローカルモードに戻ります。

ENTER

ザンリョウ　ツイカ
ジッコウ　: ent

＜ローカル＞
ニアエンド　- K - - - - - -

⑦【ENTER】キーを押します。
ローカルモードに戻ります。

6章
困ったときは

6章では、本装置になんらかの異常が発生した場合や、エラーメッセージを表示した場合のトラブル解消方法について説明します。

本章の内容

故障？と思う前に 6-2
電源が入らない 6-2
作図できない 6-2
メディア詰まり / メディアが汚れる 6-3
[HEAT]ランプ ,[CONSTANT]ランプが点灯しない 6-3
画質不良が発生した場合は 6-4
白スジ／カスレ / 色の濃いスジが発生する（ヘッド移動方向） 6-4
文字が用紙送り方向に２重、３重にブレる 6-4
往復印字でズレが発生する 6-4
色ごとにインクが重ならない 6-4
作図中にインク滴が落ちる 6-4
カートリッジ異常が発生したら 6-5
メッセージを表示するトラブル 6-6
ワーニングエラー 6-6
エラーメッセージ 6-9

故障？と思う前に

ディスプレイにエラーメッセージが表示されないときのトラブルの対処方法について説明します。故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。

電源ケーブルを本装置と電源コンセントに接続しましたか？ →（イイエ）→ 電源ケーブルを確実に接続してください

主電源が入っていますか？ →（イイエ）→ 主電源を入れてください。 P.2-3

初期動作直後に電源が切れてしまいますか？ →（ハ　イ）→ 前面にある電源スイッチを入れてください。 P.2-3

作図できない

作図ができない場合は、データが適正に本装置に送られていない場合があります。
また、作図機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。

ご使用のインターフェースケーブルが合っていますか？ →（イイエ）→ 本装置のケーブルをご使用ください。

インターフェースケーブルが確実にセットしてありますか？ →（イイエ）→ インターフェイスケーブルを確実にセットしてください。

↓（ハ　イ）

ディスプレイにインク切れのメッセージを表示していますか？ →（ハ　イ）→ 新しいインクカートリッジに交換してください。 P.2-46

メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。

- 推奨のメディアをお使いですか？
  - イイエ → 推奨のメディアをお使いください。
- カールしていないメディアや、先端が折れ曲がっていないメディアをお使いですか？
  - イイエ → カールのきついメディアや、先端が折れ曲がっているメディアは使わないでください。
  - ハイ ↓
- メディアがプラテンに沿って垂れていますか？
  - イイエ → 巻き取り装置を使うか、メディアを再セットしてください。 ☞ P.2-9～34

[HEAT]ランプ ,[CONSTANT]ランプが点灯しない

基本操作を確認してください。

- 本装置の電源はONになっていますか？
  - イイエ → 本装置の電源をONにしてください。 ☞ P.2-3
  - ハイ ↓
- ヒーターの電源はONになっていますか？
  - イイエ → ヒーターの電源をONにしてください。
  - ハイ ↓
- ヒーターの温度設定は有効ですか？
  - イイエ → ヒーターの温度を設定してください。 ☞ P.2-35

画質不良が発生した場合は

ここでは、作図品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡（サービスコール）ください。

白スジ／カスレ / 色の濃いスジが発生する（ヘッド移動方向）

対処方法　：　① ヘッドクリーニングをしてください。P.2-39

② ステーション内部のメンテナンスをしてください。
P.3-4 ～ 3-7, 5-4

③ 「メディア補正」機能を実行してください。P.2-40

④ メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。

文字が用紙送り方向に２重、３重にブレる

対処方法　：　「メディア補正」機能を実行してください。P.2-40

往復印字でズレが発生する

対処方法　：　「ドット位置補正」機能を実行してください。P.5-15

色ごとにインクが重ならない

対処方法　：　「ドット位置補正」機能を実行してください。P.5-15

作図中にインク滴が落ちる

対処方法　：　① ワイパをクリーニングしてください。P.3-4

② インクキャップのクリーニングをしてください。P.3-4

③ ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。
P.2-39

カートリッジ異常が発生したら

インクカートリッジに異常が発生したら、メッセージを表示します。
作図、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。
速やかに新しいインクカートリッジに交換して下さい。

注意 ★ **カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。**
ノズルが詰まった場合、サービスエンジニアによる修理が必要になります。

カートリッジ異常の詳細を表示する

カートリッジ異常の内容を確認できます。

① ローカルモードで【ENTER】キーを押します。

ENTER

＜ローカル＞
カートリッジ　　ＫＫＭＭＣＣＹＹ

（４色モデル）

②【ENTER】キーを押します。
インクカートリッジに異常がなければ、ファームウェアのバージョンとコマンド名称を表示します。

ENTER

SS2-インク　　ＫＫＭＭＣＣＹＹ
ザンリョウ　　９８７８５６７７

再度【ENTER】キーを押すと、ローカルモードに戻ります。

複数のカートリッジ異常が発生している場合、再度【ENTER】キーを押すと、順番に表示します。
【ENTER】キーを押し、すべてのカートリッジ異常の表示が終わると、ファームウェアのバージョンとコマンド名称を表示します。再度【ENTER】キーを押すと、ローカルモードに戻ります。

P.6-6, 6-7

ヒジュンセイ　インク
ＫＫＭＭＣＣＹＹ

インク　IC　イジョウ
ＫＫＭＭＣＣＹＹ

インク　シュルイ
ＫＫＭＭＣＣＹＹ

インク　カラー
ＫＫＭＭＣＣＹＹ

カートリッジ　イジョウ
ＫＫＭＭＣＣＹＹ

インク　キゲン　ギレ
ＫＫＭＭＣＣＹＹ

カートリッジ　ナシ
ＫＫＭＭＣＣＹＹ

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。
メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングエラー

主にヒーター、インク関連に対して発生します。

エラーメッセージ	原　因	対処方法
＜ローカル＞ カートリッジ　KKMMCCYY	装着したインクカートリッジに問題があります。	【ENTER】キーを押すと、エラーの詳細を表示します。確認してください。
＜ローカル＞ ニアエンド　KKMMCCYY	インクカートリッジのインク残量が少なくなりました。	【REMOTE】キーを押すと、１ファイルごと作図できます。表示している色のインクカートリッジを早めに交換してください。
＜ローカル＞ インクエンド　KKMMCCYY	インクカートリッジのインクが終わりました。	表示している色のインクカートリッジを交換してください。
＜ローカル＞ インクキゲン　KKMMCCYY	インクカートリッジの有効期限が切れています。あるいは、有効期限が切れかかっています。	【REMOTE】キーを押すと、作図ができます。表示している色のインクカートリッジを早めに交換してください。
＜ローカル＞ ワイパコウカンシテクダサイ	キャッピングステーションのワイパ交換時期です。	【REMOTE】キーを押すと、作図ができます。電源を入れる度にエラーを表示しますので、早めに新しいワイパと交換してください。☞ P.5-5
＜ローカル＞ テストサクズシテクダサイ	放置時間が長いため、ノズルの復旧が見込めません。	テスト作図を行ってください。ノズル抜けがひどい場合は、メンテナンスの[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ] - [ﾉｽﾞﾙｾﾝｼﾞｮｳ]を実行してください。☞ P.3-7
＜ローカル＞ リフレッシュST.　ヲ　コウカン	左側リフレッシュステーションの交換時期です。	【REMOTE】キーを押すと、作図ができます。電源を入れる度にエラーを表示しますので、早めに新しいステーションと交換してください。☞ P.5-10

エラーメッセージ	原　因	対処方法
ヒジュンセイ　インク KKMMCCYY	インクカートリッジがミマキ純正品ではありません。 インクカートリッジの IC チップが正常に読めませんでした。	ミマキ純正品をお使いください。 表示している色のインクカートリッジを再挿入してください。 再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
インク　IC　イジョウ KKMMCCYY	インクカートリッジの IC チップが正常に読めませんでした。 または、インクカートリッジの IC チップが異常です。	装填したインクカートリッジの IC チップに異常があります。確認してください。
インク　シュルイ KKMMCCYY	装填したインクカートリッジの種類が、前回装填した種類と異なります。	装填したインクカートリッジの種類を確認してください。
インク　カラー KKMMCCYY	装填したインクカートリッジの色が、前回装填した色と異なります。	表示している色と装填したインクカートリッジの色を確認してください。
カートリッジ　イジョウ KKMMCCYY	装填したインクカートリッジが異常です。	装填したインクカートリッジに異常があります。確認してください。
サクズ　ヲ　ホショウ　スル オンド　ハンイ　ヨリ　ヒクイ. サクズ　ヲ　ホショウ　スル オンド　ハンイ　ヨリ　タカイ.	作図保証温度の範囲外で作図をしようとしています。	装置設置環境の温度を変更してください。 そのまま使用する場合は、【ENTER】を押してください。
カートリッジ　ナシ KKMMCCYY	インクカートリッジがインクステーションに取り付けてありません。	表示しているインクカートリッジをインクステーションに取り付けてください。
＊リモート＊　！ヒーター タイプ　＊　＊＊.＊＊m <ローカル>　！ヒーター ハバ：＊＊＊＊m	プリヒーター、もしくはプリントヒーターで異常が発生しています。	【HEATER】キーを押すと、エラーの詳細を表示します。確認してください。
ヒーター　ノ　デンゲンガ ハイッテイマセン	ヒーターの電源が OFF になっています。	ヒーターの電源を ON にしてください。再度表示するときは、サービスコールしてください。

エラーメッセージ	原　　因	対処方法
Pre　　４０℃（４５） Print　　ダンセン	プリントヒーターが断線しています。	販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
Pre　　ダンセン Print　　４３℃（４７）	プリヒーターが断線しています。	
Pre　　サーミスタ Print　　５０℃（４０）	プリヒーターのサーミスタに異常があります。	
Pre　　５５℃（４０） Print　　サーミスタ	プリントヒーターのサーミスタに異常があります。	

エラーメッセージ

エラーメッセージは、エラー番号を表示します。
エラーメッセージを表示した場合は、電源をオフにしてしばらくたってから電源をオンにしてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡（サービスコール）ください。

エラーメッセージ	原　　因	対処方法
ERROR 01 MAIN ROM ERROR 02 MAIN RAM	制御基板に異常が発生しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 03 POWER +5V	制御基板に異常が発生しました。 POWER+5V POWER+35V	
ERROR 04 フラッシュ ROM ERROR 06 D-RAM	制御基板に異常が発生しました。	
ERROR 07 ヘッドーー＊ーーーーー	ヘッドの接続に異常を検出しました。	
ERROR 08 リニアエンコーダ n	リニアエンコーダの検出で異常が発生しました。	
ERROR 09 HDCエラー	制御基板に異常が発生しました。 FPGA エラー HDC エラー	
ERROR 10 コマンドエラー	コマンドデータ以外のデータを受信しました。 本装置に適合していないインターフェースケーブルが使われています。	インターフェイスケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェースケーブルを使用してください。

<table>
<tr><th>エラーメッセージ</th><th>原　　因</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>ＥＲＲＯＲ　１１
パラメータエラー</td><td>数値範囲外のパラメータを受信しました。</td><td rowspan="3">一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。
再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。</td></tr>
<tr><td>ＥＲＲＯＲ　２０
Ｉ/Ｆボード</td><td>I/F ボードと制御基板のインターフェースにエラーが発生しました。</td></tr>
<tr><td>ＥＲＲＯＲ　２１
Ｉ/Ｆナシ</td><td>I/F ボードが制御基板に装着されていません。</td></tr>
<tr><td>ＥＲＲＯＲ　２３
ホストＩ/Ｆ</td><td>ホストコンピュータと I/F ボードとの通信にタイムアウトエラーが発生しました。</td><td>ケーブルが確実に接続してあるか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。</td></tr>
<tr><td>ＥＲＲＯＲ　２４
Ｉ/Ｆイニシャル</td><td>I/F ボードと制御基板の初期動作不良です。</td><td>一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。
再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。</td></tr>
<tr><td>ＥＲＲＯＲ　３０
オペレーション　エラー</td><td>操作パネルで不当なオペレーションをしました。</td><td>正しいオペレーションをしてください。</td></tr>
<tr><td>ＥＲＲＯＲ　３４
ミサクズデータアリ</td><td>受信済みで未作図のデータがあるのに、ファンクション機能の設定を変更しようとしています。</td><td>受信済みのデータを全て作図するか、データクリアを実行してから、設定機能を変更してください。</td></tr>
</table>

エラーメッセージ	原　因	対処方法
ERROR 40 モーターアラームX	Xモーターに過大な負荷がかかりました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示するときは、 販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 41 モーターアラームY	Yモーターに過大な負荷がかかりました。	
ERROR 42 Xオーバーカレント	Xモーターの過電流エラーを検出しました。	
ERROR 43 Yオーバーカレント	Yモーターの過電流エラーを検出しました。	
ERROR 46 ワイパ	ワイパの位置が適正ではありません。	
ERROR 50 メディアケンシュツ	用紙検出ができませんでした。メディアのセット位置、使用メディアが不適当です。	「メディアのセット」をご覧ください。 P.2-9 正しくセットしても、エラーを表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 51 ゲンテンケンシュツ	原点検出ができませんでした。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 52 メディア　セット	2本のロールメディアの幅と取り付け位置が不適当です。	必ず同じ種類のメディアを使用してください。1本あたりのロールメディアの最大幅は1150mmです。 P.2-24 再度表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。

付録

各種仕様や構成品、メニュー構造を示します。

本章の内容

本体仕様 .... 付録 -2
インク仕様 .... 付録 -4
お問い合わせシート .... 付録 -5
機能フローチャート .... 付録 -7

本体仕様

項　目		JV3-250SP
作図ヘッド部	方式 仕様	ドロップオンデマンドピエゾヘッド ４ヘッド　インライン
	ノズル構成	４色時各色 360 ノズル、６色時各色 180 ノズル
	作図分解能	360, 540, 720, 1440 dpi
作図モード	４色インクセット	360 x 360 dpi : 1/2/4 pass, 双方向 / 単方向 360 x 540 dpi : 3/6/12 pass, 双方向 / 単方向 360 x 720 dpi : 2/4/8/16 pass, 双方向 / 単方向 720 x 720 dpi : 2/4/8/16 pass, 双方向 / 単方向 720 x 1440 dpi : 4/8/16 pass, 双方向 / 単方向 1440 x 1440 dpi : 8/16 pass, 双方向 / 単方向
	６色 /８色インクセット	360 x 360 dpi : 2/4/8 pass, 双方向 / 単方向 360 x 540 dpi : 3/6/12 pass, 双方向 / 単方向 360 x 720 dpi : 4/8/16 pass, 双方向 / 単方向 720 x 720 dpi : 4/8/16 pass, 双方向 / 単方向 720 x 1440 dpi : 8/16/32 pass, 双方向 / 単方向 1440 x 1440 dpi : 16/32 pass, 双方向 / 単方向
使用可能インク	４色インクセット	専用ソルベントインク４色（ﾌﾞﾗｯｸ、ｼｱﾝ、ﾏｾﾞﾝﾀ、ｲｴﾛｰ）各２本
	６色インクセット	専用ソルベントインク６色（ﾌﾞﾗｯｸ、ｼｱﾝ、ﾏｾﾞﾝﾀ、ｲｴﾛｰ、ﾗｲﾄｼｱﾝ、ﾗｲﾄﾏｾﾞﾝﾀ） 各１本＋同種類のインクカートリッジ２本
	８色インクセット	専用ソルベントインク６色（ﾌﾞﾗｯｸ、ｼｱﾝ、ﾏｾﾞﾝﾀ、ｲｴﾛｰ、ﾗｲﾄｼｱﾝ、ﾗｲﾄﾏｾﾞﾝﾀ） 各１本＋特色インク２本
インク供給		インクカートリッジからのチューブ供給 インク残量表示機能あり（IC 搭載あり） インクエンド検出機能あり インクカートリッジ交換方式
インク容量		各色（220 cc ± 5 cc） １カートリッジあたり約 200 cc 使用可能
使用可能メディア		ターポリン、FF、塩ビフィルム
最大作図範囲 VD: バリアブルデータ ND: ノーマルデータ （ ）は高速スキャン時	４色インクセット	360 x 360 dpi　VD/ND: 2540mm（2516mm） 360 x 540 dpi　VD/ND: 2540mm（2516mm） 360 x 720 dpi　VD/ND: 2540mm（2516mm） 720 x 720 dpi　VD/ND: 2540mm（2540mm） 720 x 1440 dpi　VD: 2260mm（2260mm） ND: 2540mm（2540mm） 1440 x 1440 dpi　VD: 1000mm / ND: 2000mm
	６色インクセット	360 x 360 dpi　VD/ND: 2540mm（2516mm） 360 x 540 dpi　VD/ND: 2540mm（2516mm） 360 x 720 dpi　VD/ND: 2540mm（2516mm） 720 x 720 dpi　VD/ND: 2540mm（2540mm） 720 x 1440 dpi　VD: 1680mm（1680mm） ND: 2540mm（2540mm） 1440 x 1440 dpi　VD: 500 mm / ND: 1000mm
	８色インクセット	360 x 360 dpi　VD/ND: 2540mm（2516mm） 360 x 540 dpi　VD/ND: 2540mm（2516mm） 360 x 720 dpi　VD/ND: 2540mm（2516mm） 720 x 720 dpi　VD: 2260mm（2260mm） ND: 2540mm（2540mm） 720 x 1440 dpi　VD: 1100mm（1100mm） ND: 2260mm（2260mm） 1440 x 1440 dpi　VD: 500 mm / ND: 1000mm

項　目		JV3-250SP
ロールメディアサイズ	最大幅	2550 mm
	最小幅	210 mm
	厚さ	1.0 mm 以下
ロールメディアサイズ （ロールホルダ使用時）	ロール外径	φ 180 mm 以下
	ロール重量	25 kg 以下（ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと）
	紙管内径	2 インチ , 3 インチ
	作図面	外側
	巻終わり処理	紙管にテープ止め
ロールメディアサイズ （ロール置き台使用時）	ロール外径	φ 250 mm 以下
	ロール重量	110 kg 以下（ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと）
	紙管内径	3 インチ
	作図面	外側（外巻き）、 内側（内巻き）
	巻終わり処理	紙管にテープ止め
リーフメディアサイズ	最大幅	2550 mm
	最小幅	210 mm
作図マージン	リーフメディア	左右 : 25 mm（初期値）　:ﾊﾟﾗﾒｰﾀｰにより可変（最小 5 mm まで） 前 : 65 mm 後 : 110 mm
	ロールメディア	左右 : 25 mm（初期値）　:ﾊﾟﾗﾒｰﾀｰにより可変（最小 5 mm まで） 前 : 25 mm 後 : 0 mm
ヘッド高さ調整		2.0 mm/3.0 mm（プラテン面より）: 2 段階調整
メディア裁断		ヘッド部カッターによる Y 方向カット 裁断精度（段差）0.5 mm 以下
排紙		ロール巻取り装置標準（内巻き / 外巻き　切り替え可能）
廃インクタンク		ボトル式（2 リットル 1 本） 目視による交換時判断
インターフェース		IEEE1394 準拠 , IEEE1284 準拠
コマンド		MRL-II（バリアブルドット対応） <ESC/Pﾚﾍﾞﾙ2ﾍﾞｰｽ　ミマキオリジナルコマンド>
騒音	待機時	58 dB 以下(FAST-A, 前後左右 1 m)
	動作連続音	65 dB 以下
	動作不連続音	70 dB 以下
適合規格		UL, VCCI-classA, FCC ClassA, CEﾏｰｷﾝｸﾞ, CBﾚﾎﾟｰﾄ, CCC
電源仕様		AC100 ～ 120 V ± 10 %, AC 200 ～ 240 V ± 10 % 50/60 Hz ± 1 Hz
消費電力		1500 VA 以下　2 系統
設置環境	使用可能温度	20 ℃ ～ 35 ℃
	相対湿度	35 ～ 65 %Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	20 ℃ ～ 25 ℃
	温度勾配	± 10 ℃/h 以下
	粉塵	オフィス相当
重量	全体	350 kg 以下
外形寸法	幅	3600 mm 以下
	奥行き	1000 mm 以下
	高さ	1300 mm 以下

インク仕様

項　目		仕　様
形態		専用ソルベントインクカートリッジ
色		ブラックインクカートリッジ
		シアンインクカートリッジ
		マゼンタインクカートリッジ
		イエローインクカートリッジ
		ライトシアンインクカートリッジ
		ライトマゼンタインクカートリッジ
		特色インクカートリッジ ・白 ・その他（リリース予定）
インク容量		220cc/440cc カートリッジ
有効期間		製造日より１年間（常温） 開封から３カ月以内
保存温度	保存時	1℃～ 40℃（40℃の場合１カ月以内）
	輸送時	1℃～ 60℃ (60℃の場合 120 時間以内、40℃の場合１カ月以内）

重 要！

★ **インクは寒い場所に長時間放置すると凍結する場合があります。万一、凍結した場合は、室温（25℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。**

★ **インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。**

お問い合わせシート

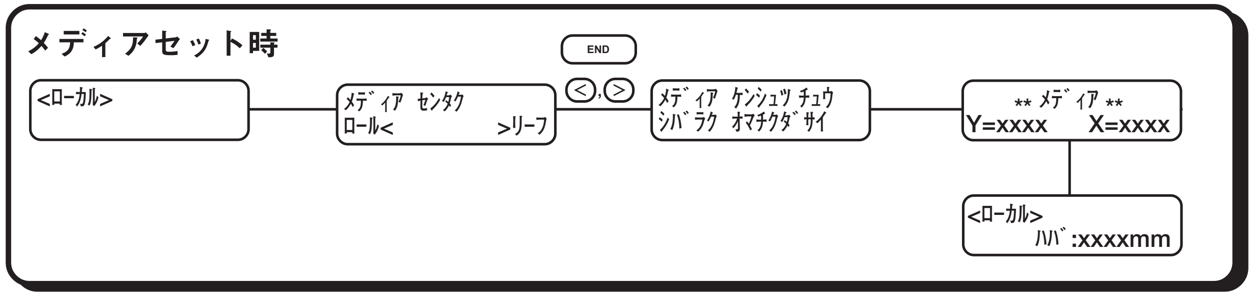
プリンターの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所まで FAX でお送りください。

御社名	
ご担当者名	
電話番号	
プリンター機種名	
お使いの OS	
マシーン情報 *	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

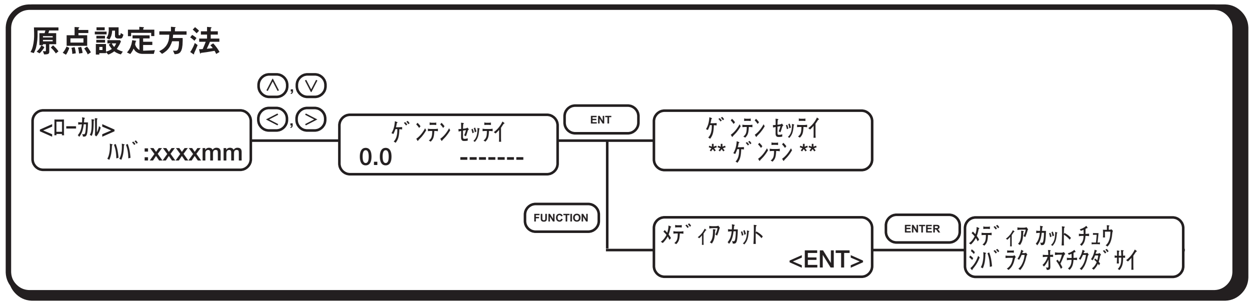
* [マシンジョウホウ]で表示した情報をご記入ください。 P.5-30

付
録

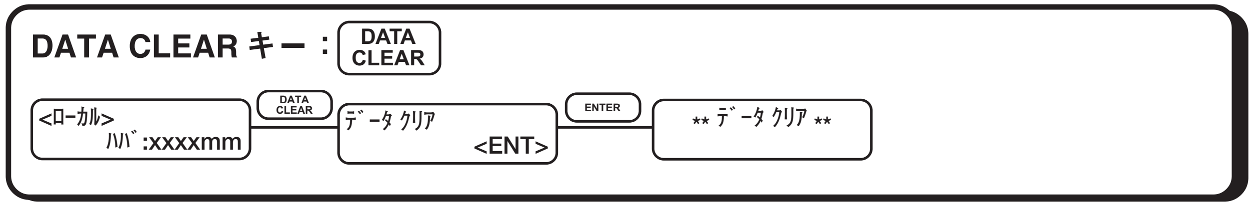
機能フローチャート



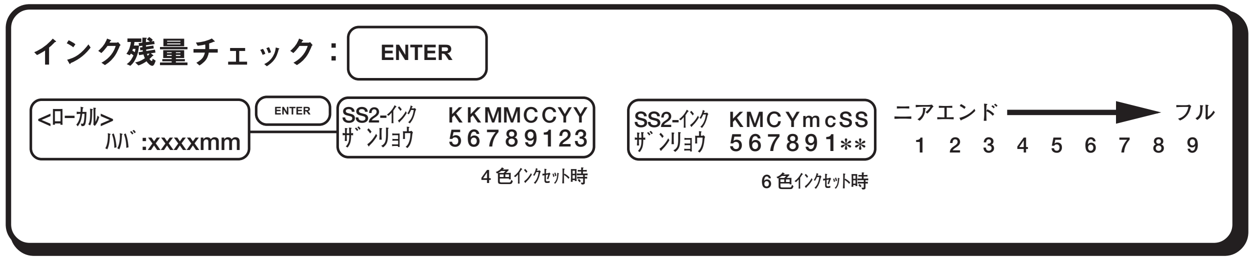
メディアセット時
END
<,>
<ローカル>
ﾒﾃﾞｨｱ ｾﾝﾀｸ
ﾛｰﾙ< >ﾘｰﾌ
ﾒﾃﾞｨｱ ｹﾝｼｭﾂ ﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
** ﾒﾃﾞｨｱ **
Y=xxxx X=xxxx
<ローカル>
ﾊﾊﾞ:xxxxmm



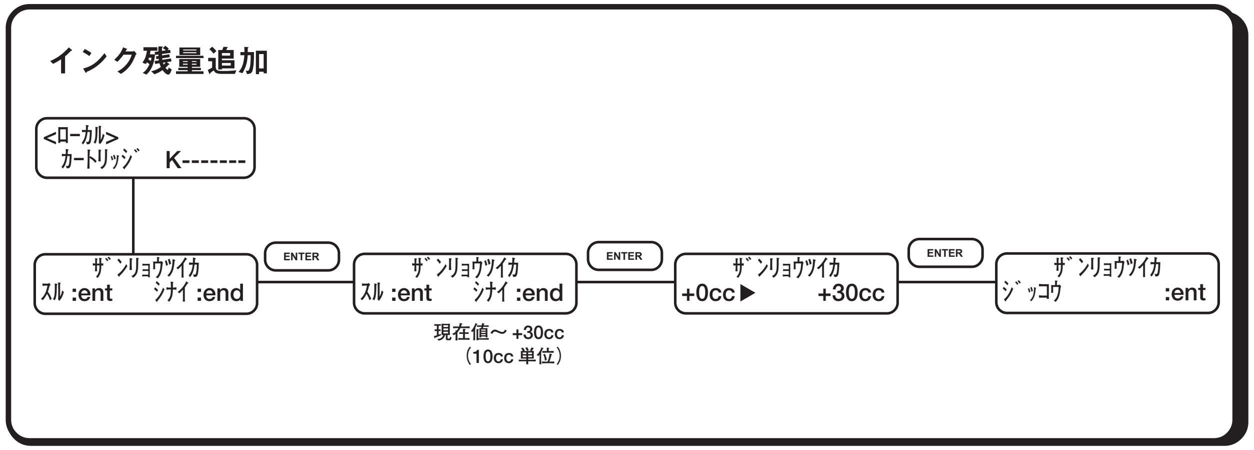
原点設定方法
<ローカル>
ﾊﾊﾞ:xxxxmm
∧,∨
<,>
ｹﾞﾝﾃﾝ ｾｯﾃｲ
0.0 -------
ENT
ｹﾞﾝﾃﾝ ｾｯﾃｲ
** ｹﾞﾝﾃﾝ **
FUNCTION
ﾒﾃﾞｨｱ ｶｯﾄ
<ENT>
ENTER
ﾒﾃﾞｨｱ ｶｯﾄ ﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ



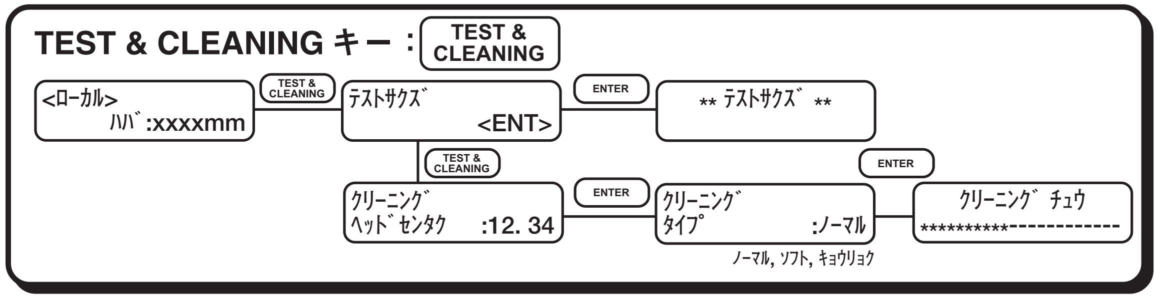
DATA CLEAR キー： DATA CLEAR
<ローカル>
ﾊﾊﾞ:xxxxmm
DATA CLEAR
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ
<ENT>
ENTER
** ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ **



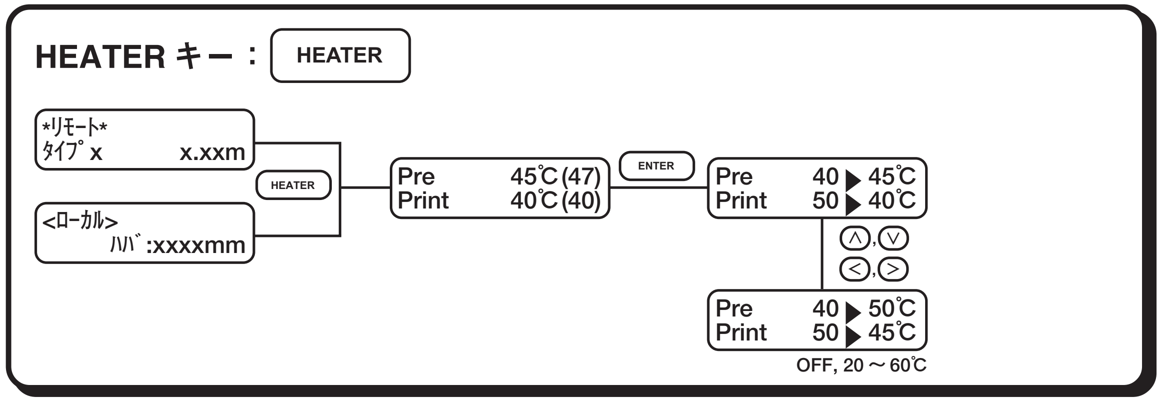
インク残量チェック： ENTER
<ローカル>
ﾊﾊﾞ:xxxxmm
ENTER
SS2-ｲﾝｸ KKMMCCYY
ｻﾞﾝﾘｮｳ 56789123
4色ｲﾝｸｾｯﾄ時
SS2-ｲﾝｸ KMCYmcSS
ｻﾞﾝﾘｮｳ 567891**
6色ｲﾝｸｾｯﾄ時
ニアエンド フル
1 2 3 4 5 6 7 8 9



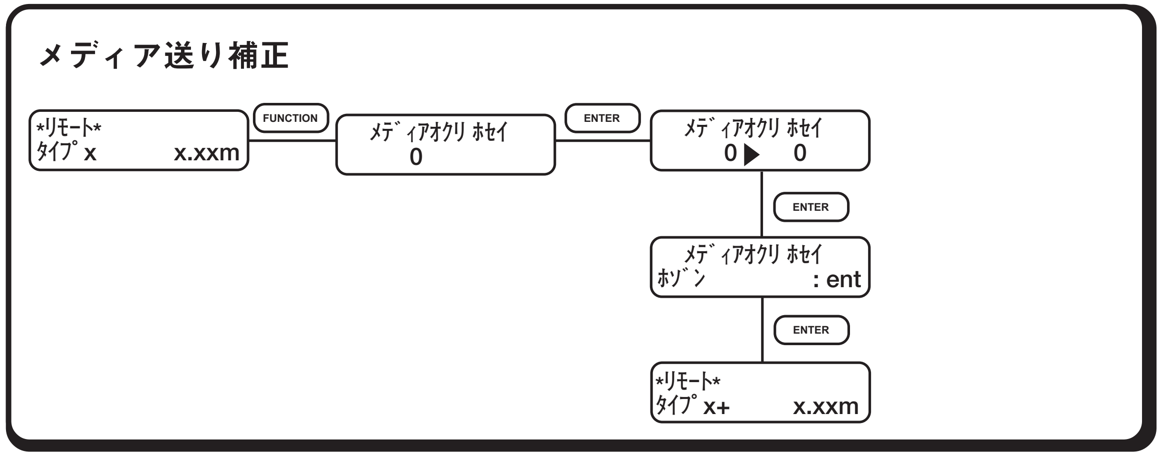
インク残量追加
<ローカル>
ｶｰﾄﾘｯｼﾞ K-------
ｻﾞﾝﾘｮｳﾂｲｶ
ｽﾙ :ent ｼﾅｲ :end
ENTER
ｻﾞﾝﾘｮｳﾂｲｶ
ｽﾙ :ent ｼﾅｲ :end
現在値～ +30cc
（10cc 単位）
ENTER
ｻﾞﾝﾘｮｳﾂｲｶ
+0cc▶ +30cc
ENTER
ｻﾞﾝﾘｮｳﾂｲｶ
ｼﾞｯｺｳ :ent



TEST & CLEANING キー： TEST & CLEANING
<ローカル>
ﾊﾊﾞ:xxxxmm
TEST & CLEANING
ﾃｽﾄｻｸｽﾞ
<ENT>
ENTER
** ﾃｽﾄｻｸｽﾞ **
TEST & CLEANING
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ
ﾍｯﾄﾞ ｾﾝﾀｸ :12. 34
ENTER
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ
ﾀｲﾌﾟ :ﾉｰﾏﾙ
ﾉｰﾏﾙ, ｿﾌﾄ, ｷｮｳﾘｮｸ
ENTER
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ﾁｭｳ
**********------------

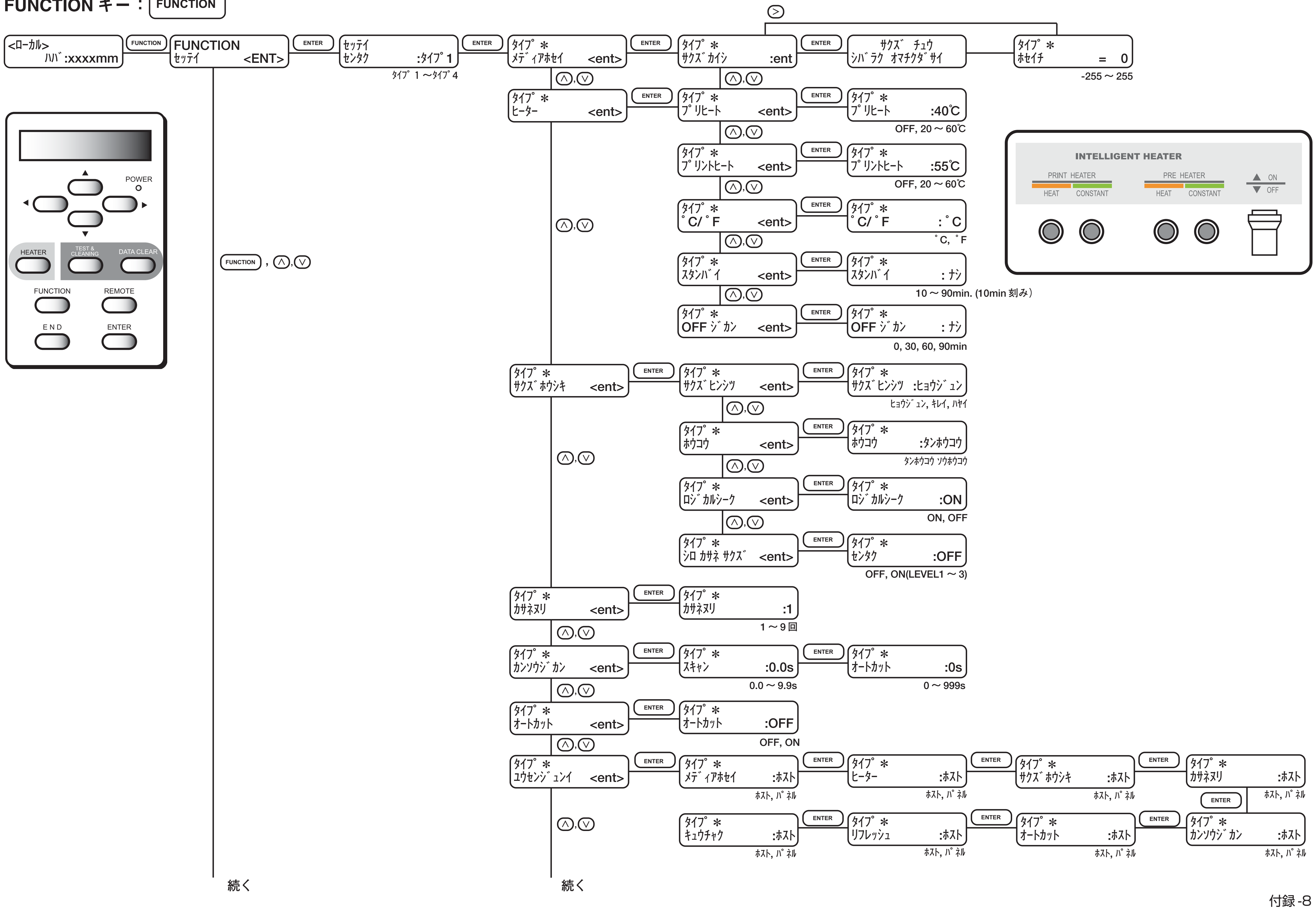


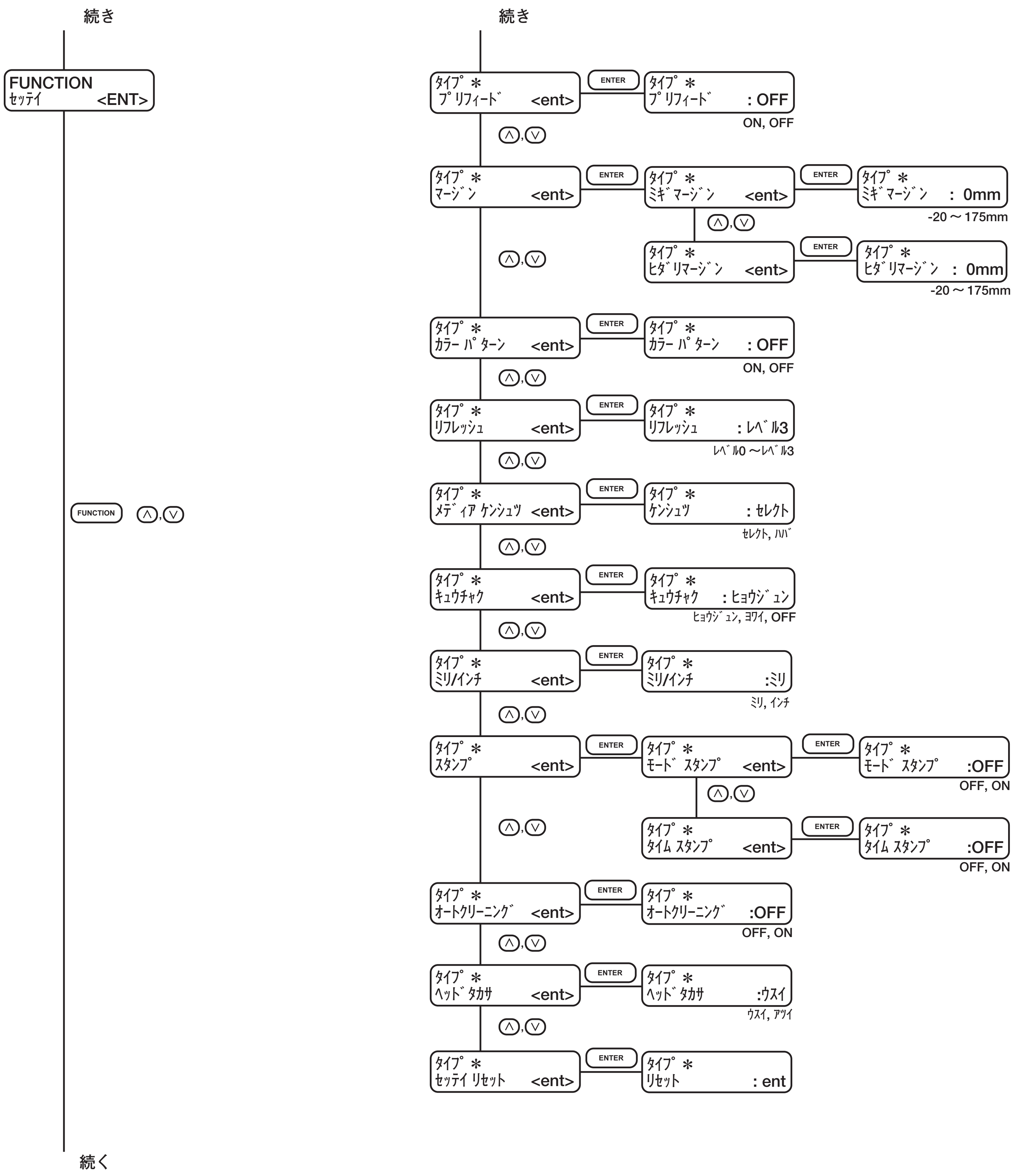
HEATER キー： HEATER
ﾘﾓｰﾄ
ﾀｲﾌﾟx x.xxm
HEATER
<ローカル>
ﾊﾊﾞ:xxxxmm
Pre 45℃(47)
Print 40℃(40)
ENTER
Pre 40▶45℃
Print 50▶40℃
∧,∨
<,>
Pre 40▶50℃
Print 50▶45℃
OFF, 20～60℃



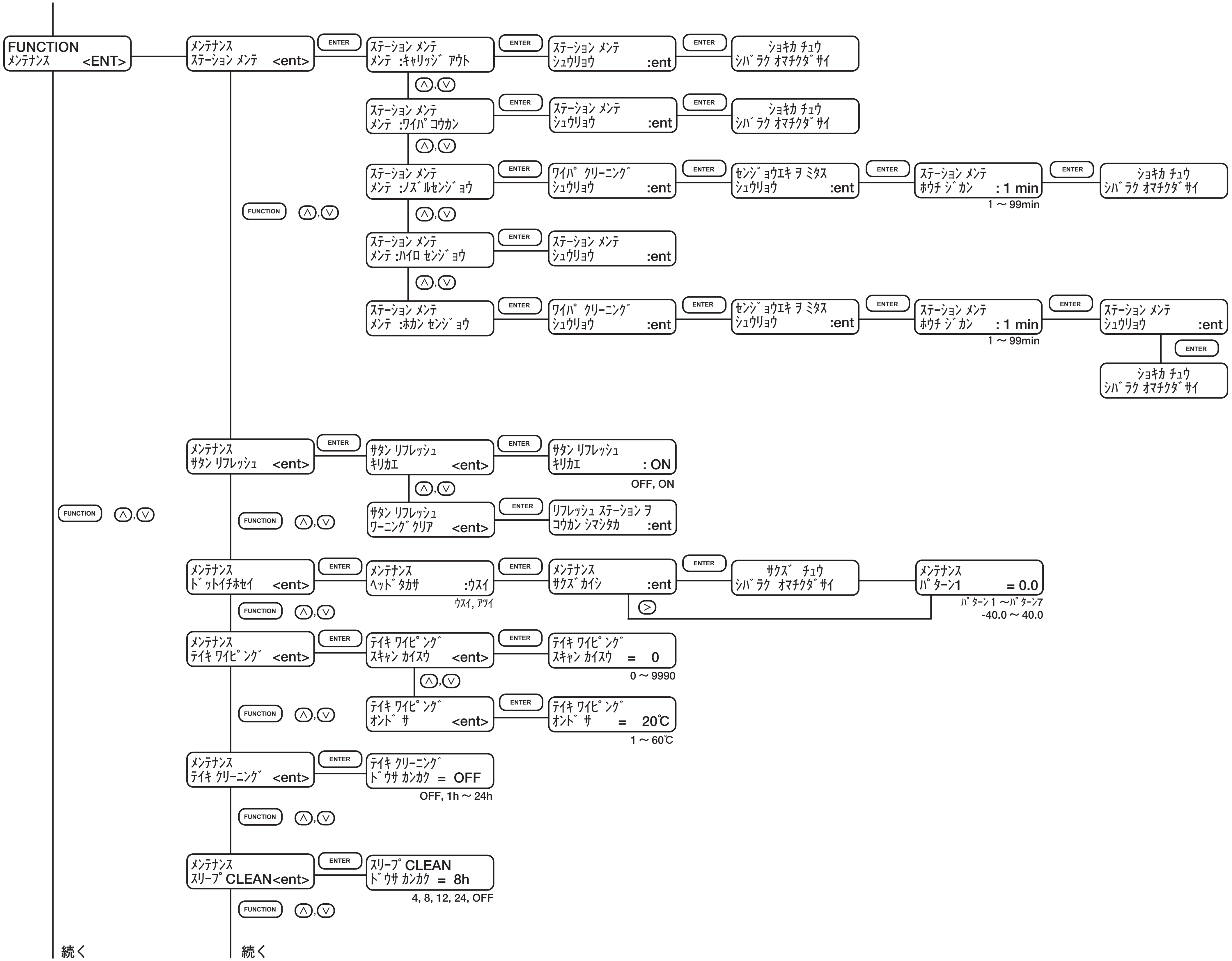
メディア送り補正
ﾘﾓｰﾄ
ﾀｲﾌﾟx x.xxm
FUNCTION
ﾒﾃﾞｨｱｵｸﾘ ﾎｾｲ
0
ENTER
ﾒﾃﾞｨｱｵｸﾘ ﾎｾｲ
0▶ 0
ENTER
ﾒﾃﾞｨｱｵｸﾘ ﾎｾｲ
ﾎｿﾞﾝ : ent
ENTER
ﾘﾓｰﾄ
ﾀｲﾌﾟx+ x.xxm

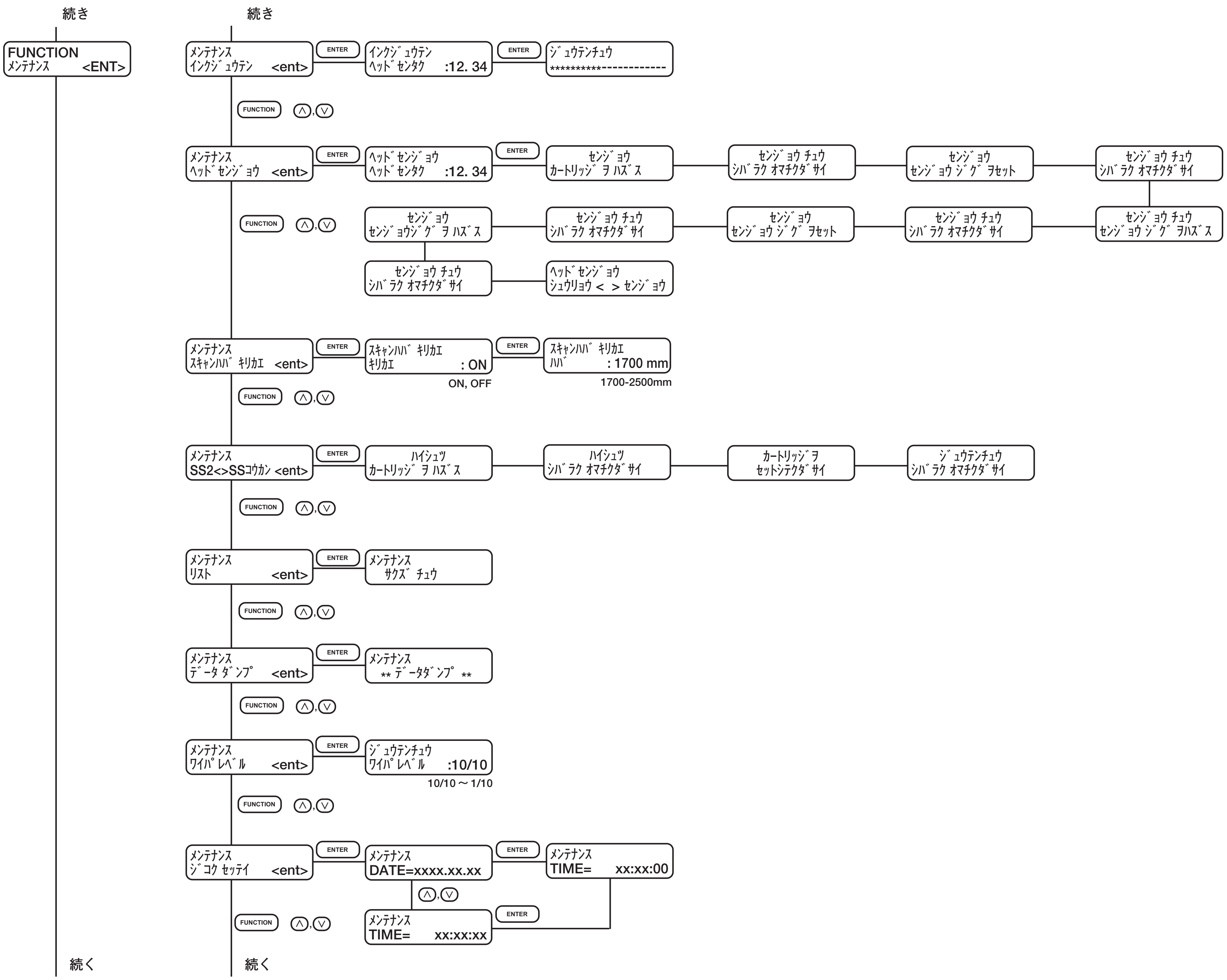
FUNCTION キー：FUNCTION

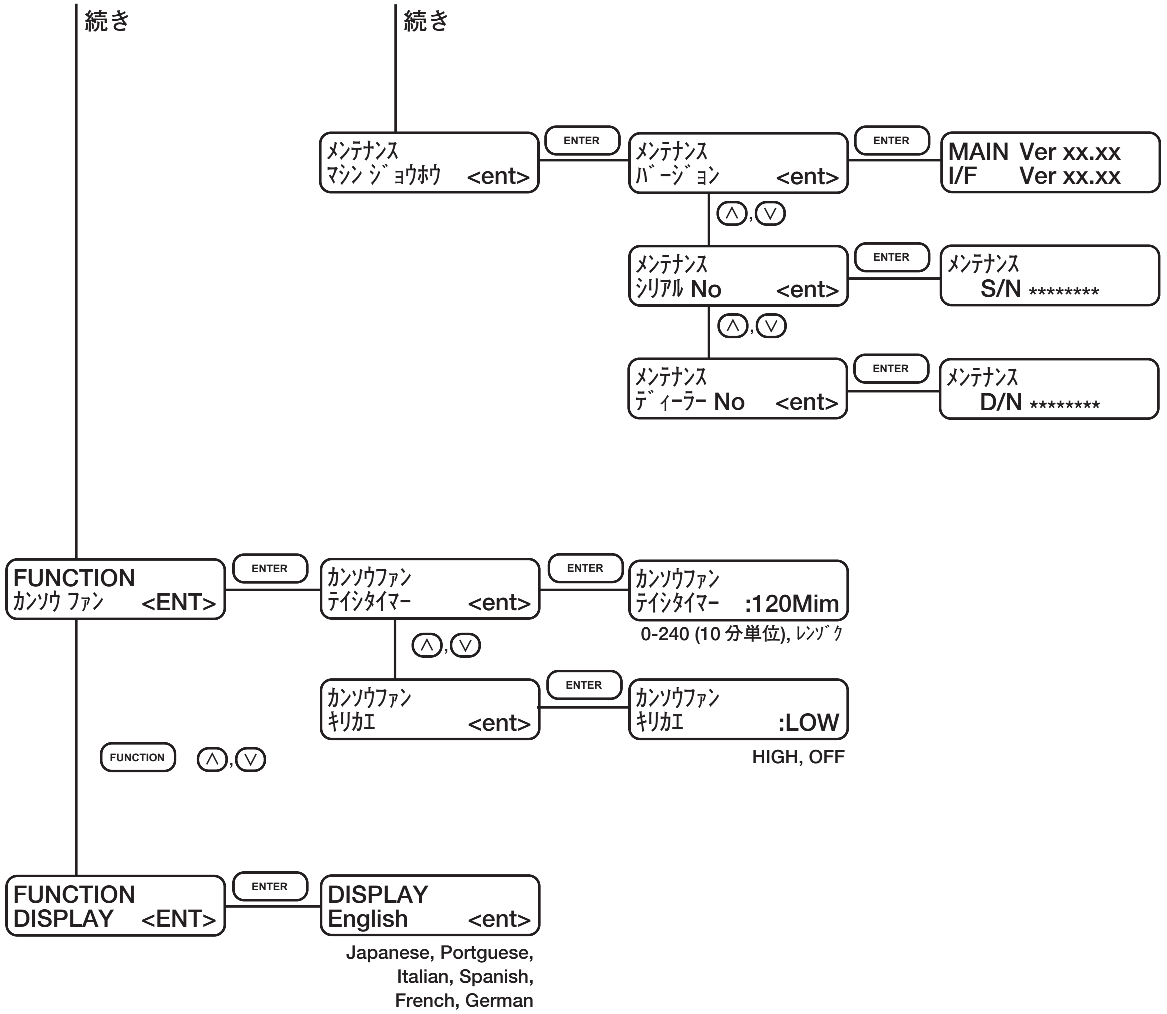



続き
FUNCTION
ｾｯﾃｲ <ENT>
FUNCTION
続く
続き
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾌﾟﾘﾌｨｰﾄﾞ <ent>
ENTER
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾌﾟﾘﾌｨｰﾄﾞ : OFF
ON, OFF
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾏｰｼﾞﾝ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾐｷﾞﾏｰｼﾞﾝ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾐｷﾞﾏｰｼﾞﾝ : 0mm
-20 ～ 175mm
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾋﾀﾞﾘﾏｰｼﾞﾝ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾋﾀﾞﾘﾏｰｼﾞﾝ : 0mm
-20 ～ 175mm
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｶﾗｰﾊﾟﾀｰﾝ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｶﾗｰﾊﾟﾀｰﾝ : OFF
ON, OFF
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾘﾌﾚｯｼｭ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾘﾌﾚｯｼｭ : ﾚﾍﾞﾙ3
ﾚﾍﾞﾙ0 ～ﾚﾍﾞﾙ3
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾒﾃﾞｨｱｹﾝｼｭﾂ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｹﾝｼｭﾂ : ｾﾚｸﾄ
ｾﾚｸﾄ, ﾊﾊﾞ
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｷｭｳﾁｬｸ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｷｭｳﾁｬｸ : ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
ﾋｮｳｼﾞｭﾝ, ﾖﾜｲ, OFF
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾐﾘ/ｲﾝﾁ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾐﾘ/ｲﾝﾁ :ﾐﾘ
ﾐﾘ, ｲﾝﾁ
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｽﾀﾝﾌﾟ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾓｰﾄﾞｽﾀﾝﾌﾟ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾓｰﾄﾞｽﾀﾝﾌﾟ :OFF
OFF, ON
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾀｲﾑｽﾀﾝﾌﾟ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾀｲﾑｽﾀﾝﾌﾟ :OFF
OFF, ON
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｵｰﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｵｰﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ :OFF
OFF, ON
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾍｯﾄﾞﾀｶｻ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾍｯﾄﾞﾀｶｻ :ｳｽｲ
ｳｽｲ, ｱﾂｲ
ﾀｲﾌﾟ ＊
ｾｯﾃｲﾘｾｯﾄ <ent>
ﾀｲﾌﾟ ＊
ﾘｾｯﾄ : ent

続き


FUNCTION
メンテナンス <ENT>
メンテナンス
ステーション メンテ <ent>
ENTER
ステーション メンテ
メンテ :キャリッジ アウト
ステーション メンテ
シュウリョウ :ent
ショキカ チュウ
シバ ラク オマチクダ サイ
ステーション メンテ
メンテ :ワイパ コウカン
ステーション メンテ
メンテ :ノズ ルセンジ ョウ
ワイパ クリーニング
シュウリョウ :ent
センジ ョウエキ ヲ ミタス
シュウリョウ :ent
ステーション メンテ
ホウチ ジ カン : 1 min
1 ~ 99min
ステーション メンテ
メンテ :ハイロ センジ ョウ
ステーション メンテ
メンテ :ホカン センジ ョウ
FUNCTION
メンテナンス
サタン リフレッシュ <ent>
サタン リフレッシュ
キリカエ <ent>
サタン リフレッシュ
キリカエ : ON
OFF, ON
サタン リフレッシュ
ワーニング クリア <ent>
リフレッシュ ステーション ヲ
コウカン シマシタカ :ent
メンテナンス
ド ットイチホセイ <ent>
メンテナンス
ヘッド タカサ :ウスイ
ウスイ, アツイ
メンテナンス
サクズ カイシ :ent
サクズ チュウ
シバ ラク オマチクダ サイ
メンテナンス
パ ターン1 = 0.0
パ ターン1 ~パ ターン7
-40.0 ~ 40.0
メンテナンス
テイキ ワイピ ング <ent>
テイキ ワイピ ング
スキャン カイスウ <ent>
テイキ ワイピ ング
スキャン カイスウ = 0
0 ~ 9990
テイキ ワイピ ング
オンド サ <ent>
テイキ ワイピ ング
オンド サ = 20℃
1 ~ 60℃
メンテナンス
テイキ クリーニング <ent>
テイキ クリーニング
ド ウサ カンカク = OFF
OFF, 1h ~ 24h
メンテナンス
スリープ CLEAN<ent>
スリープ CLEAN
ド ウサ カンカク = 8h
4, 8, 12, 24, OFF
続く
続く


続き
続き
FUNCTION
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ <ENT>
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
ｲﾝｸｼﾞｭｳﾃﾝ <ent>
ENTER
ｲﾝｸｼﾞｭｳﾃﾝ
ﾍｯﾄﾞｾﾝﾀｸ :12. 34
ENTER
ｼﾞｭｳﾃﾝﾁｭｳ
**********------------
FUNCTION
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
ﾍｯﾄﾞｾﾝｼﾞｮｳ <ent>
ENTER
ﾍｯﾄﾞｾﾝｼﾞｮｳ
ﾍｯﾄﾞｾﾝﾀｸ :12. 34
ENTER
ｾﾝｼﾞｮｳ
ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｦ ﾊｽﾞｽ
ｾﾝｼﾞｮｳ ﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
ｾﾝｼﾞｮｳ
ｾﾝｼﾞｮｳ ｼﾞｸﾞ ｦｾｯﾄ
ｾﾝｼﾞｮｳ ﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
FUNCTION
ｾﾝｼﾞｮｳ
ｾﾝｼﾞｮｳｼﾞｸﾞ ｦ ﾊｽﾞｽ
ｾﾝｼﾞｮｳ ﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
ｾﾝｼﾞｮｳ
ｾﾝｼﾞｮｳ ｼﾞｸﾞ ｦｾｯﾄ
ｾﾝｼﾞｮｳ ﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
ｾﾝｼﾞｮｳ ﾁｭｳ
ｾﾝｼﾞｮｳ ｼﾞｸﾞ ｦﾊｽﾞｽ
ｾﾝｼﾞｮｳ ﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
ﾍｯﾄﾞｾﾝｼﾞｮｳ
ｼｭｳﾘｮｳ < > ｾﾝｼﾞｮｳ
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
ｽｷｬﾝﾊﾊﾞ ｷﾘｶｴ <ent>
ENTER
ｽｷｬﾝﾊﾊﾞ ｷﾘｶｴ
ｷﾘｶｴ : ON
ON, OFF
ENTER
ｽｷｬﾝﾊﾊﾞ ｷﾘｶｴ
ﾊﾊﾞ : 1700 mm
1700-2500mm
FUNCTION
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
SS2<>SSｺｳｶﾝ <ent>
ENTER
ﾊｲｼｭﾂ
ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｦ ﾊｽﾞｽ
ﾊｲｼｭﾂ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｦ
ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｼﾞｭｳﾃﾝﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
FUNCTION
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
ﾘｽﾄ <ent>
ENTER
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
ｻｸｽﾞ ﾁｭｳ
FUNCTION
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
ﾃﾞｰﾀ ﾀﾞﾝﾌﾟ <ent>
ENTER
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
** ﾃﾞｰﾀﾀﾞﾝﾌﾟ **
FUNCTION
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
ﾜｲﾊﾟ ﾚﾍﾞﾙ <ent>
ENTER
ｼﾞｭｳﾃﾝﾁｭｳ
ﾜｲﾊﾟ ﾚﾍﾞﾙ :10/10
10/10 ～ 1/10
FUNCTION
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
ｼﾞｺｸ ｾｯﾃｲ <ent>
ENTER
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
DATE=xxxx.xx.xx
ENTER
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
TIME= xx:xx:00
FUNCTION
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
TIME= xx:xx:xx
ENTER
続く
続く


続き
続き
メンテナンス
マシン ジョウホウ <ent>
ENTER
メンテナンス
バージョン <ent>
ENTER
MAIN Ver xx.xx
I/F Ver xx.xx
メンテナンス
シリアル No <ent>
ENTER
メンテナンス
S/N ********
メンテナンス
ディーラー No <ent>
ENTER
メンテナンス
D/N ********
FUNCTION
カンソウ ファン <ENT>
ENTER
カンソウファン
テイシタイマー <ent>
ENTER
カンソウファン
テイシタイマー :120Mim
0-240 (10 分単位), レンゾク
カンソウファン
キリカエ <ent>
ENTER
カンソウファン
キリカエ :LOW
HIGH, OFF
FUNCTION
FUNCTION
DISPLAY <ENT>
ENTER
DISPLAY
English <ent>
Japanese, Portguese,
Italian, Spanish,
French, German

索引

記号

℃／゜F 4-6
2重、3重にブレる 6-4
4色インクセット 5-32
6色インクセット 5-32

A

ACインレット 1-7

C

CONSTANTランプ 1-9
CONSTANTランプが点灯しない 6-3

D

DATA CLEARキー 1-8

E

ENDキー 1-8
ENTERキー 1-8

F

FUNCTIONキー 1-8

H

HEATERキー 1-8
HEATランプ 1-9
HEATランプが点灯しない 6-3
HEXコード 5-27

I

IEEE1394コネクタ 1-7

O

OFFジカン 4-6

P

POWERランプ 1-8

R

REMOTEキー 1-8

S

SS2<>SSコウカン 5-25

T

TEST & CLEANINGキー 1-8

ア

安全にお使いいただくために .... viii, xii, xiii

イ

色ごとにインクが重ならない 6-4
色の濃いスジが発生する 6-4
インクエンド 2-46
インクカートリッジ 1-7
インク滴が落ちる 6-4
インクジュウテン 5-21
インク仕様 付録-4
インクステーション 1-7, 2-6
インクセットを交換する 5-32, 5-33, 5-35
インク排出路の洗浄について 5-7

エ

エラーメッセージ 6-9

オ

オートカット 4-8
オートクリーニング 4-11
お手入れ上のご注意 3-2
お問い合わせシート 付録-5
オンド サ 5-17

カ

カートリッジ異常が発生したら 6-5
外装のお手入れ 3-3
回転方向スイッチ 1-5, 2-14
　OFF 2-14
　下側 2-14
各部の名称とはたらき 1-4
　装置前面 1-4
　装置背面 1-6
カサネヌリ 4-8
画質不良が発生した場合は 6-4
カスレ 6-4
画像データを作図する 4-16
カッター刃 1-12
カッター刃の交換 5-31
カットライン 1-12
カラーパターン 4-9
カンソウジカン 4-8
　オートカット 4-8
　スキャン 4-8
乾燥時間 4-8
乾燥ファン 1-5

キ

機能フローチャート 付録-7
脚 1-5
キャッピングステーション 1-5, 1-11
キャップのクリーニング 3-4
キャリッジ 1-5, 1-10
キャリッジアウト 5-4
キョウリョク 2-39
キリカエ 4-13

ク

クランプレバー 1-5
クリーニング 2-39

ケ

警告ラベル xvi

コ

ご注意
　使用上のご注意 xiii

サ

作業の流れ 2-2
作図原点 4-15
作図情報 2-44
作図できない 6-2
作図範囲 4-14
サクズホウシキ 4-7
　サクズヒンシツ 4-7
　ホウコウ 4-7
　ロジカルシーク 4-7
　シロカサネ サクズ 4-7
作図を開始する 2-42
作図を中止する 2-43
サタンリフレッシュ 5-12, 5-13
ザンリョウツイカ 5-36, 5-37

シ

ジコクセッテイ 5-29
自動裁断 4-8
シャフトホルダー 2-15
受信障害 ii
主電源スイッチ 2-3, 1-7
ジョグキー 1-8
ジョグキーのはたらき 1-8
シロカサネ サクズ 4-7
白スジが発生する 6-4

ス

スキャン 4-8
スキャン カイスウ 5-17
スキャンハバキリカエ 5-24
スタンバイ 4-6
スタンプ 4-10
ステーション内の清掃 5-4
ステーション内部の洗浄 3-7
ステーションメンテ 5-4
ｽﾘｰﾌﾟCLEAN 5-20
スリープクリーニングについて 5-20
ズレが発生する 6-4

セ

設定機能一覧 4-5, 5-3
設定条件を印刷する 5-26
セッテイリセット 4-11
セレクト 4-10
洗浄キット 3-7

ソ

操作パネル 1-5, 1-8
　ジョグキーのはたらき 1-8
ソウホウコウ 4-7
ソフト 2-39

タ

タイプ 4-3
　- の登録 4-4
　- の変更 4-4
タイムスタンプ 4-10
高さ調整レバー 2-7
タンホウコウ 4-7

テ

データダンプ 5-27
テイキ ワイピング 5-17
定期クリーニング 5-19
テイキクリーニング 5-19
テイシタイマー 4-13
ディスプレイ 1-8
テストパターン 2-38
デッドスペース 4-14
電圧セレクタ 1-16
電圧セレクタスイッチ 1-5
電源が入らない 6-2
電源スイッチ 1-5, 2-3
電源をオフにする 2-48
電源をオンにする 2-3
テンションバー 1-5
電波障害自主規制 ii

ト

動作モードスイッチ 1-5
　自動 2-14
　手動 2-14
ドット位置補正
　- 往路 5-15
　- 復路 5-15
ﾄﾞｯﾄｲﾁﾎｾｲ 5-15
トラブル 6-6, 6-7, 6-9, 6-11
トルクリミッタ 1-7, 2-31

ニ

ニアエンド 2-46

ノ

ノーマル 2-39
ノズル詰まり 2-38
ノットレディモード 1-17

ハ

廃インクタンク 1-5, 1-7
　- ガード 3-12
　- のインクが溜まったら 3-12
排気ファンの設定 4-13
　キリカエ 4-13
　テイシタイマー 4-13
ﾊｲﾛ ｾﾝｼﾞｮｳ 5-7
パネル 4-8
ハバ 4-10

ヒ

ヒーター 4-6
　℃／°F 4-6
　OFF ジカン 4-6
　スタンバイ 4-6
　プリヒート 4-6
　プリントヒート 4-6
ヒーター温度 2-35
ヒーター操作パネル 1-5
ヒーター電圧の設定 1-16
ヒーターパネル 1-9
ピンチローラー 1-11

フ

ファンクションモード 1-17
ファームウェアのバージョン .. 2-4, 5-26, 5-30
ファンクションモード 4-3
ファンクションモード
-の設定機能 4-4, 4-5
フィードローラー 1-11
フラッシング機能 1-5, 2-3
プラテン 1-5
プラテンの清掃 3-3
プリヒーター 1-9, 1-10, 1-7
プリヒーター電源スイッチ 1-7, 2-3
プリヒート 4-6
プリフィード 4-9
プリントヒーター 1-9, 1-10, 1-5
プリントヒート 4-6
フロントカバー 1-5, 2-5

ヘ

ヘッドセンジョウ 5-22
ヘッドタカサ 4-11
ヘッドの高さを調整する 2-7

ホ

ホウコウ 4-7
ﾎｶﾝ ｾﾝｼﾞｮｳ... 5-9, 5-11
ホスト 4-8
本書の構成 ix
本装置の移動 1-2, 1-3
本体仕様 付録-2

マ

マーク表示について .... viii, xii
マージン 4-9
巻き取り装置 1-5, 2-14
回転方向スイッチ 2-14
マシンジョウホウ 5-30

ミ

ミリ／インチ 4-10

メ

メッセージを表示するトラブル 6-6, 6-7
メディア 1-14
-使用可能メディア 1-15
-推奨メディアの種類 1-15
-取り扱い注意 1-14
-メディアサイズ 1-15
メディアカット 2-45
メディアキャリアの使い方 2-17
メディアケンシュツ 4-10
メディアセンサー 1-12
メディアセンサーの清掃 3-3
メディア詰まり / メディアが汚れる 6-3
メディアの厚みが変わったら 5-15
メディアのセット 2-9
2本のロールメディアをセット 2-24
軽いメディアのセット 2-19
メディアホセイ 2-40, 2-41, 4-6
補正パターン 2-40
メニューの基本操作 4-2
メンテナンス機能の導入 5-2
メンテナンス用洗浄液 RS........... 3-7, 5-7, 5-9

モ

モードスタンプ 4-10
モードについて 1-17

ユ

有効作図エリアの変更 4-14
ユウセンジュンイ
パネル 4-8
ホスト 4-8

リ

リーフメディアのセット 2-31
リスト 5-26
リセット 4-11
リフレッシュ 4-10
リフレッシュステーション 1-5
リフレッシュステーションの交換 5-12, 5-13
リモートモード 1-17

レ

レベルフットの固定 1-3

ロ

ローカルモード 1-17,4-3
ローラーの清掃 3-3
ロール置き台 1-7
ロールホルダー 1-7
ロジカルシーク 4-7
ロックピン 2-29,2-30

ワ

ワーニングエラー 6-6
ワイパコウカン 5-5
ワイパ寿命の警告表示 5-28
ワイパのクリーニング 3-4
ワイパレベル 5-28

JV3-250SP　取扱説明書

2008 年 6 月
発　行　者　　株式会社ミマキエンジニアリング
発　行　所　　株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512 長野県東御市滋野乙 2182-3

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。
© 株式会社ミマキエンジニアリング
All Rights Reserved. Copyright © MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 2008

D200802-19-20062008

Mimaki

Printed in Japan
D200802
© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 2008

IT
FW: 7.5